

前項坑内實測圖ハ事業ノ進歩ニ從ヒ六箇月毎ニ追補スヘシ

鑛業人若シ他人ノ所屬ニ係ル隣接鑛區ノ坑内實測圖ニ付證明ヲ必要ト認ムルトキハ之ヲ所轄鑛山監督署長ニ請求スルコトヲ得

所轄鑛山監督署長ニ於テ右證明ノ爲ニ吏員ノ實地臨檢ヲ必要ト認ムルトキハ鑛業人チシテ出張吏ノ爲ニ制規ノ旅費日當ヲ前納セシムヘシ

第三十二條 鑛業人鑛業特許證ヲ毀損若ハ亡失シタルトキハ事由ヲ具シ所轄鑛山監督署ヲ經其ノ再下付ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ

第三十三條 詐偽又ハ錯誤ニ由リ試掘ノ認可ヲ得タルコトヲ發見シタルトキハ所轄鑛山監督署長ハ其

ノ認可ヲ取消スヘシ若シ其ノ認可ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ニ於テ之ヲ發見シタルトキハ其ノ關係

ヲ有スル者ハ認可ノ日ヨリ三箇月以内ニ試掘認可ノ取消ヲ所轄鑛山監督署長ニ訴願スルコトヲ得

前項所轄鑛山監督署長ノ判定ニ不服アル者ハ其ノ判定ノ日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スル

コトヲ得

② 採掘權ノ共有者又ハ買主ト雖モ名義人若ハ賣主ノ懈怠ニ因リ特許處分ノ取消アリタルトキハ該鑛區ニ對スル直接ノ關係者ナリト謂フヲ得ス故ニ

共有者等ハ鑛業條例第三十三條ニ所謂關係者トシテ他人ノ得タル試掘認可ニ對シ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキ權能ヲ有セス(三六〇年第四三六號 三六〇年第一二七號 鑛物試掘認可取消請求ノ訴)ハ一四輯九卷八七〇頁

③ 錯誤ニ依リ試掘ノ認可ヲ得タル者アル場合ニ於テ利害關係人ヨリ所轄鑛山監督局長ニ對シ其認可ノ取消ヲ請求シタルトキハ爾後其鑛業人カ廢業ヲ爲スモ之カ爲メニ訴訟ノ目的物消滅セリト云フヲ得ス(三六〇年第四七四號 三七二二二六號 一五輯一卷六三頁)

④ 鑛業條例第三十三條一項前段ニ明示セル認可ノ取消ハ同條末項ニ所謂判定ニ包含スルヲ以テ同項ノ判定ナルモノハ單ニ形式上ノ判定ノミヲ指示シタルモノニアラス(三六〇年第六八號 三六〇年六二九號 石油鑛試掘認可取消命令取消ノ訴訟却下ニ對スル申請)ハ一四輯六卷五五五頁

⑤ 試掘願提出後更ニ減區ヲ爲シテ再ヒ之ヲ差出シタルトキハ前試掘願ハ消滅ス故ニ甲者出願區域ノ一部分乙者ノ借區ト重複スル理由ヲ以テ其部分

拋除ヲ命セラレ甲者ハ之ヲ控除シテ願書ヲ提出シタルニ乙者ノ借區ハ詐偽ニ原因スルノ故ヲ以テ取消サレタルニ由リ丙者カ其取消ト同時ニ同一區域ニ對スル試掘願ヲ提出シタル場合ニ於テハ試掘ノ先願者ハ甲者ニ非ラスシテ丙者ナリ(三〇年第五四號 銀鑛試掘認可取消ノ訴)

◎條例第三十三條ニ據ル試掘認可取消ノ訴願ハ認可ノ日ヨリ三ヶ月以内ニ提起スルヲ要ス(三一年第六四號 無根又ハ錯誤認可取消請求ノ訴)

◎鑛業條例第三十三條ニ據ル利金關係者ノ試掘認可取消ノ訴願期限ハ其認可ノ日ヨリ起算スヘク其認可ノ事實ヲ發見シタル日ヨリ起算スヘキモノニ非ス(三〇年第一一〇號 銀鑛試掘處分一部不服ノ訴)

◎管轄官廳カ職權ヲ以テ與ヘラレタル試掘ノ認可ハ假令錯誤ニ原由スル場合ト雖モ之カ取消處分ヲ爲スマテハ有效ナリ(二九年第七七號 鑛山採掘特許取消ノ訴)

◎鑛山監督署長カ自ラ詐欺又ハ錯誤ヲ發見シテ試掘認可ヲ取消シタル場合

ト雖モ其處分ニ對シテハ仍出訴スルコトヲ得(二八年第六一號 不當裁定取消要求ノ訴ニ關スル妨訴抗辨)

◎鑛業條例第三十三條第一項ニ據ル訴願ノ裁判ハ本案ニ關スルト否トヲ問ハス均シク訴願ニ對スル判定ナリ隨テ其訴願却下ノ裁判ニ對シテハ同條第二項ニ基キ出訴スルコトヲ得(二七年第三七號 砒鑛試掘認可取消ノ訴)却下ノ判定ニ對スル訴ニ對スル妨訴抗辨)

◎鑛物試掘願ニ關スル訴ハ所轄鑛山監督署長ニ於テ處分ヲ爲シタル日ヨリ起算シ鑛業條例第三十三條第二項ニ定メタル期間ヲ經過シタルトキハ提起スルヲ得ス(二七年第二六號 滿奄鑛試掘願不當處分取消ノ訴)

◎後願者ニシテ先願者ヨリモ多數ノ面積ヲ出願シタル場合ニ先願者ニ認可シタル以外ノ部分ヲ後願者ニ認可セサルハ不當ナリトスル事件ハ鑛業條例第三十三條ニ該當セス(二六年第一〇六號 試掘認可願不當處分取消請求ノ訴)

◎後願者ニシテ先願者ヨリモ多數ノ面積ヲ出願シタル場合ニ先願者ニ認可

シタル以外ノ部分ヲ後願者ニ認可セサルハ不當ナリトスル訴ハ條例第三十三條ニ該當セス(三六年第一〇六號 試掘認可願不當處分取消請求ノ訴)

◎鑛業條例第三十三條ニ據ル訴願カ法定期間ノ經過ヲ理由トシテ却下サレタルトキハ其裁決ニ對シ出訴スルヲ得ス(三六年第六一號 鑛山探試掘願ニ付テノ不當處分取消ノ訴)

第三十四條

詐偽又ハ錯誤ニ由リ探掘ノ特許ヲ得タルコトヲ發見シタルトキハ農商務大臣ハ其ノ特許

ヲ取消スヘシ若シ其ノ特許ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ニ於テ之ヲ發見シタルトキハ其ノ關係ヲ有ス

ル者ハ特許ノ日ヨリ三十日以内ニ探掘特許ノ取消ヲ農商務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項農商務大臣ノ裁定ニ不服アル者ハ其ノ裁定ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

◎鑛業條例第三十四條ニ依ル訴訟ト雖モ同條ニ從ヒ農商務大臣ノ裁決ヲ經タルヤ否不明ナルノミナラス訴狀ニ一定ノ申立ヲ掲載セサル場合ニ於テ裁判所カ期間ヲ指定シ一定ノ申立ハ補充竝ニ裁定ノ有無ヲ申出ツヘキ旨

ヲ命シタルモ原告ヨリ該期間内ニ何等ノ申シ出ヲ爲ササルトキハ其訴訟ヲ却下スヘキモノトス(三八年第三〇六號 三九一、三〇〇裁決) 不當處分取消請求ノ訴(八一七輯一〇卷六五一頁)

◎甲乙二人カ同一ノ地域ニ付キ前後相次テ爲シタル試掘認可ノ出願ニ對シ鑛山監督署長カ乙者ヲ先願者トシ之ニ試掘ノ認可ヲ與ヘタルハ錯誤ニ因ル違法處分ナリトノ判決理由ヲ以テ其認可ヲ取消シタル場合ニ被告署長ニ於テ該判決ノ旨趣ニ基キ甲者ニ對スル不認可ノ場合ヲ取消シ更ニ試掘認可ヲ與ヘタルハ適法ナリ(三八年第一八七號 三九一、三〇〇宣告) 銅鑛試掘認可取消ノ訴(八一七輯九卷五六二頁)

◎鑛業條例第三十四條第二項ノ規定ハ其前項ノ前段ナル農商務大臣自ラ詐偽錯誤ヲ發見シ探掘特許ヲ取消シタル場合竝ニ後段ナル利害關係者ノ訴願ニ因リ之レヲ取消シタル場合及其訴願ヲ採用セサル場合共ニ出訴ヲ許シタルモノトス(三六年第四六五號 三七四、一一一宣告) 不當處分取消ノ訴(八一五輯三卷二二〇頁)

④ 行政官廳カ職權ニ依リテ與ヘタル認可ノ效力ハ之ヲ取消ササル間ハ存在スルモノナルヲ以テ其之レヲ取消シタル處分ハ遡及ノ效力ヲ有セス(三三三、一六五號) 探掘特許取消ノ訴(四五卷六四頁)

⑤ 鑛業採掘權取消ノ命令ヲ發スルモ被命令者ニ到達セサル間ハ同一ノ區域ニ於ケル他人ノ採掘出願ハ有效ニ成立セス(三三三、一四號) 鑛業特許取消ノ訴(三三三卷三九頁)

〔同〕(三三三、八號三三、一一、二五宣告鑛業特許取消事件不當裁定取消ノ訴)〔三三三卷九頁〕

〔同趣旨〕探掘特許ノ取消命令ハ被命令者ニ到達スルニ由テ其効力ヲ生ス(三三三、四號三三、一一、一五宣告鑛業特許取消事件不當裁定取消ノ訴)〔三三三卷四九頁〕

④ 農商務大臣ハ探掘ノ特許錯誤ニ出テタルコトヲ發見シタルトキハ利害關係人ノ訴願ノ有無ヲ問ハス之ヲ取消ス職權アリ(三三〇、二八號) 不法處分取消ノ請求ノ訴(三一、六、四宣告)

④ 農商務大臣ニ於テ探掘特許ノ原因ニ詐欺錯誤アルヲ發見シテ之ヲ取消シタルトキハ其結果利害關係人ノ訴願ニ據リ之ヲ取消シタルト同一ナルヲ以テ其處分ニ對シテハ鑛業條例第三十四條第二項ニ基キ出訴スルコトヲ得(三三〇、二八號) 不法處分取消請求ノ訴ニ對スル妨訴坑辨(三〇、七、九宣告)

④ 已ニ先願者タル位置ヲ失ヒタルモノハ鑛業條例第三十四條ニ所謂利害關係人トシテ出訴スルヲ得(二八、第一〇號) 石炭採掘特許取消ノ訴願ニ對スル裁決不服ノ訴(二九、三、五宣告)

④ 測點相違ノ一事ノミヲ以テ詐欺ニ原因スル境界ノ變更ナリト謂フヲ得ス(二八、第一〇號) 不當裁定取消要求ノ訴(二九、一〇、二三宣告)

④ 鑛業條例第三十四條ニ基キ利害關係人ヨリ提起スルヲ得ヘキ採掘特許取消ノ訴願期限ハ特許證交付ノ日ヨリ起算ス(二六、九、〇號) 併合不當處分取消請求ノ訴(二六、一〇、二七宣告)

④ 自己ニ與ヘラレタル採掘特許取消ノ請求ハ鑛業條例第三十四條ニ包含セ

ス(二六年第六六號 不當裁定取消ノ訴)

◎石炭坑借區許可取消ノ請求ニ對スル處分取消ノ訴ハ鑛業條例第三十四條ノ期間内ニ提起スルヲ要ス(二五年第一三六號 二六、三、二一裁決 石炭坑借區許可取消請求願ニ對スル不當行政處分取消ノ訴)

第三十五條 第二十二條第二項及第二十三條第二項ノ場合ニ於テ理由ナクシテ承諾ヲ拒ミタルトキハ

關係人又第二十五條但書ノ場合ニ於テ危險ノ虞ナクシテ承諾ヲ拒ミタルトキハ鑛業人ハ所轄鑛山監督署長ノ判定ヲ請求スルコトヲ得

第三十六條 前條ノ判定ニ不服アル者ハ其ノ判定ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ農商務大臣ノ裁定ヲ請求スルコトヲ得

第三十七條 鑛業人除業シタルトキハ其ノ旨ヲ所轄鑛山監督署ニ届出テ鑛業特許證ヲ返納スヘシ

第三十八條 第十九條第二十八條第二十九條第三十四條第四十三條及第七十六條ニ依リ農商務大臣ニ於テ採掘ノ特許ヲ取消シ又ハ第三十七條ニ依リ廢業ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ特許ヲ得タル鑛物ノ採掘權ニ對シ抵當權ヲ有スル債主ハ其ノ抵當權ヲ失フモノトス但第十九條及第三十四條ノ場合ヲ除クノ外債主ニ於テ六十日以内ニ其ノ鑛區ノ採掘ヲ願出ルトキハ出願ノ先後ニ拘ハラズ特許

ヲ與フヘシ

第三十九條 鑛業人ハ毎年一月前年ニ採取シタル鑛物ノ量數、製產物、其ノ販賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ所轄鑛山監督署ニ届出ツヘシ

第四十條 鑛業人ハ農商務大臣定ムル所ノ書式ニ依リ帳簿ヲ調製シ製產物ノ量數及販賣代價等ヲ記載スヘシ

### 第三章 鑛區

第四十一條 鑛區トハ鑛物ノ採掘ヲ爲ス土地區域ヲ謂フ

鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定メ地表境界線ノ直下ヲ限トス其ノ一鑛區ノ面積ハ石炭ハ一萬坪以上其ノ他ノ鑛物ハ三千坪以上トシ共ニ六十萬坪ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十二條 出願ニ係ル鑛區ノ位置形狀、鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スヘキモノト認メタルトキハ所轄鑛山監督署長ハ之ヲ出願人ニ通知シ訂正セシムヘシ

出願人前項ノ通知ヲ受ケ其ノ通知書到達ノ日ヨリ三十日以内ニ訂正シテ差出ササルトキハ其ノ出願ヲ無効トス

第四十三條 特許ヲ得タル鑛區ノ位置形狀、鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スヘキモノト認メタル

鑛業條例

トキハ所轄鑛山監督署長ハ農商務大臣ノ認可ヲ經六十日以内ノ期限ヲ定メ訂正セシムヘシ若シ訂正セサルトキハ農商務大臣ハ既ニ與ヘタル特許ヲ取消スコトヲ得

鑛業人ハ前項特許取消ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ達ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

◎出願中ニ係ル鑛物採掘願ノ訂正願書ニ印紙ヲ貼用セサルハ違法ニアラス  
(二七年第三五號 一〇宣告 滿俺鑛試掘許可取消ノ訴)

第四十四條 鑛業人鑛床ノ形狀ニ依リ鑛區ノ境界若ハ位置ノ訂正ヲ要スルトキハ其ノ願書ニ理由書、

訂正鑛區圖及鑛業特許證ヲ添ヘ農商務大臣宛ニテ所轄鑛山監督署ニ差出スヘシ

農商務大臣ニ於テ訂正ヲ必要ト認メタルトキハ更ニ鑛業特許證ヲ下附スヘシ

第四十五條 鑛業人鑛區ノ訂正ヲ出願シタル場合ニ於テ所轄鑛山監督署長吏員ノ實地臨檢ヲ必要ト認

ムルトキハ鑛業人ヲシテ出張吏員ノ爲ニ制規ノ旅費日常ヲ前納セシムヘシ

鑛業人前項旅費日常納付ノ通知ヲ受ケ其ノ通知書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ納メサルトキハ其

ノ出願ヲ無効トス

第四十六條 鑛區ヲ合併シ又ハ分割セント欲スル者ハ合併又ハ分割鑛區圖及鑛業特許證ヲ添ヘ所轄鑛

山監督署ヲ經テ農商務大臣ニ出願スヘシ其ノ採掘權ヲ抵當ニ取リタル債主アルトキハ其ノ承諾書ヲ添フヘシ

鑛區ノ分割ハ第四十一條ノ制限ヲ超ニルコトヲ得ス

### 第四章 土地使用

第四十七條 試掘又ハ採掘ヲ出願スル爲他人ノ土地ヲ測量スルコトヲ必要トスルトキハ所轄鑛山監督

署ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ土地ノ所有者又ハ關係人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス若シ測量

ノ爲ニ損害ヲ生ジタルトキハ其ノ測量ヲ請求シタル者ニ於テ之ヲ賠償スヘシ

測量請求者他人ノ所有地ニ入ルトキハ豫メ其ノ土地所有者ニ通知シ且測量認可證ヲ携帯スヘシ

◎鑛業ニ使用スル土地ニ關スルノ請ニ付キ鑛山監督局長ノ爲シタル判定ニ

對シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三三年第二四六號 三三、二二、一〇裁決) 土地使用ニ關スル不法判定

取消ノ訴(四一卷七七頁)

第四十八條 左ノ場合ニ於テ鑛業上他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ必要トシ鑛業人其ノ貸渡ヲ請求シタ

ルトキハ其ノ土地ノ所有者又ハ關係人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

一 坑口ヲ開穿スル爲

鑛業條例

鑛業條例

一 鑛物及土石ノ堆積場ヲ設置スル爲

一 坑道、道路、鐵道、馬車鐵道、運河、溝渠及溜池ヲ開設スル爲

一 鑛業上必要ノ製鍊場其ノ他ノ建物、電線、鐵索及鐵管ヲ建設スル爲

第四十九條 左ノ場合ニ於テハ土地所有者又ハ關係人ハ土地貸渡ノ請求ヲ拒ムコトヲ得

一 貸渡請求ノ土地第二十五條ニ記載シタル場所ニ係ルトキ

一 土地借受人ニ於テ第五十條ノ保證金ヲ差出ササルトキ

第五十條 土地借受人ハ貸渡ヲ受ケタル土地ニ對シ其ノ土地貸渡人ニ相當ノ借地料ヲ仕拂フヘシ

土地貸渡人ハ借地料ノ保證金トシテ土地借受人ニ豫メ土地臺帳ニ記載シタル地價以內ノ金額ヲ差出サシムルコトヲ得

其ノ買入トナリタル土地ニ對スル借地料及保證金ハ買取主ニ於テ之ヲ受領スルモノトス

土地使用ニ依リ所有者又ハ關係人ニ損害ヲ與フルトキハ鑛業人ハ之ニ對シ相當ノ賠償ヲ爲スヘシ

土地借受人土地ノ使用ヲ終リ其ノ使用中ノ借地料ヲ完納シタルトキハ土地貸渡人又ハ買取主ハ土地ト引換ニ保證金ヲ返還スヘシ

第五十一條 土地借受人貸渡ヲ受ケタル土地ノ使用ヲ終リタルトキハ土地貸渡人ノ要求ニ應ジ其ノ土

地ヲ原形ニ復シ返還スヘシ若シ原形ニ復シ難キトキハ土地借受人ニ於テ其ノ損害ヲ賠償スヘシ

第五十二條 土地借受人借地料ノ仕拂ヲ延滞シタルトキハ土地貸渡人ハ其ノ延滞借地料ニ相當スル金額ヲ保證金中ヨリ差引キ土地ヲ取戻スコトヲ得

前項土地ヲ取戻スニ當リ地上ニ建物等アルトキハ六十日以上ノ期限ヲ定メテ土地借受人ニ其ノ取除ヲ請求スヘシ若シ土地借受人ノ所在不分明ナルトキハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ

土地借受人右期限内ニ取除ヲササルトキハ其ノ建物等ハ土地貸渡人ノ所有ニ歸スヘシ

第五十三條 鑛業人ノ請求ニ依リ土地ヲ分割シテ賣渡シ又ハ貸渡シタルカ爲殘地ノ利用ヲ害スルトキハ鑛業人ニ對シ其ノ土地全部ノ買取若ハ借受ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ鑛業人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五十四條 鑛業人ニ於テ貸渡ヲ受ケタル土地ヲ三箇年以上使用スル目的アルカ又ハ三箇年以上之ヲ使用スルトキハ土地貸渡人ハ鑛業人ニ其ノ土地ノ買取ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ鑛業人ハ其ノ買取ヲ拒ムコトヲ得ス

第五十五條 土地ノ所有者及關係人ト測量請求人又ハ鑛業人トノ間ニ於テ土地貸渡、借地料、保證金

鑛業條例

損害賠償金又ハ土地買代價ニ付協議調ハサルトキハ所轄鑛山監督署長ニ其ノ判定ヲ請求スルコトヲ得

所轄鑛山監督署長ノ判定ニ不服アルトキハ其ノ判定ノ違ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ土地貸渡ニ就テハ農商務大臣ニ其ノ裁定ヲ請求シ借地料、保證金、損害賠償金若ハ土地買代金ニ就テハ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項農商務大臣ノ裁定ニ對シテハ他ニ出訴スルコトヲ得ス

第五十六條 所轄鑛山監督署長ノ判定又ハ農商務大臣ノ裁定請求ノ爲ニ要スル費用ハ民事訴訟入費ノ例ニ依リ負擔スヘキモノトス

第五十七條 鑛業人ハ土地所有者又ハ關係人ニ於テ所轄鑛山監督署長ノ判定シタル借地料、保證金、損害賠償金又ハ買代金ニ不服アルモ其ノ金額ヲ土地所有者又ハ關係人ニ渡シ若シ之ヲ受ケサルトキハ其ノ金額ヲ供託所ニ預ケ置キ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五章 鑛業警察

第五十八條 鑛業ニ關スル警察事務ニシテ左ニ掲グルモノハ農商務大臣之ヲ監督シ鑛山監督署長之ヲ行フ

- 一 坑内及鑛業ニ關スル建築物ノ保安
- 一 鑛夫ノ生命及衛生上ノ保護
- 一 地表ノ安全及公益ノ保護

第五十九條 鑛業上ニ危険ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ所轄鑛山監督署長ハ鑛業人ニ其ノ豫防ヲ命シ又ハ鑛業ヲ停止スヘシ

所轄鑛山監督署長ニ於テ鑛業ヲ停止セントスルトキハ其ノ猶豫シ難キ場合ヲ除クノ外ハ農商務大臣ノ認可ヲ經ヘシ

第六十條 前條第一項ノ場合ニ於テ鑛業人直ニ其ノ豫防ニ著手セサルトキハ所轄鑛山監督署長ハ鑛業人ノ使用スル役員及鑛夫ヲ指揮シ其ノ豫防ヲ執行スヘシ

此ノ場合ニ於テ鑛業人ハ其ノ使用スル役員及鑛夫ヲ豫防ノ用ニ供シ且一切ノ費用ヲ負擔スルノ義務アルモノトス

第六十一條 第五十九條ニ依リ鑛業ヲ停止シタル後其ノ事故止ミタルトキハ所轄鑛山監督署長ハ直ニ鑛業ノ停止ヲ解キ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ具申スヘシ

第六十二條 農商務大臣ニ於テ此ノ條例ニ依リ採掘ノ特許ヲ取消シタルトキ又ハ鑛業人廢業シタルト

鑛業條例



キハ所轄鑛山監督署長ハ六十日以上ノ期限ヲ定メ鑛業ノ爲建設シタル家屋及其ノ他ノ建物等ヲ除去セシムヘシ若シ右期限内ニ除去セサルトキハ其ノ建物等ハ土地所有者ノ所有ニ歸ス但所轄鑛山監督署長ニ於テ坑内保安ノ爲ニ必要ト認ムル坑内及坑口ノ構造物ハ之ヲ除去スルコトヲ得ス  
前項ノ場合ニ於テ鑛業人ノ所在不分明ナルトキハ第五十二條第二項ノ手續ニ依ルヘシ

第六十二條 農商務大臣ハ此ノ條例ノ範圍内ニ於テ省令ヲ以テ鑛業警察規則ヲ定ムルコトヲ得

### 第六章 鑛夫

第六十四條 鑛夫トハ鑛物ノ採掘及之ニ附屬スル業務ニ從事スル男女ノ職工ヲ謂フ  
鑛業人ハ其ノ使役スル鑛夫ノ使役規則ヲ定メ所轄鑛山監督署ノ認可ヲ受クヘシ

第六十五條 鑛業人ト鑛夫トノ間ニ特別ノ約定ナキ場合ニ於テ雙方トモ十四日以前ニ通知スルトキハ  
雇役ノ解約ヲナスコトヲ得

第六十六條 左ノ場合ニ於テハ鑛業人ハ何時タリトモ鑛夫ヲ解雇スルコトヲ得

- 一 輕罪以上ノ刑ニ處セラレタルカ又ハ不行狀ノ所爲アルカ若ハ命令ヲ遵守セサルトキ
- 一 鑛業人又ハ其ノ使用スル役員ニ對シ粗暴ノ所爲アリタルトキ
- 一 身體虛弱ニシテ業務ニ堪ヘサルトキ

一 鑛業ヲ禁止セラレ又ハ廢業シタルトキ

第六十七條 左ノ場合ニ於テハ鑛夫ハ何時タリトモ其ノ雇役ヲ罷ムルコトヲ得

- 一 身體虛弱ニシテ業務ニ堪ヘサルトキ
- 一 鑛業人又ハ其ノ使用スル役員ニ於テ虐待シタルトキ
- 一 約定ノ賃錢又ハ報酬ヲ給與セサルトキ

第六十八條 鑛業人又ハ其ノ代理人ハ解雇スル鑛夫ノ請求ニ依リ從來ノ業務年限本人ノ技能、賃錢及解雇ノ事由ヲ記載シタル證明書ヲ與フヘシ

鑛業人證明書ヲ與フルコトヲ拒ムカ又ハ鑛夫ニ於テ證明書中不當ト認ムル事項アルトキハ所轄鑛山監督署員若ハ警察官ニ申告スルコトヲ得

第六十九條 鑛業人ハ鑛夫ノ賃錢ヲ通貨ニテ仕拂フヘシ鑛夫ノ請求アルニアラサレハ物品ヲ以テ仕拂  
ヲ爲スコトヲ得ス

第七十條 鑛業人ハ鑛夫名簿ヲ備ヘ置キ氏名、年齢、本籍、職業、雇入及解雇ノ年月日ヲ記入スヘシ

第七十一條 農商務大臣ハ左ニ記載スル制限内ニ於テ省令ヲ以テ鑛夫工役規則ヲ定ムルコトヲ得  
一 一日十二時間以上ノ就業時間ヲ制限スルコト

鑛業條例

一 女工ノ工役ノ種類ヲ制限スルコト

一 十四年以下ノ男女職工ノ就業時間及工役ノ種類ヲ制限スルコト

第七十二條 鑛業人ハ左ノ場合ニ於テ其ノ雇入職夫ヲ救恤スヘシ其ノ救恤規則ハ所轄鑛山監督署ノ認可ヲ受クヘシ

- 一 職夫自己ノ過失ニ非スシテ就業中負傷シタル場合ニ於テ診察費及療養費ヲ補給スルコト
- 一 前項ノ場合ニ於テ職夫ニ療養休業中相當ノ日當ヲ支給スルコト
- 一 前項ノ負傷ニ由リ職夫ノ死亡シタルトキ埋葬料ヲ補給シ及遺族ニ手當ヲ支給スルコト
- 一 前項ノ負傷ニ由リ療疾トナリタル職夫ニ期限ヲ定メ補助金ヲ支給スルコト

第七章 鑛業稅及鑛區稅

第七十三條 鑛業人ハ鑛業稅トシテ鑛業製産物ノ價格百分ノ一鑛區稅トシテ鑛區一千坪毎ニ一箇年金三十錢ヲ納ムヘシ但一千坪未滿ノ端數ニ對スル鑛區稅ハ之ヲ免除ス

鑛鑛ヲ探掘スル者ニハ鑛業稅ヲ課セス

第七十四條 前條鑛業製産物ノ價格ハ主要ナル市場ノ平均相場ヲ標準トシ農商務大臣ノ告示スル所ニ依ル但市場ノ相場ナキモノハ其ノ販賣代價ニ依ル

第七十五條 鑛業稅ハ前年分ヲ毎年三月三十一日限ニ又廢業ノ年ニ係ルモノハ廢業ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ納ムヘシ

鑛區稅ハ一箇年分ヲ其ノ前年十二月十五日限ニ又初年ニ係ルモノハ月割ヲ以テ探掘出願特許ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ納ムヘシ其ノ廢業ノ年ニ係ルモノハ之ヲ返付セス

第七十六條 鑛業人納稅期限内ニ鑛業稅及鑛區稅ヲ納メサルトキハ農商務大臣ハ探掘ノ特許ヲ取消スコトヲ得其ノ取消ニ不服アルトキハ其ノ違ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八章 罰則

第七十七條 第二十四條第二十五條ヲ犯シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條 特許ヲ得スシテ探掘ヲ爲シタル者又ハ詐偽ニ由リテ特許ヲ得タル者ハ十五圓以上百五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十九條 認可ヲ得スシテ試掘ヲ爲シタル者又ハ詐偽ニ由リテ認可ヲ得タル者又ハ認可ノ期限ヲ過キ尙ホ試掘ヲ爲シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條 第二十七條ヲ犯シタル者及第五十九條ノ豫防ニ著手セサル者又ハ第六十二條但書ノ規定ヲ

鑛業條例

犯シタル者ハ十五圓以上百五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條第一項及第二項ヲ犯シタル者ハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十一條 第十條ヲ犯シタル者ハ其ノ賣得金ノ半額ニ相當スル罰金ニ處ス

第八十二條 第十一條ノ販賣代價ヲ隱匿シタル者ハ其ノ隱匿シタル金額ノ半額ニ相當スル罰金ニ處ス

第八十三條 第三十九條ニ依リ届出ツヘキ事項ヲ詐テ違稅シタル者ハ其ノ違稅金額ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處シ其ノ違稅ニ關セサル事項ニ係ルモノハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十四條 第四十條ノ帳簿ヲ調製セス若ハ記載ヲ怠リ若ハ詐テ記載シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十五條 第六十四條第二項第六十九條及第七十二條ヲ犯シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十六條 第六條第三十七條第六十八條及第七十條ニ違背シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第八十七條 第八十一條第八十二條及第八十三條ノ場合ニ於テ自首シタル者ハ其ノ納付スヘキ金額ヲ追徴シ其ノ罪ヲ問ハス

第八十八條 此ノ條例ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ減輕再犯加重及數罪併發ノ例ヲ用ヒス

鑛業人未成年癩癩白痴又ハ瘡啞ニシテ此ノ罰則ヲ犯シタルトキハ其ノ後見人ヲ處罰ス

### 第九章 附則

第八十九條 此ノ條例實施以前ニ許可ヲ得タル試掘人又ハ借區人ハ其ノ許可ヲ得タル年限中試掘又ハ鑛業ヲ爲スコトヲ得

第九十條 此ノ條例實施以前ニ借區人ノ許可ヲ得借區年限滿期後尙ホ引續キ鑛業ヲ爲サントスル者ハ借區滿期以前ニ此ノ條例ニ依リ出願スヘシ

第九十一條 此ノ條例ノ施行ニ關スル細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

鑛業條例施行前ニ差出シタル願書ニシテ該法施行ノ日マテニ處分ヲ終ラサルモノハ總テ新法ニ依レル願書ト看做シテ處分スヘキモノトス (三十二年第二十三號) 石炭鑛探掘特許取消ノ訴 (二三三卷一四五頁) (九八年第二十三號)

第九十二條 此ノ條例ハ明治二十五年六月一日ヨリ施行ス明治六年太政官第二百五十九號布告日本坑法ハ同日限リ之ヲ廢止ス

第九十三條 明治三十二年十一月三十日以前ヨリ引續キ若鉛鑛、砒管鑛鐵鑛、燐鑛、亞炭又ハ土瀝青

ヲ採取スル者ニシテ明治三十三年六月三十日迄ニ其ノ鑛物探掘ノ特許ヲ出願スルトキハ其ノ採取區域ニ限リ第十六條及鑛區ノ面積ニ關スル第四十一條ノ規定ニ拘ハラステ許ヲ與フヘシ

前項ノ採取者ハ明治三十三年六月三十日迄、其ノ特許ヲ出願シタル者ハ其ノ指令ノ日迄本法ノ規定ニ拘ラス其ノ採取ヲ繼續スルコトヲ得

第九十四條 前條ノ規定ニ依リ探掘ノ特許ヲ出願スル者ハ第二十二條又ハ第二十三條ノ承諾ヲ得ルコトヲ要セス

第九十五條 第九十三條ノ規定ニ依リ特許ヲ得タル鑛區ノ面積三千坪未滿ナル場合ニ於テハ其ノ特許ハ五箇年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

### 鑛業條例施行細則

第七條 出願區域ハ成ルヘク方形ニ近キ形狀ニ區別スヘシ

略測圖ヲ以テ試掘又ハ探掘ヲ出願スルトキハ出願地ノ各隅ト爲ルヘキ測點ニハ不動物體ヲ選定スヘシ若シ不動物體ナキトキハ近傍ニ不動物體ヲ選定シ測點ニ示スル關係ヲ測定スヘシ

試掘地圖ヲ以テ試掘ヲ出願スルトキ又ハ鑛區圖ヲ以テ探掘ヲ出願スルトキハ顯著ナル不動物體二箇以上ヲ成ルヘク反對ノ位置ニ設定シテ之ヲ基點ト爲シ測點ニ對スル關係ヲ測定スヘシ若シ測點力顯著ナル不動物體ニ符合スルトキハ之ヲ基點トナスヘシ

出願區域ノ各隅ト爲ルヘキ測點ニハ堅固ナル標杭ヲ設置シ之ニ測點ノ番號ヲ記載スヘシ若シ其ノ標杭カ不動物體ニ符合スヘキトキハ之ヲ設置スルコトヲ要セス

◎施行細則實施以前ノ縣令ハ鑛業願屆手續ニ關シ之ニ異ナル規定アルモ該細則第七條ノ爲メ其效力ヲ失ヒタルモノナリ(二八年第四號 二八、一〇、五宣告 不當處分取消ノ訴)

第十五條 探掘出願人ヲ變更セントスルトキハ新舊出願人ノ連署連印シタル願書ヲ所轄鑛山監督署長ニ差出スヘシ

⑤ 鑛業條例施行細則第十五條ハ採掘ノ新舊出願人ハ其願書ニ連名連印スヘキコトヲ規定シタルニ過キスシテ必スシモ自署ヲ要スルノ趣旨ニアラス  
(三八年第一三七號 三九、六、四宣告 硫黃鑛採掘特許取消請求ノ訴) (一七輯四卷三〇六頁)

第二十二條 願書ニ關スル願書、請求書又ハ圖面カ不完備ナルトキハ所轄鑛山監督署長ハ期日ヲ指定シ出願人ヲシテ之ヲ修正又ハ補充セシムヘシ

⑥ 鑛業條例施行細則第二十二條ニ依リ願書竝ニ圖面ノ補充ヲ命セラレタル出願人カ指定ノ期限内ニ之ヲ提出セサルトキハ出願ノ意思ナキモノト認メテ處分スルコトヲ得可シ  
(三三年第二七三號 三四、五、一八宣告 石炭試掘認可取消訴願ニ對スル判定不服ノ訴) (四四卷九三頁)

第二十三條 試掘又ハ採掘ノ出願區域ノ一部カ鑛業條例ニ依リ鑛業ヲ許可スヘカラサルモノナルトキ又ハ他人ノ試掘地若ハ鑛區ト重複スルトキハ所轄鑛山監督署長ハ期日ヲ指定シ出願人ヲテ願書及圖面ヲ修正セシムヘシ試掘地又ハ鑛區ノ訂正願書ニ付テモ亦同シ

⑦ 申立カ他人ノ鑛區ト一部重複セル場所ニ試掘ヲ出願シ未タ其重複部分ニ

對スル減區出願ノ手續ヲ爲ササル前ニ該鑛區ニ對スル廢業ノ届出アリタルニ因リ甲者ニ於テ更ニ區域變更願ヲ提出シ其廢業區ニ該當スル坑區ヲ出願シタル場合ニ在リテハ其區域變更願ハ有效ノ出願ナリ  
(三二年第四八號 三二、一、二、六宣告 石炭試掘認可取消ノ訴) (三二卷八頁)

⑧ 他人ノ許可地ト重複ナリトノ理由ヲ以テ石炭採掘特許願ヲ却下シタル事件ニ關シテ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ  
(三一年第一四五號 三二、二、二七號決 石炭採掘特許願却下不法ノ訴) (二九卷五四頁)

⑨ 甲カ其試掘出願區域乙ノ借區ト重複スルヲ以テ訂正命令ヲ甘諾シ其重複ヲ避ケテ認可ヲ得タル試掘區域ハ乙ノ借區ト重複スル理由ナク隨テ乙ノ借區ニ符合スル丙ノ試掘出願區域ト重複スル理由ナシ  
(三一年第四三號 三一、七、七宣告 採掘特許取消ノ訴)

⑩ 甲ノ出願區域ノ一部分乙ノ借區ト重複スルヲ以テ其重複ハ避ケテ認可ヲ得タル場合ニ於テハ該區域ハ乙ノ廢業ニ據リ甲ノ試掘權内ニ入ルヘキモ



鑛業法

第三十九條 鑛業公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

或鑛區カ鎮守府軍用水道ノ水源地ニ當リ軍備計畫上必要ト認メラルル時合ニ於テ主務大臣カ鑛業法第三十九條ヲ適用シ探掘權ヲ取消シタルハ相當ナリ(三十九年第一二號四〇、四、一〇宣告) 不當處分取消請求ノ訴(一八輯二卷一七〇頁)

漁業法及附屬法

漁業法

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水産動物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂フ

本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權ヲ享有スル者ヲ謂フ

第二條 私有水面ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ適用セス

第三條 漁具ヲ設置シ又ハ水面ヲ區畫シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ其ノ免許ヲ受クヘキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

前項ノ外主務大臣ニ於テ免許ヲ必要ト認ムル漁業ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

他人ノ出願地ト重複シタル漁業願ハ之ヲ許可セス(三二平第一三三號三三、一二、二四宣告) 不當裁決取消ノ訴(四二卷五二頁)

第四條 水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ハ漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ヲ專用セムトスル場合ヲ除クノ外從來ノ慣行アルニ非ザレハ之ヲ與ヘス

第五條 漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ノ專用ヲ出願シタルトキハ行政官廳ハ漁業ノ種類ヲ限定シテ免許ヲ與フルコトヲ得

從來ノ慣行ニ因リ前條ノ免許ヲ出願シタルトキハ行政官廳ハ其ノ慣行ニ因リ漁場ノ區域及漁業ノ種類ヲ定メ之ヲ免許ス

◎漁業組合ノ會員ハ其事業ニ對スル府縣稅ニ付キ連帶義務ヲ負フモノトス

(三六年第一四一號 三七年六、二八宣言 不法裁決取消ノ訴) 一七五輯六卷五四七頁

第六條 漁業免許ノ期間ハ二十箇年以内トス但シ第九條第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期間ハ免許期間ニ算入セス

免許期間ハ免許ヲ受ケタル者ノ申請ニ因リ之ヲ更新スルコトヲ得

第七條 漁業權ハ相續、讓渡、共有及貸付ノ目的ト爲スコトヲ得但シ地先水面專用ノ漁業權ヲ處分スルハ行政官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第八條 漁業權ハ免許ヲ受ケタル日ヨリ一箇年間漁業ニ從事スル者ナキトキハ行政官廳ニ於テ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得引續キ二箇年間休業シタルトキ亦同シ但シ行政官廳ノ認可ヲ受ケ休業シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期間ハ前項ノ期間ニ算入セス

第九條 行政官廳ハ水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ漁業免許ヲ制限シ若ハ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

漁業者ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違背シタルトキ亦前項ニ同シ

◎漁業法第九條ハ漁業免許カ正當ニ與ヘラレタル場合ニ適用スヘキ規定ニシテ誤謬ヲ訂正スルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニアラス (三八年第四五號 命 令取消ニ關スル訴) 一七七輯六卷四二〇頁

第十條 漁場ノ區域又ハ方位ヲ標示スル爲標識ヲ建設セムトスル者ハ他人ノ土地ニ立入り又之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ漁業者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケヘシ

第十一條 行政官廳ハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

第十二條 第十條ニ依リ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルカ爲生シタル損失ハ其ノ請求ニ依リ之ヲ補償スヘシ

第十三條 地方長官ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲主務大臣ノ認可ヲ得テ左ノ命令ヲ發ス



ルコトヲ得

一 水産動植物ノ採捕若ハ販賣ニ關スル制限又ハ禁止

一 漁具、漁船若ハ採捕ノ方法ニ關スル制限又ハ禁止

一 漁業者ノ數又ハ其ノ資格ノ制限

一 水産動植物ニ有害ナル物質ノ遺棄ニ關スル制限又ハ禁止

主務大臣ニ於テ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前二項ノ命令ニハ漁具及漁獲物ノ沒收ニ關スル罰則ヲ設クルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ一定ノ區域内ニ於ケル工作物ノ設置ノ制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得

工作物ニシテ遡河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者ニ除害工事ヲ命スルコトヲ得

第十五條 前條第二項ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ハ工作物ノ所有者ニ對シ相當ノ金額ヲ補償スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ申請者之ヲ補償スヘシ

第十六條 行政官廳ハ水産動植物ノ蕃殖保護ニ必要アリト認ムルトキハ公有水面ニ通スル私有水面ニ

前三條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第十七條 漁業ニ従事スル雇人及雇主ノ取締ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 一定ノ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ認可ヲ得テ漁業組合ヲ設置スルコトヲ得

漁業組合ノ地區ハ濱、浦、漁村其ノ他漁業者ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ

前項ノ區域ニ依リ難キ場合ニ於テハ市町村又ハ之ニ準スヘキ區域内ニ於テ其ノ地區ヲ定ムルコトヲ得

北海道ニ於テハ郡ヲ以テ漁業組合ノ地區ト爲スコトヲ得

第十九條 漁業組合ハ漁業權ノ享有及行使ニ付權利ヲ有シ義務ヲ負フ但シ自ラ漁業ヲ爲スコトヲ得ス

第二十條 漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ノ専用ノ免許ヲ受ケタルトキハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ヲシテ漁業ヲ爲サシムヘシ

第二十一條 漁業組合ノ設置、管理及監督ニ關スル規定ハ主務大臣之ヲ定ム

第二十二條 漁業者又ハ水産動植物ノ製造若ハ販賣ヲ業トスル水産業ノ改良發達及水産動植物ノ蕃殖

保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲水産組合ヲ設置スルコトヲ得

水産組合ニ關シテハ重要物産同業組合法ノ規定ヲ準用ス但シ同法中農商務大臣ニ屬スル職權ハ主務大臣之ヲ行フ

第二十三條

漁業免許若ハ其ノ更新ヲ拒否セラレタル者又ハ第八條、第九條若ハ第十四條第二項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ處分ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

漁業法第二十三條第二項ニハ廣ク前項ノ處分ニ依リ云云トアルヲ以テ漁業免許更新ノ拒否ニ對シテモ亦行政訴訟ノ提起ヲ許シタルモノトス

行政官廳ハ誤謬ニ因テ漁業免許ヲ與ヘタルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ訂正スル權能ヲ有スルモノトス

（三八年第四五號）

命令取消ニ關スル訴（一七輯六卷四二〇頁）

（三九年第七六號）

命令取消ニ關スル訴（一七輯六卷四二〇頁）

行政官廳カ從來ノ慣行ニ依ラサル新規ノ漁業免許ヲ與ヘタル場合ト雖モ其訂正命令ニシテ實質上一部ノ免許ヲ拒否セシモノナルトキハ被處分者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

（三八年第二五號）命令取消ニ關スル訴（一七輯六卷四二〇頁）

（三九年第七六號）

行政官廳カ從來ノ慣行ニ依ラサル新規ノ漁業免許ヲ與ヘタル場合ト雖モ其訂正命令ニシテ實質上一部ノ免許ヲ拒否セシモノナルトキハ被處分者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

（三八年第二五號）命令取消ニ關スル訴（一七輯六卷四二〇頁）

（三九年第七六號）

（三八年第二五號）命令取消ニ關スル訴（一七輯六卷四二〇頁）

行政官廳カ從來ノ慣行ニ依ラサル新規ノ漁業免許ヲ與ヘタル場合ト雖モ他人ノ漁業權ヲ侵害セサル以上ハ之ヲ目シテ違法處分ナリト云フヲ得ス

（三六年第四五三號）漁業免許取消請求ノ訴（一六輯二卷一〇七一頁）

（三八年第二五號）

漁業權ノ讓渡ヲ受ケタル者ハ更ニ行政官廳ニ對シテ免許狀ノ書換ヲ申請シ其下付ヲ受クルニアラサレハ自己ノ名義ヲ以テ漁業權ヲ行使スルコトヲ得ス從テ之カ書換下付ヲ拒否セラレタル者ハ漁業法第二十三條ニ所謂

漁業免許ヲ拒否セラレタルモノニ該當ス

（三七年第四四七號）不當裁決取消漁業權名義書換請求ノ訴ニ對スル妨訴抗辯（一六輯五卷四六九頁）

（三八年第六五號）

（三九年第七六號）

漁業法第三十三條ノ漁業者ハ免許期間ノ指定ヲ受ケ始メテ漁業權ヲ行使

シ得可キモノナレバ期間指定申請ノ却下ハ直チニ漁業免許ノ拒否ト同一ノ效果ヲ生ス從テ該却下處分モ亦同法第二十三條ノ規定ニ包含セララル、モノトス(三十七年第七二號、三十八年第六二六號)定置漁場免許期間指定不許可裁決不服ノ訴ニ對スル妨訴抗辯(一六輯七卷五二九頁)

② 漁業者カ從來ノ慣行ニ依リ水面ニ漁具ヲ定置シテ漁業ヲ營ミタルコトヲ主張シ其免許ヲ出願セル場合ニ當該行政廳ニ於テ從來ノ慣行ナシト認ムル以上ハ之ヲ否拒スルモ不法ニアラス(三十七年第八號、三十八年第五二六號)定置漁業免許不許可ノ處分取消ノ訴(一六輯四卷四一二頁)

③ 府縣知事ニ對シ漁業權許可及ヒ之ニ附隨スル告示取消ノ訴訟ヲ提起シタル後其漁業權ノ享有者カ權利ヲ拋棄セシトキハ訴訟ノ目的ハ消滅ニ歸シタルモノトス(三十七年第四九一號、三十七年第二二二號)藤波沖臺網漁業不當告示處分取消ノ訴(一五輯一一卷一〇九二頁)

④ 原告カ漁業免許取消ノ請求ヲ爲シタル場合ニ主務官廳ニ於テ既ニ其許可

ヲ取消シ之ヲ公布セル以上ハ訴訟ノ目的ハ消滅ニ歸シタルモノトス(三十七年第一一、一四號)漁業免許取消請求ノ訴(一五輯一〇卷九三四頁)

【同】(三十六年第四七一號、三十七、一、一四號)漁業免許取消請求ノ訴(一五輯一〇卷九二二頁)

⑤ 一定ノ漁場ニ於テ漁業權ヲ有セサルカ爲メ免許期間指定ノ申請ヲ却下セラレタル者ハ同一漁場ニ於テ他人カ受ケタル漁業免許ニ對シ取消ヲ求ムルノ權利ヲ有セス(三十六年第四九七號、三十七年一〇、二〇號)違法許可取消ノ訴(一五輯七卷七三九頁)

⑥ 漁場ノ區域漁業權ノ範圍若シクハ漁業方法ニ付キ裁決ヲ申請シ又ハ行政訴訟ヲ提起シ得可キ者ハ漁業者タルヲ要ス故ニ漁業權ノ貸付ヲ受ゲタル者ニシテ訴訟進行中貸借期間ノ滿了ニヨリ漁業者タルノ資格ヲ失ヒタル時ハ之レト同時ニ行政訴訟ヲ爲スノ權ヲ失フモノトス(三十六年第一三一號、三十七年一、二三號)漁場區域侵害事件違法裁決取消請求ノ訴(一五輯一卷四頁)

⑦ 漁業免許ニ付テハ出願ノ先後ニ依リ其許否ヲ決スヘキ旨ノ法令ナキヲ以テ行政官廳ハ出願ノ先後ニ拘ハラズ之ヲ許否スルコトヲ得ヘシ(三十六年第二三

三六、一、營業免許ニ係ル不當裁決並處分取消ノ訴(一四輯九卷八三三頁)

⑤ 舊來與ヘラレタル漁業免許ト雖モ行政廳ニ於テ公益上必要アリト認ムル

トキハ其免許ヲ取消シ又ハ漁業區域ヲ減縮セシムルコトヲ得(三五年第三〇九七號)

三六、五、二 漁業權傷害取消ノ訴(一四輯五卷四六三頁)

⑥ 漁業出願ニシテ法令ノ規定ニ違背スルコトナキモ公益保持ノ必要ヲ認メ

テ之ヲ拒否スルハ違法ニアラス(三五年第三七八號) 鯉漁業願不當處分及不當裁

決取消ノ訴(一四輯三卷三二三頁)

⑦ 定置漁業者ノ漁場免許ハ縱令相隣レル所ノ區畫漁業者ニ對シ隣網距離ヲ

減縮スルモ營業ノ區域ヲ減縮シタリト謂フヲ得サルヲ以テ營業免許ノ一

部ヲ取消シタルモノニ非ス(三五年第四七號) 漁場區域ニ關スル訴(一四輯一

卷三八頁)

⑧ 建網ト建網トノ距離ニ關スル規定ハ建網ト地引網トノ場合ニ適用スヘキ

モノニアラス(三五年第二七二號) 漁業免許取消ノ訴(一四輯一卷二六頁)

⑨ 漁業願書ノ却下處分ニ付キ法定ノ期間ナシ從テ其處分遲延ノ爲メ出願者

ニ不利益ヲ醸スコトアルモノヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス(三四年第一九七號)

鯉漁業ニ關スル訴(五一卷三六頁)

⑩ 北海道廳令ヲ以テ定ムル方式ニ違背セル漁業願ヲ却下シタル支廳長ノ處

分ハ正當ナリ(三四年第一九七號) 鯉漁業ニ關スル訴(五一卷三六頁)

⑪ 府縣知事ハ公益上必要ナリト認ムルトキハ流網漁業ノ許可ヲ取消シ之ニ

關スル工作物ノ除去ヲ命スルコトヲ得可シ(三三年第一九八號) 天龍川漁業許可

取消ニ關スル不當處分取消請求ノ訴(四四卷一〇〇頁)

⑫ 成規ノ手續ヲ經テ差出シタル漁業願ヲ正當ノ理由ナク拒否シタルハ違法

處分ニ由リ營業免許ヲ得ヘキ權利ヲ傷害シタルモノト謂ハサルヘカラス

(三二年第一三三號) 不當裁決取消ノ訴(四二卷四二頁)

(三三、一二、二四號)

【同】(三三年第一三三號三三、一二、二四號)不當裁決取消ノ訴(四二卷五二頁)

⑬ (三二年第三九號三二、一二、二四號)營業免許ニ係ル不當裁判及處分取消ノ訴(四二卷二二頁)

◎(三二年第二二〇號三三、一二、二四宣告營業免許ニ係ル不當裁決及處分取消ノ訴)【四二卷二〇頁】  
 ◎(三二年第二二二號第二二二號第二二三號三三、一二、二四宣告營業免許ニ係ル不當裁決及處分取消ノ訴)【四二卷二七頁】

◎(三三年第一二五號三三、一二、二四宣告不當裁決取消ノ訴)【四二卷三五頁】

◎魚族ヲ濫獲シテ其蕃殖ヲ妨害ストノ理由ヲ以テ漁業願ヲ拒否シタルハ公益保護上必要ノ處分ト謂フヘカラス(三二年第一三三號三三、一二、二四宣告不當裁決取消ノ訴)【四二卷五二頁】

【同】(三二年第一二六號三三、一二、二四宣告不當裁決取消ノ訴)【四二卷四二頁】

◎(三二年第一二五號三三、一二、二四宣告不當裁決取消ノ訴)【四二卷三五頁】

◎(三二年第二二二號三三、一二、二四宣告營業免許ニ係ル不當裁決及處分取消ノ訴)【四二卷二七頁】

◎(三二年第二二〇號三三、一二、二四宣告營業免許ニ係ル不當裁決及處分取消ノ訴)【四二卷二〇頁】

◎(三二年第二一九號三三、一二、二四宣告營業免許ニ係ル不當裁決及處分取消ノ訴)【四二卷一頁】

◎管轄官廳ハ漁業權ニ對シ許否ヲ決定スル職權ヲ有ス(三〇年第六一號三〇、一二、一宣告營業免許ノ拒否處分ニ係ル訴)【二二卷五一頁】

◎適法ノ手續ニ由リテ得タル漁業免許ノ取消ヲ命シタルハ違法ノ處分ナリ

(三二年第七七號七宣告漁場不當處分取消ノ訴)【二二卷四〇頁】

◎新ナル漁業願ニハ關係村ノ保證ヲ要スル場合ニ於テ郡長カ其保證ヲ缺キタル漁業免許ノ取消ヲ爲シタルハ違法ノ處分ニアラス(三二年第一一六號三二、二六宣告鯛網營業許可取消ノ訴)【二九卷二六頁】

◎從來ノ漁權ヲ確認シ且漁業ヲ營ム方法ニ關スル命令ヲ發セラレタシトノ請求ニ對シ知事カ詮議ニ及ヒ難キ旨ノ指令ヲ爲シタルハ營業免許ノ取消ニアラス(三〇年第一一七號三〇、一二、一七宣告地曳網營業免許取消ノ處分取消ノ訴)【二二卷七〇頁】

◎漁業取締規則ニ新規漁業ヲ爲ザントスル者ハ關係市町村ノ漁業者總代并組合頭取ノ支障ナキ旨ノ保證ヲ添ヘテ願出ツヘキ旨ノ規定アルニモ不拘其保證ヲ添ヘスシテ提出シタル漁業願ヲ郡長カ拒否シタルハ不當ニアラス(三〇年第六八號三〇、一二、一宣告鯛網營業免許拒絕ニ關スル不法處分取消ノ訴)【二二卷五五頁】

第二十四條 漁業免許ノ違法許可若ハ其ノ更新ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

◎漁業免許ニハ必ス一定ノ期間ヲ附スヘキモノニシテ二者相離ルヘカラサルモノトス從テ漁業免許ノ期間滿了ニ際シ其期間ヲ更新セル場合ニ於テハ漁業法第二十四條ニ依リ該處分ニ對シ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得(三八年第三四五號三五八號四〇、二、二二判決) 不法漁業期間更新許可處分取消要求ノ訴(一八輯一卷五四頁)

◎漁業法ニ所謂期間ノ更新ハ先ニ與ヘタル免許ノ期間滿了ニ際シテ更ニ期間ヲ新ニシ免許ヲ與フルノ旨趣ニ外ナラサレハ期間滿了ノ翌日更新指令ヲ爲スモ不法ニアラス(三八年第三四號三五八號四〇、二、二二判決) 不法漁業期間更新許可處分取消要求ノ訴(一八輯一卷五四頁)

◎漁業免許ノ違法許可若クハ其更新ノ處分ニ對シテハ漁業法第二十四條ニ依リ行政訴訟ヲ提起シ得ルモ訴願ヲ提起スルコトヲ得ス(三七年第一二四一號三七八、六、一九宣告)

法漁業免許取消請求ノ訴ニ對スル妨訴抗辯(一六輯五卷四九〇頁)

第二十五條 漁場ノ區域、漁業權ノ範圍又ハ漁業ノ方法ニ付漁業者ノ間ニ争アルトハ關係者ヨリ行政官廳ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

政官廳ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル申請者又ハ争訟ノ相手方ハ行政訴訟ヲ提起ス

ルコトヲ得

◎漁業法第二十五條第一項ニ規定スル争議ノ裁決ニ付キテハ單ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ヘク訴願ヲ爲スコトヲ得サルモノトス(三六年第一三一號三六一〇、二、三宣告) 漁場區域侵害事件違法裁決取消請求ノ訴ニ對スル妨訴抗辯(一四輯八卷七四三頁)

◎漁業法ニ所謂水産組合ニ該當スヘキ性質ヲ有スル組合ト雖モ明治三十五年農商務省令第九號水産組合規則第九條ニ依リ定款ヲ變更シ同規則施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ其認可ヲ受ケサルトキハ法人トシテ認ムヘキモノニ非ス從テ漁業法ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルノ權利ナシ(三五年第二七八號三六五、一、一宣告) 違

法漁業免許取消請求ノ訴（一四輯四卷三六四頁）

請求ノ目的タル漁業免許カ其效力ヲ失シタル時ハ訴訟ノ目的物ハ消滅シタルモノトス（三六年第三三三號 三二、六、一二宣告 築漁許可取消要求ノ訴）（三〇卷八二頁）

第二十六條 免許ニ依ラスシテ免許ヲ受ケヘキ漁業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス免許ノ停止中又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違背シテ漁業ヲ爲シタル者亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ漁獲物及何人ノ所有ヲ間ハス漁具ヲ沒收ス但シ沒收スヘキ漁獲物ヲ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ消費ス

第二十七條 使用人、漁夫其ノ他ノ従業者ノ所爲ハ漁業者ノ所爲ト看做シ前條ノ罰則ハ之ヲ漁業者ニ適用ス

第二十八條 第三條、第四條ノ權利ヲ侵害シタル者ハ被害者ノ告訴ニ依リ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 漁場ノ標識ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 明治三十三年法律第五十二號ノ規程ハ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ依ル罰則ニ之ヲ適用ス

附則

第三十一條 本法ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條 本法ノ規定ハ熊鷹鹿野獸獵法ノ效力ヲ妨ケス

第三十三條 本法施行前ニ受ケタル漁業ノ免許又ハ公有水面使用免許ニ依ル第三條ノ漁業者ハ本法施行ノ日ニ於テ本法ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做ス但シ其ノ免許期間ハ第六條ノ期間内ニ於テ行政官廳之ヲ定ム

第三十四條 從來ノ慣行ニ因ル第三條又ハ第四條ノ漁業者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ出願スルトキハ之ニ免許ヲ與フヘシ

前項ノ漁業者ハ其ノ免許ヲ出願シタル者ニ在リテハ許否ノ處分ヲ受ケル迄ノ間其ノ他ニ在リテハ本法施行後一箇年間仍從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 本法施行前ニ於テ水産業ノ改良發達及水産動物ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲行政官廳ノ認可ヲ得テ設置シタル組合ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ牴觸セサルモノハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依ル水産組合ト看做ス

# 水利組合條例及附屬法

## 水利組合條例

### 第一章 總則

第一條 府縣稅又ハ郡費ノ支辨ニ屬セル水利土功ニ關スル事業ニシテ其利害關係ノ區域市町村ノ區域

ト符合セサルモノ又ハ符合スト雖ニ市町村以上ニ渉ルモノニシテ特別ノ事情ニ依リ市町村若ハ町村

組合ノ事業トナスコトヲ得サルモノアル場合ニ於テハ此法律ニ依リ水利組合ヲ設置スルコトヲ得

◎從來地方稅ヲ以テ其費用ヲ支辨シ來レル水防組合ノ組織ニハ水利組合條

例第一條ヲ適用セス(二六年第五號 二六、三、二四宣告) 水防組合組織ニ對スル違法處分取消ノ

訴

◎水利組合條例第一條ノ水利土功トハ水利ニ關スル土功ヲ指シタルモノニシテ道路ニ關スルモノヲ包含セス(二五年第一九號 二五、七、四宣告) 道路區域存續ノ訴

第二條 水利組合ハ分テ左ノ二種トス

水利組合條例



水利組合條例

一 普通水利組合

二 水害豫防組合

⑤ 水害豫防組合ト水利組合トハ各自獨立ノ公共團體ナリ隨テ水利組合ハ水害豫防組合ノ處分ヲ受クヘキ場合ヲ生セス(三〇年第三七號 六、一五裁決 不法工事差止請求ノ訴)

第三條 普通水利組合ハ用器水等專ラ保護ニ關スル事業ノ爲設置スルモノトス

第四條 水害豫防組合ハ水害防禦ノ爲ニスル堤防浚渫沙防等ノ工事ニシテ普通水利組合ノ事業ニ屬セサルモノノ爲設置スルモノトス

第五條 水利組合ハ組合規約ヲ設ケ其組合ニ關スル重要ノ事項ヲ規定スヘシ

⑥ 水利組合規約ニ選舉人名簿縦覽及選舉ノ場所ハ組合内ニ公告スヘシトノ規定アルハ單ニ組合員ニ對シ公告スヘシトノ意義ナリ(三二年第一〇三號 水海道惡水吐樋等變通水利組合會議員選舉取消訴願ノ裁決ニ不服ノ訴) (三三三卷一五三頁)

第六條 二府縣以上ニ涉リテ水利組合ヲ設クルノ必要アルトキ此法律中府縣知事ノ職權ニ屬スル事項

ハ其關係ノ府縣知事協議ノ上之ヲ處分スヘシ若シ互ニ意見ヲ異ニスルトキハ内務大臣ニ具狀シ指揮ヲ請フヘシ

第二章 組合ノ設置及廢止

第七條 普通水利組合ハ組合事業ノ爲利益ヲ受クル土地ヲ以テ區域トシ其土地所有者ヲ以テ組合員トス但舊慣アルモノハ其舊慣ニ依リ區域ヲ畫スルコトヲ得

⑦ 水利組合員タル權利ヲ有スルモノニアラサレハ其組合ノ管理ニ屬スル用水ヲ使用スルコトヲ得ス(二九第九年二七號 三〇、四、三〇宣告 不法議決取消請求ノ訴)

第八條 普通水利組合ハ左ノ場合ニ於テ第十條乃至第十二條ノ手續ニ從ヒ之ヲ設置スルモノトス

一 組合員タルコトヲ得ル者五名以上ノ情願アリタルトキ

二 組合事業ニ關係アル土地ノ郡長又ハ市町村長ノ具狀アリタルトキ

第九條 前條ノ情願ニハ市町村長ニ於テ意見ヲ付シ町村長ハ郡長ヲ經、市長ハ直ニ之ヲ府縣知事ニ差出スヘシ

⑧ 水害豫防組合會議員選舉ニ先チ土地ノ所有權ヲ取得シタル者ハ選舉ノ際未タ登記ノ手續ヲ盡ササルモ選舉權ヲ有ス(二五年第一二二號 水害豫防組合會議

水利組合條例

員選舉投票不當決定ニ對スル訴

第十條 第八條ノ情願又ハ具狀ニ依リ府縣知事ニ於テ公處上設置スヘキモノト認ムルトキハ假ニ組合關係ノ區域ヲ指定シ其土地ノ郡長又ハ市町村長ノ内一人又ハ數人ニ創立委員ヲ命スヘシ

第十一條 創立委員ハ組合規約案ヲ調製シ關係者ノ總會議ニ付スヘシ關係者百人以上ニ及フトキハ府縣知事ノ認可ヲ經テ便宜總代人ヲ選ハシメ其集會ヲ以テ總會議ニ充ルコトヲ得

前項ノ總會議ハ關係者若ハ總代人ノ全員三分ノ二以上出席スルトキハ議決ヲ爲スコトヲ得其議決ハ過半数ニ依ル

第十二條 創立委員ハ關係者ノ總會議ニ於テ組合規約ノ議決ヲ經タルトキハ府縣知事ノ認可ヲ請フヘシ

府縣知事ニ於テ前項ノ認可ヲ爲ストキハ同時ニ組合設置ノ旨置其管理タルヘキ郡長者ハ市町村長ヲ告示スヘシ

第十三條 普通水利組合ハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ經テ之ヲ廢止スルコトヲ得此場合ニ於テ府縣知事ハ組合廢止ノ旨ヲ告示スヘシ但組合ニ於テ猶民法上ノ義務ヲ負フトキハ其義務ヲ完了スルカ又ハ完了ノ方法ヲ確定スル迄廢止スルコトヲ得ス

第十四條 水害豫防組合ハ府縣知事ニ於テ第十六條第十七條ノ手續ニ從ヒ水害ヲ受クヘキ地ニ就キ區域ヲ畫シテ之ヲ設置スルモノトス但舊慣アルモノハ舊慣ニ依リ其區域ヲ畫スルコトヲ得

前項ノ區域内ニ土地家屋ヲ所有スル者ハ總テ其組合員トス

第十五條 水害ヲ受ケサル土地ト雖水害ヲ受クヘキ地ニ接近シ組合事業ノ爲直接ノ利益ヲ受ケルモノハ之ヲ組合區域内ニ編入スルコトヲ得但此場合ニ於テハ其部分ニ限り土地所有者ノミ組合員タルモノトス

第十六條 府縣知事ニ於テ水害豫防組合ノ區域ヲ畫セントスルトキハ關係アル郡市參事會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ區域ノ變更ヲ要スルトキ亦同シ

第十七條 府縣知事ニ於テ水害豫防組合ノ區域ヲ定メタルトキハ其事業ニ關係アル土地ノ郡長又ハ市町村長ノ内一人又ハ數人ニ創立委員ヲ命スヘシ

創立委員ハ組合規約案ヲ調製シ之ヲ組合員ノ總會議ニ付スヘシ其他ハ第十一條及第十二條ヲ適用ス  
第十八條 水害豫防組合ハ府縣知事ニ於テ組合會ノ意見ヲ聞キ之ヲ廢止スルコトヲ得此場合ニ於テ府縣知事ハ組合廢止ノ旨ヲ告示スヘシ但組合ニ於テ猶民法上ノ義務ヲ負フトキハ第十三條但書ノ例ニ依ル

### 第三章 水利組合ノ會議

第十九條 水利組合ニ組合會ヲ置ク

第二十條 組合會議員ハ其組合員ニ於テ之ヲ選舉スヘシ議員ノ數、資格、任期及選舉ノ方法ハ組合規約ノ定ムル所ニ依ル

◎水利組合條例ハ組合會議員ノ選舉資格ニ制限スルコトナシ從テ婦人ト雖モ其選舉權ヲ有スルモノトス(三五年第一九八號 三五、二、一四宣告)水利組合議員ニ關スル不當裁決取消ノ訴(五六卷八一頁)

◎水害豫防組合議員ノ選舉ニ於テ管理者カ確定名簿ニ登録セラレタル選舉人ヲシテ投票ヲ爲サシメサリシハ違法ノ選舉ナリ(三〇〇年一四號 七、一宣告)不當裁決取消要求ノ訴

第二十一條 組合會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一 組合規約ヲ改正追加シ及普通水利組合區域ヲ變更スル事但其議決ハ議員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルヲ要ス

二 組合費ノ豫算ヲ定メ及決算報告ヲ認定スル事

三 組合費及夫役現品ノ賦課徴收方法ヲ定ムル事

四 組合ニ屬スル財産ノ賣買、交換、讓渡、讓受、並買入、書入ヲ爲ス事

五 豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

第二十二條 組合會ハ組合事業ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ管理者ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行就收入支出ノ成否ヲ監査スルコトヲ得

◎水利組合會ノ發案權ハ其管理者ニ專屬ス(三三年第一六一號 三三、二、二八宣告)不當裁決取消ノ訴(四一卷五三頁)

◎水利組合管理者カ訴訟代理人ヲ選任スルノ議案ヲ提出シタルニ組合會カ代理人其人ヲ指名シテ議決ヲ爲シタルハ越權ナリ(三三年第一六一號 三三、二、二八宣告)不當裁決取消ノ權(四一卷五三頁)

第二十三條 議員選舉ノ效力若ハ議員ノ資格ニ關スル異議ハ組合會之ヲ議決スヘシ組合會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願スルコトヲ得其組合ノ區域、郡市又ハ數郡ニ涉ル場合ニ於テ組合會ノ議決ニ不服アル者及郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

前項ニ依リ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 組合ノ區域ニ府縣以上ニ渉ル場合ニ於テ府縣參事會ニ訴願スル者アルトキハ其關係參事會ニ於テ協  
 議ノ上主管ヲ定ムヘシ若シ協議調ハサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

◎普通水利組合管理者カ組合議員半數改選執行ノ爲メ關係者ノ縦覽ニ供シ  
 タル選舉人名簿ニ原告ノ氏名ノ登錄ナキコトヲ不當トスル事件ニ付テハ  
 水利組合條例其他法令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三八年第二四〇號 縣參  
 事會裁決取消ノ訴)一七輯一卷三八頁

◎水利組合會議員選舉人名簿調製後縦覽期間滿了前ニ於テ土地ヲ買得セル  
 者ノ爲シタル投票ハ無効ナリトス(三六年第一一九號 縣參事會裁決取消ノ訴)一  
 四輯八卷七七七頁

◎普通水利組合總代選舉ノ當否ニ付テハ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三五  
 年第一二四號 普通水利組合總代人選舉方ニ對スル訴)一五七卷一〇七頁

◎水利組合會議員ノ選舉ニ際シ長女乙甲ノ委任狀ヲ携帯スルコトナク甲ナ

リト稱シテ爲シタル投票ハ無効ナリ(三五年第一九八號 水利組合會議員選舉ニ  
 關スル不當裁決取消ノ訴)一五六卷八一頁

◎水利組合議員選舉ノ投票調査ニ組合規約ノ手續ヲ欠クモ規約ニ明文ナキ  
 以上ハ其選舉ヲ無効トスルヲ得(二七年第三八號 裁決取消ノ訴)

◎水利組合員ノ議員選舉ニ於テ組合規約ニ違背シタル無効ノ投票アルモ其  
 選舉全体ヲ取消ノ理由トナラス(二七年第三八號 裁決取消ノ訴)

◎水利組合議員選舉投票取消願ヲ第三者カ却下セシメントスル請求ニ付水  
 利組合條例及他ノ法令中訴權ヲ附與シタル明文ナシ(二五年第一一七號 水利組  
 合議員選舉投票取消願ノ却下請求ノ訴)

第二十四條 組合ハ管理者ヲ以テ議長トス管理者故障アルトキハ其代理者ヲ以テ之ニ充ツ  
 第二十五條 組合ハ毎年一回若ハ二回通常會ヲ開キ其他臨時ノ必要アル毎ニ臨時會ヲ開ク但通常會  
 ノ時期及度數ハ組合ノ規約ノ定ムル所ニ依ル

組合ハ管理者之ヲ招集ス若シ議員四分ノ一以上ノ請求アルトキハ必ス之ヲ招集スヘシ

招集狀ハ急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外逕クモ會議ノ三日前ニ之ヲ發スヘシ

第二十六條 組合會ハ議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス

◎水利組合條例第二十六條ハ組合會ニ於テ議事ヲ開キ議決ヲ爲スニ要スル人員ヲ定メタルモノニシテ組合會成立ノ人員ヲ定メタル規定ニアラス(三年第一〇七號 水海道惡水吐樋等普通水利組合會議員選舉取消訴願ノ裁決ニ不服ノ訴)〔二三三卷一五三頁〕

第二十七條 組合會ノ議決ハ過半数ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第二十八條 組合員少數ノ組合ニ於テハ組合會ヲ設クス組合規約ノ規定ニ依リ組合員總會ヲ以テ之ニ充ルコトヲ得

### 第四章 組合ノ管理

第二十九條 水利組合ハ其組合ノ區域一市町村ニ止ルトキハ其市町村長之ヲ管理シ數市町村又ハ郡市

若ハ數郡ニ涉ルトキハ府縣知事ニ於テ便宜郡長又ハ市町村長ノ内一名ヲ指定シ之ヲ管理セシムヘシ

◎一市町村内ニ止マル水利組合ハ其組合規約ノ認可ヲ得ルト同時ニ成立ス

ルモノナルカ故ニ府縣知事ノ設置告示前ト雖モ當然ノ管理者タル村長ニ於テ議員選舉ヲ執行シタルハ違法ニアラス(二七年第七八號 議員選舉ノ效力ニ關スル訴)

第三十條 水利組合ノ收入及會計ノ事務ハ郡長ニ於テ管理者タル場合ハ郡ノ會計吏ヲシテ兼掌セシメ

市町村長ニ於テ管理者タル場合ハ其市町村收入役ヲシテ兼掌セシムヘシ

組合區域數市町村ニ涉ルトキハ各市町村收役人ハ管理者ノ求ニ依リ組合費ノ徵收ヲ爲スヘシ

第三十一條 管理者タル郡長又ハ市町村長ニ於テ行フ職務ニ關シ組合ノ爲特ニ要スル費用ハ其組合ノ負擔トス組合ノ收入及會計事務ヲ兼掌スル郡會計吏又ハ市町村收入役ニ於テ行フ職務ニ關スル費用亦同シ

第三十二條 管理者職務ノ概目左ノ如シ

一 組合一切ノ事務ヲ管理スル事

二 組合會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事若シ組合會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又

ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ理由ヲ示シテ議決ヲ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ改

メサルトキハ郡參事會ノ裁決ヲ請フヘシ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スル

水利組合條例

水利組合條例

コトヲ得但權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其組合ノ區域郡市若ハ數郡ニ涉ルトキ又ハ郡長ニ於テ管理者タルトキハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フヘシ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得但權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

- 三 組合ノ權利ヲ保護シ收入金其他ノ財産ヲ管理シ歳入出豫算其他組合會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計ヲ納テ監視スル事
- 四 諸證書及其他書類ヲ保管スル事
- 五 外部ニ對シテ組合ヲ代表スル事

◎水利組合會議員選舉ノ投票用紙ヲ保存セサルモ其選舉ハ違法ニアラス(二年第七八號 二八三、二七宣告 議員選舉ノ效力ニ關スル訴)

第二十三條 管理者ハ特ニ組合會ノ委任ヲ受ケ又ハ其議決ヲ經タル事件ニ非サレハ組合ノ爲契約ヲ結ビ又ハ義務ヲ負擔スヘキ證書若ハ委任狀ヲ發スルコトヲ得ス

第二十四條 組合ハ必要ナル委員又ハ附屬ノ僱員ヲ置クコトヲ得委員ハ組合會之ヲ選任シ僱員ハ管理者者之ヲ任用ス

委員又ハ僱員ノ爲ニ要スル費用ハ其組合ノ負擔トス

第五章 組合ノ會計

第三十五條 普通水利組合費ハ土地ニ賦課シ水害豫防組合費ハ土地及家屋ニ賦課スルモノトス但償價アルモノハ專ラ土地ニ賦課スルコトヲ得又第十五條ノ組合員ニ對シテハ土地ニ限り之ヲ賦課スヘシ

第三十六條 組合費ハ組合規約中ニ豫メ連年据置ノ賦課額ヲ設ケ之ヲ徵收スルコトヲ得

第三十七條 組合費豫算額ノ剩餘ハ之ヲ積金ト爲スノ方法ヲ設ケルコトヲ得其積立並支出ノ方法ハ組合會ノ議決スル所ニ依ル

第三十八條 組合ハ其事業ノ爲夫役現品ヲ組合員ニ賦課スルコトヲ得但水害豫防組合ニ在テハ夫役ニ限リ其區域内ニ住居スル一般ノ人民ニ賦課スルコトヲ得

夫役現品ニ關スル規定ハ組合規約中ニ之ヲ定ムヘシ

第三十九條 普通水利組合費ノ賦課額ハ組合會ノ議決ニ依リ水害豫防組合費ノ賦課額ハ府縣知事ニ於テ其關係郡市參事會ノ意見ヲ聞キ其事業ヨリ受クル利益ノ厚薄ニ依リ區域ヲ限リ其割合ニ差等ヲ設

水利組合條例

◎水利組合費ノ賦課ニ關シ條例第三十九條ヲ適用スルト否トハ組合會ノ議決ニ據ル(二八年第四二號 山川沼普通水利組合費賦課金令書取消ノ訴)

第四十條 組合費ノ徵收及滯納處分ハ市町村稅ノ例ニ依ル

第四十一條 組合ハ天災事變ノ爲止ムヲ得サル支出若ハ組合永久ノ利益トナルヘキ事業ニ付通常ノ歲入ヲ増加スルトキハ其組合員ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限り負擔ヲ起スコトヲ得

組合ニ於テ負債ヲ起スコトヲ議決スルトキハ其借入及償還ノ方法及期限並利足ノ定率ヲ定ムヘシ  
年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキ一時ノ借入金ハ前項ノ例ニ依ルノ限ニアラス但組合會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第四十二條 管理者ハ毎會計年度ノ歲入出豫算ヲ調製シ會計年度前ノ通常組合會ノ議決ニ付スヘシ

第四十三條 歲入出豫算ハ組合會ノ議決ヲ經タル後之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第四十四條 決算ハ第三十條ノ會計吏又ハ收入役ニ於テ會計年度ノ終ヨリ三箇月以内ニ之ヲ終了シ證書類ヲ併テ之ヲ管理者ニ提出シ管理者ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シ之ヲ次回ノ通常組合會ノ認定ニ付ス

算決報告書並之ニ關スル議決ハ管理者ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

### 第六章 水利組合ノ監督

第四十五條 水利組合ハ第一次ニ郡長第二次ニ府縣知事第三次ニ内務大臣之ヲ監督ス其郡長又ハ市長

ニ於テ管理スル場合ニ於テハ第二次ニ府縣知事第三次ニ内務大臣之ヲ監督ス

第四十六條 此法律中別段ノ規定アルモノノ外管理者ノ處分ニ不服アル者ハ組合所在地ノ市町村會ニ

訴願シ郡縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其組合ノ區域郡市又ハ數郡ニ

渉ル場合ニ於テ管理者ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

前條ニ依リ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合ノ區域ニ府縣以上ニ渉ル場合ニ於テ府縣參事會ニ訴願スル者アルトキハ第二十三條第三項ノ例

ニ依ル

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

◎普通水利組合カ受負人ヲ指定シタル決議ヲ不當ト爲シ其決議ノ取消ヲ請求スル事件ニ付テハ法律勅令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三九年第四三號)

◎三九、五、三 不當決議及裁決取消請求ノ訴(一七輯四卷二九八頁)

●府縣知事ニ對シ普通水利組合會規約ノ認定及ヒ管理者ヲ指定セル告示ノ取消ヲ求ムル裁決ニ付テハ水利組合條例中出訴ヲ許シタル規定ナシ(三八年第三號 三六三號 三八、二二、二〇號決) 普通水利組合會規約ノ認可並組合ノ設置及管理者指定ノ告示取消ノ訴(一六ノ二卷一〇六六頁)

●堤防費負擔區域ノ劃定ニ關スル事項ニ付テハ水利組合條例其他ノ法令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三七年第一〇四〇號 三七年第一〇九號決 縣參事會裁決一部不服ノ訴) 一五輯一巻一〇三七頁

●普通水利組合カ解散ノ議決ヲ爲シタルニ拘ハラヌ管理者ニ於テ之レヲ執行セサルニ依リ其解散ヲ求ムル事件ニ付テハ法律勅令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三六年第五五五號 三七年第二五五號 違法組織普通水利組合解散ノ訴) 一五輯一巻三五頁

●府縣知事カ水害豫防組合ノ區域ヲ劃定シ創立委員ヲ命シタル後之レヲ取消シタルヲ不當トナシ其取消ヲ求ムル事件ニ付キテハ法律勅令中行政

訴訟ヲ許スノ規定ナシ(三七年第四一五號 三七年第六二〇號 水利ニ關スル不當命令取消請求ノ訴)

〔一五輯六卷五三八頁〕

●水利組合規約ヲ不當トシ再議更正ヲ求ムル事件ニ付キ法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ(三四年第九四號 三四年第一一八號決) 水利組合規約再議更正ノ訴

●水利組合區域ノ變更ヲ求ムル事件ニ關シテ水利組合條例中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三一年第一二五號 三一年第一二二號 三一年第一二三號決) 水利組合區域刪除ノ訴(二八卷六二頁)

〔同〕(三一年第一二六號 三一年第一二二、二三號決 水利組合區域刪除ノ訴) 二八卷六三頁

●水利組合規約ノ認可ヲ不當トシ其認可取消ノ請求ニ對シ出訴ヲ許ス法令ナシ(三〇年第三三三號 三〇年第五二四號決) 普通水利組合認可取消ノ訴

●用水使用權ヲ有スル者ニ非サレハ水利組合カ如何ナル議決ヲ爲スモ之ニ因テ其權利ヲ侵害セラレタリト謂フヲ得ス(二八年第六九號 二九年第六一九號 三田用水内堀普通水利組合會不法決議取消ノ訴)

第四十七條 賦課金納付ノ義務ニ關スル訴訟ハ其徵收令書ヲ交付シタル日ヨリ三箇月以内ニ提出ス



前項ノ場合ニ屬セサル事件ニ關シ訴願セントスル者ハ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

◎水利組合條例第四十七條第二項ハ訴願期限ニ關スル規定ニシテ議員選舉ノ效力ニ關スル異議申立ニ適用セス(二七年第七八號(二八、三、二七)宣告 議員選舉ノ效力ニ關スル訴)

第四十八條 水利組合會ハ内務大臣ニ於テ之ヲ解散セシムルコトヲ得解散ヲ命スルトキハ同時ニ三箇月以内更ニ議員ヲ選舉スヘキコトヲ命スヘシ

第四十九條 監督官廳ハ組合事務ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事業ノ公益ヲ害セサルヤ否ヤヲ監視シ兼テ其會計事務ヲシテ錯雜セサラシムルコトヲ務ムヘシ監督官廳ハ之カ爲組合事務ノ報告ヲ爲サンメ並實地ニ就テ現況ヲ觀察シ出納ヲ檢閲スルコトヲ得  
組合ニ於テ公益ヲ害スヘキ工事ヲ執行スルカ又ハ正當爲スヘキ工事ヲ執行セサルカ爲公益ヲ害スルノ虞アルトキハ府縣知事ハ其工事ノ變更又ハ執行ヲ命スルコトヲ得若シ其命令ニ服從セサルトキハ府縣知事ニ於テ之ヲ執行シ其實費ヲ追徴スルコトヲ得

第五十條 組合會ニ於テ組合規約ノ改正追加及普通水利組合區域變更ノ議決ヲ爲シ又ハ不動産ノ賣却交換、讓渡又ハ質入、書入ノ議決ヲ爲シ又ハ第三十九條ニ依リ普通水利組合費ノ賦課額ニ差等ヲ設クルノ議決ヲ爲シタルトキハ府縣知事ノ認可ヲ受ケヘシ  
組合會ニ於テ負債ヲ起スコトヲ議決シタルトキハ借入及償還ノ方法及期限並利息ノ定率ヲモ併テ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケヘシ  
其他組合規約中ニ監督官廳ノ認可ヲ受ケヘキ事項ヲ增加スルコトヲ得

第五十一條 水害豫防組合關係者總會議又ハ水害豫防組合會ニ於テ其議決スヘキ事項ヲ議決セサルカ爲公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣參事會若ハ郡參事會ニ付シテ決定セシムルコトヲ得關係者總會議ニ出席セス又ハ議員ヲ選舉セス若ハ議員ノ當選ヲ承諾セサル爲總會議又ハ組合會成立ニ至ラサルトキ亦同シ  
水害豫防組合會ニ於テ組合事業ノ爲必要ナル費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖必要ノ給需ヲ缺クトキハ管理者ハ府縣知事ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但府縣知事ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第五十二條 水利組合關係者總會議ニ於テ議決シタル組合規約法律命令ニ背キ又ハ公益ニ害アリト認

水利組合條例

アルトキハ府縣知事ハ其理由ヲ示シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ改メサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第五十三條 監督官廳ハ出水ノ爲危險アルトキ水利組合ニ對シ防禦ニ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ郡長市町村長又ハ警察官ハ組合區域内ニ住居スル一般ノ人民ヲ指揮シテ防禦ニ從事セシメ及必要ナル現品ヲ收用スルコトヲ得但現品ハ追テ組合ノ費用ヲ以テ相當ノ賠償ヲ爲サシムヘシ

第五十四條 水利組合管理者及其事務ニ服従スル者ニ對シ懲戒處分ヲ要スルトキハ町村制第二百二十八條ヲ適用シ其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ超エタル爲組合ニ賠償スヘキコトアルトキハ町村制第二百二十九條ヲ適用ス

第七章 附則

第五十五條 府縣參事會、郡參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間郡參事會ノ職務ハ郡長府縣參事會ノ職務ハ府縣知事行政裁判所ノ職務ハ從來ノ慣行ニ依リ控訴院ニ於テ之ヲ行フヘシ

第五十六條 此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ組合會ノ議決スヘキ事項ハ其成立ニ至ル迄

ノ間管理者ニ於テ之ヲ行フヘシ

◎組合會ノ成立前ニ在テ管理者カ水利組合條例第五十六條ニ依リテ其事務ヲ處理セシハ適法ナリ(三二年第一〇七號  
三二二二二七號  
三二二二七號) 水海道惡水吐樋管普通水利組合會議員選舉取消訴願ノ裁決ニ不服ノ訴(三三卷一五三頁)

第五十七條 此法律ニ依リ設置スル水利組合ニ於テ舊町村會又ハ水利土功會ノ事業ヲ繼續スルトキハ其既成ノ工事及所屬ノ財産ハ總テ其組合ニ引繼クヘキモノトス

第五十八條 此法律ハ市制町村制ヲ施行スル地方ニ於テ府縣知事ハ内務大臣ニ具狀シ其指揮ニ依リ之ヲ施行ス

### 市町村制施行後水利土功及學事ニ關スル 會議存續ノ件

朕水利土功及學事ニ關スル會議存續ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

從來開設シタル水利土功會又ハ水利土功若クハ學事ニ關スル町村聯合會ハ明治十七年(五月)第十四號

布告區町村會法ニ依リ又學區會ハ同法第十四條第十五條ニ準據シ市制町村制施行後ト雖モ別ニ規定ヲ

設ケルマテ之ヲ存續スルコトヲ得

◎縣知事カ相當ノ調査ヲ遂ケテ公有水面埋立工事ヲ許可シタルハ違法ニ非  
ス(二六年第一〇四號  
二七、三、一七宣告)水面埋立工事ニ關スル違法指令取消請求ノ訴)

◎二十二年法律第十一號ニ據テ存續セル水利土功會ハ水利組合條例施行後  
ト雖モ同法ニ基ク水利組合會ノ設立ニ至ルマテハ有效ニ成立ス隨テ管理  
者タル郡長カ土木工事ノ議案ヲ該會ニ提出シタルハ違法ニ非ス(二六年第四一  
二六、五、二五宣告)土木ニ關スル違法處分ノ告示取消ノ訴)

◎二十二年法律第十一號ニ基ク水利土切ニ關スル町村聯合會ハ特別ノ法律

ヲ以テ廢止スル迄ハ存續ス故ニ其管理ニ屬スル道路事務ニハ町村制第百  
十六條ヲ適用セス(二五年第一九號  
二五、七、四宣告)道路區域存續ノ訴)

◎存續水利土切會又ハ水利土切ニ關スル町村聯合會ニハ總テ區町村會法ヲ  
適用スヘキモノニシテ町村制ヲ援用スルハ失當ナリ(二四年第八六號  
二五、四、二宣告)聯合町村  
會ニ違法處分ノ實行命令取消ノ訴)

◎二十二年法律第十一號ハ學區ノ數町村ニ關係スル場合ニノミ適用スヘキ  
法律ナルヲ以テ同法ニ準據シタル縣令ニ依リ學區會ヲ存續スルモ學區ト  
町村區域ト相伴フ場合ハ該會ノ決議ヲ經スシテ教育費ヲ賦課スルモ不當  
ニ非ス(二四年第二八號  
二四、七、一〇宣告)教育費賦課令狀取消ノ訴ニ對スル新潟縣參事會裁決  
不服ノ訴)

◎町村聯合會カ水利土切ニ關スル里道ノ修築費ヲ町村費トシテ議決シタル  
ハ違法ニ非ス從テ郡長カ之ヲ賦課徵收シタルモ亦違法ニ非ス(二四年第五號  
二四、四、一〇  
宣)西蒲原郡總町村費ニ關スル訴願裁決不服ノ訴)

◎聯合町村會ノ開設ハ開設ノ告示ニ據リテ成立ス

町村制實施ノ當日開設ノ告示アリタル聯合町村會ハ同制實施後存續セサルヲ以テ該會カ聯合町村費ヲ評決シ之ヲ賦課シタルハ違法ナリ(二三年第七二二號)聯合町村費賦課一件ニ關スル不當ノ裁決取消ノ訴(一六號)

### 水利土工ニ關スル判例

◎甲者カ其所有地ヲ町村ニ寄附シ適法ノ手續ヲ經テ之ヲ道路ト爲シタル後乙者ニ於テ該敷地ノ所有權ヲ取得シ登記ヲ爲シタル場合ニハ縱令乙者カ權利ヲ毀損セラレタル事實アリトスルモ當該行政廳ニ對シテ其道路ノ廢除ヲ請求シ得サルモノトス(三七年第八二二號)土木工事ニ關スル不當處分取消請求ノ訴(一七輯六卷四七〇頁)

◎全ク其命令ヲ爲シタル根據ヲ異ニスルニ於テハ縱令訓令ニシテ執行上先キニ取消スヘシトノ判決ヲ受ケタル命令ト同一ノ結果ヲ生スルモノトス

ルモ之ヲ以テ前判決ヲ打破スル不法アリト云フヲ得ス(三四年第二九四號)水利ニ關スル違法訓令取消ノ訴(一四輯六卷五六六頁)

◎民法第二百十四條及ヒ第二百十九條ノ規定公有河川ナル水流ノ場合ニ適用スヘキモノニ非ス(三四年第一六三號)堤防上置工事不當認可取消請求ノ訴(一五七卷一〇〇頁)

◎渡船營業ノ許否ハ府縣知事ノ自由裁量ニ依リ出願者ヲ斟酌シテ決定スルコトヲ得ルモノトス(三四年第二三四號)渡船營業免許拒否處分取消ノ訴(一五〇卷一八一頁)

◎甲村カ乙村ノ村界ニ跨リ橋梁ヲ架設セントシ其許否ヲ出願シタル場合ニ於テ府縣知事ヨリ乙村ノ承諾ヲ求ムヘキコトヲ規定シタル法令トシ(三三年第二〇九號)不法橋梁工事取除請求ノ訴(三四一〇二三號)

◎縣知事カ舟路浚渫工事ノ許可ヲ公益上必要ナリト認メテ取消シタルハ違法ニアラス(三一年第七六號)舟路浚渫許可取消處分取消請求ノ訴(一八卷八

五頁

④ 水車ヲ運轉スル爲メ官有地ニ堰埭ヲ設置スルニハ當該官廳ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス(三二年第七三號 三二年第一一號 三二年第一一號) 堰埭取拂命令取消ノ訴(三二二卷一七頁)

⑤ 水車新築ノ許可ニハ堰埭設置ノ許可ヲ包含セス(三二年第七三號 三二年第一一號) 堰埭取拂命令取消ノ訴(三三三卷一七頁)

⑥ 縣知事ハ用水路ノ興廢ヲ許否スルノ職權アルカ故ニ無許可ニテ新設シタル用水路ヲ舊形ニ復スヘキ命令ヲ發シタルハ不當ニ非ス(三〇年第八九號 三一、三、一五號) 不當命令取消ノ訴

⑦ 縣知事カ治水ニ支障アリト認メ新築堤防撤却ヲ命シタルハ不當ノ處分ニ非ス(二八年第九五號 三〇、六、三〇號) 不當命令取消ノ訴

⑧ 縣道改修ノ爲ニスル路線ノ選定ハ知事カ調査決定スヘキ職權ニ屬ス(二九年九二號 三〇、一、一三號) 路線變更ノ訴

⑨ 縣道改修ノ爲ニ一箇人ノ土地ヲ收用スルハ違法處分ニ由ル權利ノ毀損ニ

非ス(二九年第九二號 三〇、一、一三號) 路線變更ノ訴

⑩ 知事カ交通上ノ便益ヲ認メ甲村ノ故障アルニ拘ラス乙村ニ道路開鑿ヲ許可シタルモ法規ニ違背セサルニ於テハ不法ノ處分ニ非ス(二八年第七〇號 二八、一〇、二四號) 土木ニ關スル不法處分取消請求ノ訴

# 土地收用法

第一章 總則

第二章 事業ノ準備

第三章 事業ノ認定

第四章 收用ノ手續

第五章 收用審査會

第六章 損失ノ補償

第七章 收用ノ效果

第八章 費用ノ負擔

第九章 監督、強制及罰則

第十章 訴願及訴訟

附則

# 土地收用法

土地收用法

### 第一章 總則

第一條 公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ノ爲之ニ要スル土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要アルトキハ其ノ土地ハ本法ノ規定ニ依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

本法ニ於テ使用ト稱スルハ權利ノ制限ヲ包含ス

第二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

- 一 國防其ノ他軍事ニ關スル事業
- 二 官廳又ハ公署建設ニ關スル事業
- 三 教育、學藝又ハ慈善ニ關スル事業
- 四 鐵道、軌道、道路、橋梁、河川、堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠頭、水道、下水、電氣機、瓦斯燈又ハ火葬場ニ關スル事業
- 五 衛生、測候、航路標識、防風、防火、水害豫防其ノ他公用ノ目的ヲ以テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ施設スル事業

第三條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル起業者ノ權利義務ハ事業ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

第四條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ起業者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第五條 本法ニ於テ土地所有者ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ謂フ

本法ニ於テ關係人ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後其ノ土地ニ關シテ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ比ノ限ニ在ラズ

◎家屋ノ賃借人ハ家主ニ對シ自己ノ權利ヲ有スルモ其家屋ニ附隨スル地所ノ如キハ家屋ヲ賃借スルニ因リ唯其使用ニ充テラレタルモノニ過キサレハ土地收用法第五條第二項ニ所謂土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ニ該當セ

ス(三七年第四〇七號  
三八、四、一〇宣告) 收用審査會違法裁決ニ對スル訴(一六輯三卷二三五頁)

第六條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八條 本法ノ規定ハ土地ニ屬スル土石砂礫ノ收用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

### 第二章 事業ノ準備

第九條 事業ノ準備ノ爲必要アルトキハ起業者ハ事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ得テ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テ宮内省又ハ國ノ起業ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ起業者、事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ公告シ又ハ之ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ノ準備ノ爲其ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テハ本條ノ許可又ハ通知ヲ要セス

第十條 前條ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ五日前ニ其ノ日時及場所ヲ市町村長ニ通知スヘシ市町村長ハ之ヲ公告シ又ハ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ豫メ其ノ占有者ニ通知スヘシ  
日出前日没後邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ特ニ行政廳ノ許可ヲ受ケヘシ

第十一條 第九條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ起業者ハ行政廳ノ許可ヲ得テ障害物

ヲ除却スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ障害物ノ除却ヲ爲ス場合ニ於テハ起業者ハ三日前ニ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

### 第三章 事業ノ認定

第十二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ内閣之ヲ認定ス但シ軍機ニ關スル事業ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 起業者カ内閣ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スヘシ内務大臣ハ之ヲ審査シ内閣ニ提出スヘシ

宮内省又ハ國ノ起業ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ内務大臣ニ協議ヲ爲シ之ヲ内閣ニ提出スヘシ

第十四條 内閣カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業ノ種類並起業地ヲ公告スヘシ

第十五條 天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲メ土地ヲ使用スルトキハ郡市長ハ其ノ事業ノ認定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ使用ノ期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス軍事上臨時急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルト



キハ主務大臣ハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第十六條 起業者カ郡市長ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ

期間ヲ定メ郡市長ニ申請スヘシ

第十七條 郡市長カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者、事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間

ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

郡市長カ第十五條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

第十八條 起業者カ内閣ノ認定ノ公告ノ後三箇年内ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認定ハ效力ヲ失フ

### 第四章 收用ノ手續

第十九條 内閣ノ認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

軍機ニ關スル事業ニ付テハ主務大臣ハ地方長官ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ通知シ地方長官ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十條 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ起業者ハ其ノ土地ニ立入り土地物件ヲ調査ハルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ三日前ニ其ノ日時及場所ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

日出前日没後ハ占有者ノ承諾アルニ非サレハ邸内ニ立入ルコトヲ得ス

第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ必要ト認ムルトキハ土地所有者又ハ關係人ト共ニ土地物件ニ關スル調査ヲ作ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人カ調査ヲ作ルコトヲ拒ミタルトキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作ルコトヲ得但シ市町村長カ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ケタル關係ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

土地所有者又ハ關係人カ調査ノ必要ヲ認メタルトキハ前二項ノ規定ヲ準用ス  
起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作りタル調査ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述ブルコトヲ得ス

第二十二條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ

土地收用法

地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

第二十三條 收用審査會ノ裁決ヲ求ムトスルトキハ起業者ハ其ノ申請書ニ左ニ掲ケタル書類ヲ添ヘ

地方長官ニ差出スヘシ但シ軍機ニ關スル事業ニ付テハ事業計畫書及圖面ヲ添フルコトヲ要セス

一 事業計畫書及圖面

二 市區町村別ニ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類

收用又ハ使用スヘキ土地ノ番號、地目

收用又ハ使用スヘキ土地ノ面積及其ノ土地ニ在ル物件ノ種類、數量但シ土地物件カ分割ヲ來スヘキ場合ニ於テハ其ノ全部ノ面積建坪等ヲ併記スヘシ

損失補償ノ見積金額及内譯

收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

土地所有者及關係人ノ氏名、住所

收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ之ヲ市町村長ニ下付スヘシ市町村長ハ豫メ公告ヲ爲シ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供スヘシ

第二十五條 土地所有者及關係人ハ前條縦覽期間ノ初日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ意見書ヲ差出スコトヲ得

第二十六條 地方長官ハ前條ノ期間ヲ經過シタル後收用審査會ヲ開クヘシ

第二十七條 收用審査會ハ開會ノ日ヨリ一週間内ニ裁決スヘシ但シ地方長官ハ必要ト認ムルトキハ二週間内ノ延期ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 收用審査會カ前條ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ事情ヲ具シ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ内務大臣ハ收用審査會ニ一定ノ期間内ニ裁決ヲ爲スヘキコトヲ命シ又ハ之ニ代テ爲スヘキコトヲ地方長官ニ命スルコトヲ得

收用審査會カ前項ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ之ニ代テ裁決ヲ爲スヘシ

第二十九條 收用審査會カ招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ之ニ代テ裁決ヲ爲スコトヲ得事業ノ急施ヲ要スルトキ亦同シ

第三十條 收用審査會カ裁決ヲ爲シタルトキハ其ノ裁決書ノ謄本ヲ添ヘ地方長官ニ報告スヘシ

土地收用法

土地收用法

第三十一條 前條ノ報告ヲ受ケ又ハ收用審査會ニ代テ裁決ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ裁決書ノ謄本ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ送達スヘシ

第三十二條 軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ノ施行ニ因リテ必要ヲ生シタル道路、堤防其ノ他公用ニ供スル工作物ノ新築、改築又ハ増築ノ爲土地ヲ收用又ハ使用スルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ直ニ本章ノ規定ニ依ルコトヲ得

第三十三條 郡市長カ認定ヲ爲シ又ハ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第十七條ノ通知ノ後起業者ヲシテ直ニ其ノ土地ヲ使用セシムルコトヲ得但シ損失ノ補償ニ關シテハ本法ノ規定ニ依ルヘシ  
第三十四條 起業者カ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年內ニ收用審査會ノ裁決ヲ求メサルトキハ其ノ公告又ハ通知ハ效力ヲ失フ

第五章 收用審査會

第三十五條 收用審査會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ左ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ爲スモノトス

- 一 收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域
- 二 損失ノ補償

三 收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違反スルトキハ收用審査會ハ却下ノ裁決ヲ爲スヘシ

◎土地ヲ收用スルコトヲ得ル事業ノ認定權ハ内閣ニ屬シ收用審査會ハ土地收用法第三十五條所定ノ事項ニ付キ裁決權ヲ有スルニ過キス從テ其裁決ヲ不法トシ訴訟ヲ提起シタル者ハ内閣ノ認定ニ對シテ論争スルコトヲ得ス(三七年第二〇八號 三七八、二一〇號) 土地收用ニ關スル不法裁決取消ノ訴(一六輯一卷三〇頁)

第三十六條 收用審査會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十七條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其ノ他ノ會務ヲ統理シ會ヲ代表ス

第三十八條 委員ハ高等文官及府縣名譽職參事會員各三人ヲ以テ之ニ充ツ

高等文官ニシテ委員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命シ府縣名譽職參事會員ニシテ委員タルヘキ者ハ其互選トス

第三十九條 收用審査會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス  
收用審査會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ會長ハ決スル所ニ依ル

土地收用法

第四十條 委員カ起業者、土地所有者又ハ關係人ナルトキハ收用審査會ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

委員カ起業者、土地所有者若シテ關係人ノ配偶者、四親等内ノ親族、戸主、家族、代理人及保佐人ナルトキ又ハ起業者、土地所有者若シテ關係人タル市町村ノ市參事會員、町村長、合名會社ノ社員、合資會社及株式合資會社ノ無限責任社員、株式會社ノ取締役及監査役其ノ他法人ノ理事及監事ナルトキハ亦前項ニ同シ

本條ノ規定ニ依リ委員ノ數減少シテ前號第一項ノ數ヲ得サルトキハ地方長官ハ左ニ掲ケタル順序ニ從ヒ其ノ本條ノ規定ニ抵觸セサル者ノ内ヨリ臨時ニ指名シテ之ヲ補充スヘシ

一 府縣名譽職參事會員

二 府縣名譽職參事會員ノ補充員

三 府縣會議員

第四十一條 收用審査會ノ裁決ハ起業者土地所有者及關係人ノ申立タル範圍ヲ越ユルコトヲ得ス

第四十二條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ビ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得前項ノ鑑定人ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ準ス

第四十三條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ起業者、土地所有者又ハ關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

收用審査會ハ事實參考ノ爲必要ト認ムルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地以外ノ土地所有者ヲ呼出シ其ノ供述ヲ聽クコトヲ得

第四十四條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ會長之ニ署名捺印スヘシ

裁決書ノ謄本ニハ會ノ印章ヲ捺捺スヘシ

第四十五條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第四十六條 二府縣以上ニ涉ル事業ニ係ルトキハ關係地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ合同シテ收用審査會ヲ開クコトヲ得

### 第六章 損失ノ補償

第四十七條 土地所有者及關係人ノ受クル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

損失ノ補償ハ各人別ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ各人別ニ見積リ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 收用スヘキ土地物件ニ付テハ相當ノ價格ニ依リ其ノ損失ヲ補償スヘシ  
使用スヘキ土地ニ付テハ其ノ土地及近傍類地ノ料金ニ依リ其ノ損失ヲ補償スヘシ

②土地所有者ハ收用土地ニ對スル補償金ノ外地方慣習ノ認ムル所ノ地上權ニ類似スル權利ニ關シテ別ニ補償ヲ求ムルコトヲ得ス(三三〇年第一一號三四三二九宣告) 收用審査會ノ裁決取消請求ノ訴(四三卷一一三頁)

第四十九條 土地ノ一部ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ損失ヲ補償スヘシ

第五十條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用井タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十一條 收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ補償シテ移轉セシムヘシ但シ物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用井タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ物件移轉スルニ因リテ從來用井タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

③收用審査會ニ對シ物件ノ移轉料ノミノ請求ヲ爲シタル者ト雖モ審査會ニ於テ其主張ノ價格ヲ不相當トシ起業者ノ申請ヲ容レテ收用ノ裁決ヲ爲シ

タル以上ハ行政訴訟ニ於テ收用ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘシ(三三〇年第二五九號三四五二三宣告)  
收用審査會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴(四五卷七頁)

第五十二條 前條ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十三條 土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ道路、溝渠、垣柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築

又ハ修繕ヲ爲ス必要ヲ生スルトキハ其ノ費用ヲ補償スヘシ

第五十四條 前數條ニ規定シタルモノノ外土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ハ之ヲ補償スヘシ

④數多ノ職工ヲ使用スル營業工場ヲ土地收用ノ爲メ他ニ移轉セシムルニ當リテハ若干ノ日時間休業スルト同時ニ職工モ亦休止セシムルハ免カレサル處ナルヲ以テ收用審査會カ之ヲ否認シタルハ土地收用法第五十四條ニ違背スルモノトス(三五年第三六八號三六一〇二二宣告) 收用審査會ノ裁決不服ノ訴(四輯七卷七二九頁)

第五十五條 土地ノ收用カ三箇年以上ニ亙ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキ若ハ使用スヘキ土地

ニ建物アルトキハ所有者ハ其ノ土地ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタル土地所有者又ハ關係人ハ之ニ關スル損失ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス

第五十七條 第九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ土地ニ立入り測量、検査又ハ調査ヲ爲スニ因リテ他人ニ及ボシタル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

第五十八條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十九條 前二條ノ補償ニ付キ協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十一條及第四十一條乃至第四十五條ノ規定ヲ準用ス

### 第七章 收用ノ效果

第六十條 起業者ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

左ニ掲ケタル場合ニ於テハ補償金ヲ供託スルコトヲ得

一 補償金ヲ受クヘキ者カ其ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受領スルコト能ハサルトキ

二 起業者カ過失ナクシテ補償金ヲ受クヘキ者ヲ確知スルコト能ハサルトキ

三 起業者カ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アルトキ但シ補償金ヲ受クヘキ者ノ請求アルトキハ起業者ハ自己ノ見積金額ヲ拂渡スヘシ

四 起業者カ補償金拂渡ノ差押又ハ假差押ヲ受ケタルトキ

第六十一條 土地所有者及關係人ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スヘシ但シ左ニ掲ケタル場合ニ於テハ起業者ノ請求ニ依リ市町村長ハ土地所有者及關係人ニ代ルモノトス

一 土地所有者及關係人カ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スルコト能ハサルトキ

二 起業者ノ過失ナクシテ土地所有者及關係人ヲ確知スルコト能ハサルトキ

第六十二條 起業者カ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ收用審査會ノ裁決ハ其ノ效力ヲ失フ但シ土地所有者及關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第六十三條 土地物件ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 收用審査會ノ裁決ノ後收用又ハ使用スヘキ土地物件カ土地所有者又ハ關係人ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ滅失又ハ毀損ハ起業者ノ負擔ニ歸ス

第六十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ收用又ハ使用ニ因リテ債務者カ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第六十六條 收用ノ時期ヨリ二十箇年内ニ事業ノ廢止其ノ他ノ事故ニ因リテ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタルトキハ舊所有者又ハ其ノ相續人ハ補償價格ヲ以テ之ヲ買受ルコトヲ得但シ第五十條ノ規定ニ依リテ收用シタル殘地ハ其ノ接續部分ノ不用ニ歸シタル時ニ非サレハ之ヲ買受クルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ買受ハ第三者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス  
第一項ノ期間内ニ於テ收用シタル土地ヲ他ノ軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ニ供スルトキハ不用ニ歸シタルモノト看做サス

第六十七條 前條ノ不用ノ土地アルトキハ起業者ハ舊所有者又ハ其ノ相續人ニ通知スヘシ但シ起業者ノ過失ナクシテ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ少クトモ三回ノ公告ヲ爲スヘシ  
前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二箇月内又ハ第三回ノ公告終了ノ日ヨリ六箇月内ニ舊所有者又ハ其ノ

相續人カ買受ノ通知ヲ爲ササルトキハ其ノ權利ヲ失フ

### 第八章 費用ノ負擔

第六十八條 起業者、土地所有者及關係人カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル手續其ノ他ノ行爲ヲ爲シ又ハ義務ヲ履行スル爲要シタル費用ハ各其ノ負擔トス

第六十九條 收用審査會ニ要シタル費用ハ命令ヲ以テ別ニ負擔者ヲ定メタルモノヲ除クノ外府縣ノ負擔トス第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テ亦同シ

第七十二條ノ規定ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開クヘキ收用審査會ニ要シタル費用ハ之ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ負擔セシムルコトヲ得ス

第七十條 第七十三條第一項ノ規定ニ依リ地方長官カ義務者ノ爲スヘキ事項ヲ自ラ執行シ又ハ他人ヲシテ執行セシメタル爲ニ要シタル費用ハ府縣ノ負擔トス

府縣ハ前項ノ費用ヲ各其ノ義務者ヨリ徴收スルコトヲ得但シ其ノ義務者ノ受領スヘキ補償金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第七十一條 土地所有者又ハ關係人ノ負擔スヘキ費用ハ第六十一條但書ノ場合ニ於テハ市町村ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ適用ス

### 第九章 監督、強制及罰則

第七十二條 收用審査會カ其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲シタル裁決ハ内務大臣之ヲ取消スコトヲ得

◎收用審査會ニ於テ起業者カ係争地ニ立入り測量ヲ爲シタルヤ否ヤノ如キ手續上ノ事項ニ付キ其事實ヲ否認スルモ之ヲ以テ其裁決ヲ取消スヘキ理由ト爲スニ足ラス(三四年第二三一號三五三、五宣言)收用審査會不當裁決取消ノ訴(八五一卷七七頁)

第七十三條 義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ一定ノ期間内ニ終了スル見込ナキトキハ地方長官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ地方長官ハ直接ニ之ヲ強制スルコトヲ得

第七十四條 前章ノ規定ニ依リ私人ノ負擔スヘキ費用ヲ支出セサル者アルトキハ行政廳ハ國稅滯納處

分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付テハ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第七十五條 收用審査會員人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタルトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其ノ賄賂ヲ贈與シ又ハ贈與スルコトヲ約シタル者亦同シ

第七十六條 第十一條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得シテ障害物ヲ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得シテ土地ニ立入りタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條 故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十九條 鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者ハ詐偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ詐偽ノ鑑定ヲ爲サシメタル者亦同シ

第八十條 鑑定人又ハ第四十三條第二項若ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出テ受ケタル者故ナク出頭セ



サルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

### 第十章 訴願及訴訟

第八十一條 收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

收用審査會ノ違法裁決ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

本法ノ規定ニ依リ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタル項ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

◎起業者及ヒ土地所有者ノ協議手續又ハ收用審査會ノ裁決書ノ方式ニ付テハ法令ニ別段ノ規定ナケレハ之ヲ論難シテ裁決ノ取消ヲ請求シ得サルモノトス(三七年第二〇八號 三八年二一〇宣告) 土地收用ニ關スル不法裁決取消ノ訴(一六輯一卷三〇頁)

第八十二條 收用審査會ノ裁決申補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第五十九條ノ規定ニ依ル地方長官ノ決定ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

◎土地ノ收用價格ヲ不當ナリトスル事件ハ通常裁判所ノ管轄ニ屬シ行政裁判所ニ於テ之ヲ受理スヘキモノニアラス(三四年第二九〇號 三五年四二八宣告) 收用審査會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴(五二卷一一九頁)

第八十三條 本法ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ事業ノ進行及土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セス

### 附則

第八十四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第八十五條 明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手續

其ノ他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス

明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニ關シテハ第六十六條ノ期間ハ

本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

明治八年太政官達第三百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ現ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル所

ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス

第八十六條 收用審査會ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テハ地方長官之ヲ行フ

郡長ノ爲スヘキ職務ハ支廳長又ハ島司ヲ置キタル地ニ於テハ支廳長又ハ島司之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ヲ置カサル地ニ於テハ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

市長ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テ區長ヲ置キタル地ニ於テハ區長之ヲ行フ

町村長ノ爲スヘキ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ町村長ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ郡長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

第八十七條 明治二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則其ノ他別段ノ定アルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

第八十八條 明治二十二年法律第十九號土地收用法明治二十三年法律第五十四號土地收用協議會規則及明治三十二年法律第七十二號ハ之ヲ廢止ス

## 國有林野法及國有林野森林下戻法

### 國有林野法

第一條 此ノ法律ニ於テ國有林野ト稱スルハ國ノ所有ニ屬スル森林原野ヲ謂フ

第二條 國有林野ニシテ國土保安又ハ國有林野ノ經營上國有トシテ保存ノ必要アルモノハ實務讓與又ハ交換スルコトヲ得ス但シ公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ及第十五條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 前條ノ國有林野ト雖他ノ官有地ニ編入スルノ必要アルトキハ之カ組換ヲ爲スコトヲ得

組換ヲ爲シタル土地ニシテ其ノ使用ヲ廢シタル場合ニ於テ林野ニ復スヘキ必要アルモノハ更ニ國有林野ニ編入ス

社寺上地ニシテ其ノ境内ニ必要ナル風致林野ハ區域ヲ畫シテ社寺現境内ニ編入スルコトヲ得

第四條 國有林野ノ境界査定ハ當該官廳ニ於テ豫メ期日ヲ定メ隣接地所有者ニ通告シテ其ノ立會ヲ求メ施行スヘシ

隣接地所有者豫定期日ニ於テ立會ハサルコトアルモ當該官廳ハ境界査定ヲ施行スルコトヲ得

◎地押調査圖ハ相當ノ手續ヲ以テ調製セラレ官地ト民地トノ區別ヲ爲シア  
レハ他ニ之ヲ補助スヘキ徵憑アル以上ハ官民有ノ境界ヲ定ムル證據トシ

テ絶對ニ排斥スヘキモノニアラス(三六年第一〇號第一一五號第一三二號  
三九、一〇、八宣告) 國有林民有

林境界査定不服ノ訴(一七輯七卷五一二頁)

◎大林區署長カ係争地ニ著シキ増歩アルノ一事ヲ以テ直チニ前査定處分ヲ取消シ其境界ヲ變更シタルハ不當ナリ(三六年第三四四號  
三八、二、二四宣告) 境界査定處分取消ノ訴(一六輯二卷九二七頁)

◎改租圖ハ絶對ニ正確ナルモノニアラサレハ之ヲ基本ト爲シタル境界査定ハ必スシモ正當ナリト云フヲ得ス(三六年第一七七號  
三八、三、一七宣告) 境界査定取消ノ訴(一六輯二卷一四七頁)

◎國有林野境界査定ノ通告ニ誤記アルモ隣接地所有者カ事實其査定ニ立會シタル以上ハ適法ノ通告ナシトノ理由ヲ以テ該査定ヲ違法ナリト謂フヲ得ス(三四年第二二二號  
三五、一〇、二三宣告) 國有林野境界査定ニ關スル不服ノ訴(五五卷九七頁)

◎山林原野ハ農商務大臣ノ主管ニ屬スルヲ以テ大林區署及縣廳カ同大臣ノ指揮ノ下ニ其官有ノ査定ヲ爲シタルハ越權ニ非ス(二三年第三一號  
二四、五、九宣告) 農商務省秋

田山林事務所明治十八年民第七十八號布達取消及干涉處分取消ノ訴(第五條 國有林野ノ境界査定ヲ終ヘタルトキハ當該官廳ハ直ニ隣接地所有者ニ通告スヘシ)

◎大林區署ハ國有林野法第四條第五條ニ所謂當該官廳ニシテ林野ノ境界査定ニ關シテハ獨立處分ヲ爲スノ職權ヲ有ス(三五年第一八八號  
三五、七、九宣告) 國有林野境界査定取消請求ノ訴(五五卷三九頁)

第六條 國有林野ノ境界査定又ハ測量ノ爲目標ヲ設置シ若ハ支障木竹ヲ伐採スルノ必要アルトキハ其ノ土地若ハ木竹ノ所有者ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス但シ相當ノ補償ヲ求ムルコトヲ得

◎大林區署長ニ於テ國有林野ノ隣接地所有者ニ對シ境界査定取消ノ通知ヲ爲サ、ルモ之ヲ違法トシテ出訴スルコトヲ得ル規定ナシ(三四年第一四九號  
三四、一、二、一〇宣告) 國有民有山林境界査定取消請求ノ訴(五〇卷九一頁)

第七條 隣接地所有者境界査定ニ不服アルトキハ第五條ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

◎國有林野ノ隣接地所有者カ未タ境界査定ノ通告ヲ受ケサルトキハ國有林

野法第七條ニ依リ出訴スルコトヲ得ス(三六年第三四五號 三八、一一、二四宣告) 境界査定處分取消ノ訴ニ對スル妨訴抗辯(一六輯二卷九三三頁)

◎國有林野ノ境界査定ニ不服アルモ自己ノ所有地ニ付キ査定ノ通告ヲ受ケタル者ニアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(三七年第二號 三八、一一、二四宣告) 國有林野境界査定取消ノ訴(一六輯一一卷九四二頁)

◎國有林ノ隣接地所有者ニシテ未タ境界査定ノ通告ヲ受ケサルトキハ國有林野法ニヨル行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(三六年第三四〇號 三六、七、九宣告) 境界査定不服ノ訴(一五輯七卷六五〇頁)

◎國有林野境界査定ノ通告ハ隣接地所有者ヨリ民事訴訟ヲ提起シタルカ爲メニ之ヲ猶豫スヘキモノニアラス故ニ該所有者ニ於テ査定處分ニ不服アルトキハ民事判決ノ確定ヲ待ツコトナク其通告ノ日ヨリ起算シテ法定ノ期間内ニ出訴スヘキハ當然ナリ(三六年第二五二號 三七、一〇、二六宣告) 國有林民有林境界査定不服ノ訴(一五輯九卷八五〇頁)

◎大林區署長ノ官民有地境界査定處分ニ對シテハ隣接地所有者ニ非サル者行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(三五年第三〇八號 三六、一一、九號決) 境界査定處分取消請求ノ訴(一四輯九卷八八〇頁)

◎部分林契約解除ノ取消ヲ求ムル事件ニ付キテハ國有林野法其他ノ法令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三六年第四三四號 三六、一一、九號決) 部分林契約解除處分取消ノ訴(一四輯七卷六八七頁)

◎土地官有民有區分境界査定ニ關シ其假踏査ヲ不當トシテ更ニ境界査定ヲ求ムル事件ニ付キテハ國有林野法其他ノ法律勅令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三六年第一五二號 三六、七、三號決) 土地官民有區分境界査定請求ノ訴(一四輯六卷五七八頁)

◎官民有地境界査定ニ不服アルモ其處分者ニアラサル農商務大臣ヲ行政訴訟ノ對手ト爲スヲ得ス(三六年第二〇號 三六、五、一八宣告) 官民有地境界査定不當處分取消ノ訴(一四輯四卷三九九頁)

◎國有林境界査定済通告書ヲ交付シタル後誤記アルコトヲ發見シ訂正ノ上更ニ之ヲ交付シタルトキハ其出訴期間ハ訂正ノ上交付シタル日ヨリ起算スヘキモノトス(三四年第六〇號 三五七、一〇宣告) 國有林境界査定處分取消ノ訴(五五卷四三頁)

◎山林境界誤認訂正願ノ聞届ニ依リ引渡ヲ受ケタル地所ヲ不充分ナリトシ其殘地ノ引渡ヲ請求スルハ土地ノ官民有區分ノ査定ニ關スル事件ニアラス又斯ル事件ニ付キ他ニ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三五年第六號 三五五、一、二宣告) 山林境界訂正ノ訴(五三卷三七頁)

◎共有ノ目的物ニシテ分割シ得ヘキ性質ノモノナルトキハ共有者ノ一人ハ他ノ共有者ノ出訴セサルニ拘ラス出訴權アルモノトス(三四年第八九號 三四、一二、一四宣告) 國有林下戻不許可ノ處分ニ對スル不服ノ訴

◎國有林野ノ境界査定ニ付キ通告ヲ受クルモ隣接地所有者ニアラサレハ其査定ニ對シテ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(三四年第九〇號 三五、一〇、一三宣告) 國有林野境界

査定不服ノ訴(五五卷九一頁)

◎明治三十二年法律第八十五號國有林野法第七條ノ出訴期間ノ計算ニ付テハ民事訴訟法第六十七條ヲ準用スヘキモノトス(三四年第一四九號 三四、一二、一〇宣告) 國有民有山林境界査定取消請求ノ訴(五〇卷九一頁)

◎官民有地ノ境界査定處分ニ對スル不服ノ訴ニ於テ原告ハ地租改正以前ノ證據ヲ提出シテ其主張ヲ立證スルコトヲ得(三三年第一二六號 三三、一〇、二六宣告) 國有林境界査定不服ノ訴(四〇卷四二頁)

第八條 國有林野ハ左ノ場合ニ限リ隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得

- 一 公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ
- 二 市町村又ハ公立小學校ノ基本財産ニ充ツルトキ
- 三 社寺土地ノ森林ヲ其ノ社寺ニ賣拂フトキ
- 四 命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ緣故アル林野ヲ其ノ緣故アル者ニ賣拂フトキ
- 五 民有地、道路、河川等ニ介在スル十町歩以内ノ林野ヲ賣拂フトキ
- 六 道路、溜池、堤防、溝渠等ノ敷地トシテ貸付シアル林野ヲ其ノ借地人ニ賣拂フトキ



國有林野法

其ノ用途ニ使用シタル後當該官廳ニ於テ指定シタル期間其ノ使用ヲ繼續セサルトキハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

前項ニ依リ林野ヲ返還セシメタル場合ニ於テハ其ノ林野ノ上ニ設定シタル第三者ノ權利ハ消滅ス  
第十七條 社寺上地ノ森林ハ其ノ社寺ニ保管セシムルコトヲ得

社寺ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ社寺林地ヲ使用シ又ハ主副產物ヲ採取スルコトヲ得

第十八條 國有林野ニシテ保護上必要ナル場合ニ於テハ市町村又ハ市町村内ノ一部ニ其ノ保護ヲ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ受託者ニ林野產物ヲ讓與スルコトヲ得

委託ノ方法及受託者ニ讓與スヘキ林野產物ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 國ハ造林者ト其ノ收益ヲ分收スルノ契約ヲ以テ國有林野ニ部分林ヲ設クルコトヲ得

法令、慣行又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ國有林ニ就キ收益ノ分收ヲ爲スモノハ前項ノ部分林ト看做ス

第二十條 部分林ノ樹木ハ國ト造林者トノ共有トシ其ノ持分ハ收益分收ノ割合ニ均シキ者トス  
部分林設定前ヨリ存在スル樹木ハ國ノ所有トス

第二十一條 部分林ノ存續期間ハ八十年ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第二十二條 民法第二百五十六條ノ規定ハ部分林ノ樹木ニ適用セス

第二十三條 第十八條第二項及第三項ノ規定ハ部分林ノ造林者ニ之ヲ準用ス

第二十四條 主務大臣ハ十箇年毎ニ其ノ年三月三十一日ニ現在スル國有林野現在表ヲ其ノ年開會ノ帝國議會ニ報告スヘシ但シ第一回ノ報告ハ明治三十四年三月三十一日ノ現在ニ依ル

第二十五條 主務大臣ハ毎會計年度間ニ於ケル國有林野ノ増減異動ヲ翌年度開會ノ帝國議會ニ報告ス

ヘシ

附 則

第二十六條 此ノ法律ハ北海道及沖繩縣ニ施行セス

第二十七條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

### 國有土地森林原野下戻法

第一條 地租改正又ハ社寺土地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若ハ立木竹ハ其ノ處分ノ當時之ニ付キ所有又ハ分收ノ事實アリタル者ハ此ノ法律ニ依リ明治三十三年六月三十日迄ニ主務大臣ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ期限ヲ經過シタルモノ又ハ裁判所ノ判決ヲ受ケタルモノハ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

府縣設置以後土地處分ヲ受ケタル土地及地租改正處分既濟地方ニ於ケル未定地脱落地ニ付テハ此ノ法律ノ規定ヲ準用ス

(參照)

- 一 下戻法第一條中ニハ左ノ土地森林原野ヲ包含ス
  - 一 府縣設置以後政府ノ錯誤ニヨリ土地セシメタルモノニシテ地租改正ノ際誤テ官有ニ歸シタルモノ
  - 二 上地後政府ニ於テ民有ニ復歸セシムヘキコトヲ指令シタルモノニシテ地租改正ノ際誤テ官有ニ歸シタルモノ

◎民事訴訟ニ於テ見繼山ノ確認ヲ求メ棄却ノ判決ヲ受ケタル者カ更ニ主務

官廳ニ對シ見繼山トシテ之ニ存在スル立木ノ下戻ヲ申請スルハ違法ニアラス(三六年第四〇九號 三九二二一)一宣告 立木引戻請求ノ訴(二七輯一〇卷六六九頁)

◎國有土地森林原野下戻法第一條ニ依リ地租改正ノ爲メ官有ニ編入セラレタル森林ノ下戻ヲ申請スルニハ其處分ノ當時所有又ハ分收ノ事實アリタルコトヲ要ス從テ其處分終了後下戻申請ノ權利ヲ讓受ケタル者ハ同法ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(三六年第五九四號 三八二一)一四宣告 國有森林下戻ノ訴ニ對スル妨訴抗辯(一六輯一〇卷九〇〇頁)

◎境界踏査ニ依リ官有地ニ編入セラレタル土地ト雖モ其處分タル先ニ地租改正ノ爲メ民有地ニ編入ヲ取消シタルモノニシテ地租改正處分ノ範圍内ニ屬スルトキハ國有土地森林原野下戻法第一條ニ依リ行政訴訟ヲ提起シタルモノトス(三六年第三三八號 三八五)二宣告 國有地所及立木下戻事件不當處分取消ノ訴ニ對スル妨訴抗辯(一六輯四卷三三二頁)

◎國有林下戻ノ申請ニシテ國有土地森林原野下戻法第一條ノ期限後ニ提出

國有土地森林原野下戻法



ヒラレタルモノハ之ヲ却下スヘキハ當然ナリ(三六年第五四號 三七四年四七號 國有林野下戻申請ニ對スル訴)〔一五輯三卷二〇三頁〕

◎明治三十二年法律第九十九號ハ國有土地森林原野ノ下戻ニ關スルモノニシテ御料地ニ適用スヘキモノニアラス(三六年第五四號 三七一年二九號 御料地下戻不當處分取消ノ訴)〔一五輯一卷二九頁〕

〔同〕(三六年第四一〇號三六、一〇、九號 御料地原野下戻請求ノ訴)〔一四輯七卷六八五頁〕

◎一旦廢寺トナリタルモノヲ更ニ新設ノ許可ヲ受ケ舊寺號ヲ復興スルモ其權利ヲ承繼スルニアラサレハ舊寺ノ所有タリシ山林ノ下戻ヲ請求スルヲ得ス(三四年第二九號 國有森林下戻請求ノ訴)〔一四輯六卷五八八頁〕

〔同趣旨〕廢寺院ヲ再興スルモ單ニ其名稱ヲ復舊スルニ止マリ寺院前代ノ財産所有權ヲ繼承シ得ルモノ

ニアラス(三四年第七一號三六、三、一一號 官地上官林下戻申請ニ對スル不當處分取消ノ訴)〔一四輯二卷一一〇頁〕

◎國有土地森林原野下戻法發布以前ニ於テ既ニ公賣ニ付シテ現存セサル立

木ノ下戻ヲ請求スルハ同法第一條中ニ所謂現ニ國有ニ屬スルノ要件ヲ缺クモノトス(三三年第一七七號 三三一年第一二二號 不當處分取消立木下戻請求ノ訴)〔四一巻一頁〕

第二條 下戻ノ申請ヲ爲ス者ハ第一條ノ事實ヲ證スル爲少クトモ左ノ書面ノ一ヲ添付スルコトヲ要ス

- 一 公簿若ハ公書ニ依リ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルモノ
- 二 高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノ
- 三 拂下下附賣買調與買入書入寄附等ニ依ル所有又ハ分收ノ事實ヲ證スヘキモノ
- 四 木竹又ハ其ノ賣却代金ヲ分收シタル證アルモノ
- 五 私費ヲ以テ木竹ヲ植付ケタル證アルモノ
- 六 私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタル證アルモノ

◎運上山ハ通常官有ニ屬スルモノトス(三七年第三六〇號 四〇四年一一號 官有山林下戻請求ノ訴)〔一八輯二卷一七四頁〕

◎社格ハ神社ノ階級ニシテ所有者ヲ區別スル標準ト爲ルモノニアラス從テ無格社ハ個人ノ私有ナリト云フヲ得ス(三七年第一六二號 四〇三年二八號 官林下戻請求ノ訴)ハ

一八輯二卷一二九頁

◎高外ノ小物成カ普通正租ニアラサルコトハ何レノ地方ニ於テモ同一ナリ

トス(三七年第四三八號 四〇三、二三三號)不當處分取消原野下戻請求ノ訴(八一八輯二卷一〇三頁)

◎年貢皆濟目錄ハ必スシモ高ノ内外ヲ區別スルコトヲ要セス從テ山漆實役

カ高外トシテ記載シアラサルヲ理由トシ之ヲ高内ノ税ト斷定スルヲ得ス

三七年第二二九號 三九、一二、二七第二部宣告山林下戻請求ノ訴(八一七輯一二卷七八〇頁)

◎村山ハ其名稱ノミヲ以テ直ニ村有地ナリト斷定スルコトヲ得ス(三九年第一九

三九、一二、二一第一部宣告國有林下戻請求ノ訴(八一七輯一卷七四八頁)

◎符人運上山ハ藩山ヲ個人ノ管理ニ委シ年々一定ノ金額ヲ徵收シテ雜木ノ

伐採ヲ許シタルニ止マリ依然藩有ニ屬シタルモノトス(三七年第一六九號 三九、一二、一八第二部宣告)

◎國有林下戻請求ノ訴(八一七輯一卷七三九頁)

◎寺院ノ舊境内ハ必スシモ其所有ニ屬スルモノニアラス從テ他ニ證據ナキ

以上ハ係争地カ原告寺ノ舊境内タリシ一事ヲ以テ直ニ其所有ナリト斷定

スルヲ得ス(三七年第一六四號 三九、一二、二一第二部宣告)國有林下戻請求事件(八一七輯一卷七六頁)

◎内山外山ノ名稱ハ入會山ニ關シテ使用シタルモノニシテ一村ニ專屬シ他

村ノ入會ヲ許サ、ルモノヲ内山ト稱シ他村ノ入會ヲ許スモノヲ外山ト稱

シタルモノナリ(三七年第四九號 三九、一二、一五宣告)國有林野下戻請求ノ件(八一七輯一〇卷六二

七頁

◎入會山ハ通常官山ナルヲ以テ民有ノ證據無キ限りハ其内山タルト外山タ

ルトヲ論セス總テ之ヲ官有ト認ムヘキモノナリ(三七年第四九號 三九、一二、一五宣告)國有林野下

戻請求ノ訴(八一七輯一〇卷六二七頁)

◎起訴者カ係争地ニ於テ樹木ヲ植付伐採シ又ハ之ヲ賣却シタル事實アルモ

此等ノ行爲ハ土地ノ使用權若クハ收益權ノミヲ有スル場合ニモ亦爲シ得

ヘキモノナレハ之ヲ以テ直ニ所有權行使ノ效果ナリト斷定スルヲ得ス(七

年第九六號 三九、九、二八宣告)國有林下戻請求ノ訴(八一七輯七卷四九五頁)

◎山林ヲ寺中各坊ニ配當之行爲ハ寺院カ單ニ山林ノ管理權ノミヲ有スル場

合ニ於テモ爲シ得ヘキモノナレハ未タ以テ該山林カ寺院ノ所有ニ歸セシ  
事實ヲ證明スルニ足ラス(三六第八五號 三九六二六號) 上地山林下戻不當處分取消ノ訴(一七輯五卷三九四頁)

◎公有地ハ明治七年第四百十三號太政官達ノ如ク民有地ニ限リタル名稱ニ  
アラス從テ係争地カ原告村ノ公有地ト爲リタル事實ノミニテハ未タ以テ  
其原告村ノ所有タルコトヲ證スルニ足ラス(三七第五四一號五四三號 三九六一一號) 國有林下戻  
申請ニ關スル處分取消ノ訴(一七輯五卷三二九頁)

◎社寺舊境内ノ立木ハ社寺ノ管理上自由ニ伐採シ得ヘカリシモノナレハ之  
ヲ賣買シタル一事ヲ以テ直ニ山林私有ノ證據ト爲スコトヲ得ス(三六第五五  
五號 三九六二六號) 山林下戻請求ノ訴(一七輯四卷三一三頁)

〔同趣旨〕社寺舊境内ノ立木 管理ノ必要上自由ニ之ヲ伐採シ得ヘカリシモノナレハ其木材ノ賣買ヲ爲シ  
タル一事ヲ以テ直ニ山林所有ノ效果ニ出テタルモノト云フヲ得ス(三六第五五八號三九、三、三號)  
山林下戻請求ノ訴(一七輯一卷六三頁)

◎朱印地ニ於ケル伐木ハ社寺領管理者ノ爲シ得可キ行爲ナルカ故ニ之ヲ以  
テ直チニ私有權ノ效果ナリト云フヲ得ス(三六第五四四號 三八二二八號) 不當處分取消山林  
下戻請求ノ訴(一六輯二卷一一二四頁)

◎戶籍簿ハ地所ノ所有ヲ登錄スヘキ公簿ニアラス(三七第一三號 三八一一、八號) 國有原野下  
戻ノ訴(一六輯二卷一〇一四頁)

◎寺社ノ除地ハ通常其寺社ノ所有ニ限ラサルモノトス從テ他ニ證據ナキ以  
上ハ單ニ除地ナルノ故ヲ以テ直チニ其所有地ナリト斷定スルヲ得ス(三六  
四三九號 三八二〇、九號) 所有權回復ノ訴(一六輯九卷七二〇頁)

◎除地トハ無稅地ノ謂ニ過キサレハ之ニ依リテ直チニ所有權ノ歸屬ヲ斷定  
スルヲ得ス(三六第二九八號 三八二〇、一〇號) 土地官林下戻申請ニ對スル不當處分取消ノ訴(一  
六輯九卷七二三頁)

◎社寺境内ヲ除地下爲スコトハ其地所ガ元來私有ナリシ場合ニ限ラス官ヨ  
リ社寺領トシテ下付モラレタル場合ニ於テモ亦見ル所ナレハ除地下爲リ

タル一事ヲ以テ直チニ私有地ト断定スルヲ得ス(三六三〇四號 三八六二四第二部宣告) 國有林下戻請求ノ訴(一六輯五卷五二三頁)

◎寺院カ下草錢ヲ收メテ黑印地ノ下草ヲ刈取ラシメ又ハ其一部ニ杉苗ヲ栽植セシメタル事實アリトスルモ此等ノ行爲ハ普通管領權ノ行使ニ外ナラサレハ之ヲ以テ直チニ地盤所有ノ效果ナリト云フヲ得ス(三六三〇六號 三八七一〇宣告) 一六輯八卷六五七頁

◎百姓稼山ハ單ニ其名稱ノミヲ以テ民有山林ナリト断定スヘキモノニアラス(三七三三九號 三八六三〇宣告) 不當指令取消國有林下戻請求ノ訴(一六輯七卷五五八頁)  
◎官地開墾ハ其成功ヲ確認シ檢地高入ヲ爲スニアラサレハ地盤ノ所有ヲ認許セサリシモノトス(三六三三一號 三八六二〇第二部宣告) 不當處分取消國有林下戻請求ノ訴(一六輯五卷五〇五頁)

◎係争地所ニ於テ既成田畑ノ外新ニ開墾スルコトヲ禁止シ之ニ違背セル者ヨリ過料ヲ取立ツルカ如キハ毛上ノ收穫ヲ目的トスル入會秣場ヲ維持セ

ンカ爲メ關係人ニ於テ協定シ得ヘキ事項ナレハ之ヲ以テ直ニ地盤共有ノ性質ヲ證明スルモノト云フヲ得ス(三六三三六號 三八六三三六號 國有原野ヲ民有ニ下戻請求ノ訴) 一六輯二卷一二三頁

◎官有ト私有トヲ問ハス山林ノ樹木ヲ伐採シ林產物ヲ收取スルニハ官ノ許可ヲ受ケ口銀又ハ運上銀ヲ上納スヘキ場合ニ在リテハ單ニ口銀又ハ運上銀ヲ納メタル一事ヲ以テ其山林ヲ私有セシ證據ト爲スヲ得ス(三六三六一號 三七一一二一號 九宣 國有林下戻不許可ニ對スル訴) 一五輯一巻一〇六八頁

◎明治八年地租改正事務局乙第四號達社寺境内外區畫取調規則及ヒ同乙第六號達ニ依ル土地ハ村社ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得(三六三九八號 三七一一三〇宣告) 國有林下戻請求ノ訴(一五輯一巻一〇〇二頁)

◎高役ハ別段ノ證據ナキ以上ハ高外ノ小物成即チ雜稅ニ過キサルモノトス(三五五四五號 三六一一七宣告) 土地立木民有引戻申請ノ訴(一四輯九卷八九三頁)

◎請山トハ特ニ所有權ヲ交付スルノ意義ニ於テ使用セラレタル語辭ト見ル(三五五四五號 三六一一七宣告)

ヲ得ヘキ場合ノ外ハ其文字ノ示ス如ク所有權ノ自己ニ屬セサル山林ヲ請ケテ之ヲ收益スル權利ナリト謂ハサルヘカラス(三四年第二九二號 三六、四、二二宣告) 不當指令取消請求ノ訴(一四輯三卷二九九頁)

◎朱印地ハ絶對ニ官有ナリト斷定スルヲ得ス(三三年第二一七號 三六、三、二六宣告) 國有林民有地引戻行政處分取消請求ノ訴(一四輯二卷一八九頁)

◎官沒トハ引上クルノ意ニ過キサレドキハ別ニ民有タルコトヲ認メタルモノト爲スヲ得ス(三三年第二五號 三六、一、二八宣告) 官山下戻請求ノ訴(一四輯一卷一〇頁)

◎上納物ノ種類ニ依リ租稅ト收益料トヲ區別スルコトヲ得ス(三四年第一一號 三五、四、一一宣告) 山林地引戻ニ關スル訴(五二卷六六頁)

◎札山ニハ官有ト民有トノ二種アレハ縱令札受人ナルコトヲ立證スルモ之ヲ以テ直ニ所有ノ事實ヲ證スルモノトスルヲ得ス(三四年第九三號 三五、四、四宣告) 山林引戻請求ノ訴(五二卷四八頁)

◎山役米ハ普通地盤ニ對スル租稅ニアラサルヲ以テ正租ト云フヲ得ス(三四年第一號)

三七號 三四、一、二、四宣告 官有原野民有下戻請求ノ訴

◎國有土地森林原野下戻法第二條ニ所謂所有ノ事實トハ實際ニ其事實アルヲ謂ヒ未タ所有ニ至ラサルモノヲ包含セス(三四年第六九號 三四、二、二八宣告) 官林立木下戻事件不當處分取消ノ訴

◎山役ナル名稱ヲ以テ毛上ノ收益ニ對シ納メタル稅金ハ國有土地森林原野下戻法第二條第二號ノ正租ト認ムルヲ得ス(三四年第八一號 三四、二、一六宣告) 不當處分取消山林下戻請求ノ訴

◎地下持山ト稱スル制度ニ依リ民有地タル證據ノ存スル官有地ハ之ヲ下戻ヲ正當トス(三三年第七四號 三四、一、〇一〇宣告) 官有地ヲ民有地ニ引戻請求ノ訴(四八卷五七頁)  
◎係争ノ土地ニ於テ收益權ヲ實行シタルノ故ヲ以テ該地ニ對シテ所有權ヲ有スルモノト斷定スルヲ得ス(三一年第七五號 三二、二、二九宣告) 官有地編入不當處分取消民有地編入ノ訴(三二卷一一五頁)

第三條 前條ノ證據書類ニシテ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルニ足ルト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ下

戻ヲ爲スヘシ

第四條 下戻ヲ受ケタル者ハ其ノ下戻ニ因リテ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得ス

前項ニ依リ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得シタル者ハ其ノ土地森林原野若ハ立木竹ニ關シ第三者ニ對ス

ル國ノ權利義務ヲ承繼ス

第五條 第二條ニ依リ下戻ヲ受ケタルモノト雖公用又ハ社寺境内ニ供セラルルモノハ其ノ公用又ハ社

寺境内ヲ廢シタル後ニアラサレハ權利ヲ行使スルコトヲ得ス

第六條 下戻申請ニ對シ不許可ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スル

コトヲ得

●國有土地森林原野下戻法第七條ニ依ル行政訴訟ハ行政官廳カ下戻ノ申請ヲ却下シタル處分ニ對シテ之ヲ提起スルモノナレハ訴訟前先ツ行政處分アルコトヲ必要トス(三六、六、五號 官地民有ニ引直ノ訴) (一七輯六卷四一頁)

●神社ノ訴訟ハ氏子總代三名以上ノ連署ヲ要ス  
神社ノ訴訟ニシテ氏子總代ノ連署ヲ缺ク場合ニ裁判所カ期限ヲ指定シ其

手續ヲナスヘキ旨ヲ命ジタルモ當事者ニ於テ該期間内ニ之ヲ行ハサルトキハ其訴訟ヲ却下スヘキモノトス(三七、年、第六七〇號 國有林野下戻請求ノ訴) (一七輯四卷二六〇頁)

●甲者カ乙者ヨリ山林ヲ買得シ賣買ノ登記ヲ受ケタル後小林區署長ノ爲メニ其一部ヲ國有ニ編入セラレタルヲ不當トシ之カ回復ヲ要求スルハ國有土地森林原野下戻法ニ所謂脱落地ニ關スル請求ニアラス從ツテ甲者ハ行政訴訟ヲ提起シ得サルモノトス(三七、年、第二四五號 國有土地下戻請求ノ訴) (一七輯三卷二三八頁)

●國有土地森林原野下戻法第六條ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルニハ先ツ主務大臣ニ下戻申請ヲ爲シ不許可ノ處分ヲ受ケタルコトヲ要ス(三六、年、第四三三號 官有山下戻請求ノ訴) (一六輯一卷一〇二六頁)

●部分林ノ處分ニ關シ不服ヲ訴フル事件ニ付テハ國有林野法其他ノ法令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(三八、年、第三三〇號 部分林分收權名義並分收部落



一卷一頁

第七條 此ノ法律施行以前ニ差出シタル下戻ニ關スル申請書又ハ願書ハ此ノ法律ニ依リタルモノト看做ス

官吏恩給法

第一條 文官列任以上ノ者退官シタルトキハ此法律ノ規定スル所ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 在官滿十五年以上ノ者左ニ掲グル事項ノ一ニ當ルトキハ終身恩給ヲ給ス

- 一 年齢六十歳ヲ超エ退官ヲ許シタルトキ
- 二 傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ其職ニ堪ヘス退官ヲ許シタルトキ
- 三 廢官廢職若クハ官廳事務ノ伸縮又ハ非職滿期ニ依リ退官シタルトキ

第三條 左ニ掲グル事項ノ一ニ當ル者ハ前條ノ年限ニ滿タサルモ終身恩給ヲ給シ尙其最下金額十分ノ七マテノ増加恩給ヲ給ス

- 一 公務ニ因リ傷疾ヲ受ケ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ其職務ニ堪ヘス退官シタルトキ
- 二 公務ニ依リ健康ニ有害ナル感動ヲ受クルヲ願ミルコト能ハスシテ勤務ニ從事シ爲メニ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ其職ニ堪ヘス退官シタルトキ

第四條 滿五年以上國務大臣ノ職ニ在ル者退官シタルトキハ第二條ノ制限ニ拘ハラズ恩給ヲ給ス

第五條 恩給ノ年額ハ退官現時ノ俸給ト在官年數トニ依リ之ヲ定ム即チ在官滿十五年以上十六年未滿

官吏恩給法



官吏恩給法

ニシテ退官シタル者ノ恩給年額ハ俸給年額ノ二百四十分ノ六十トシ十五年以後滿一年毎ニ二百四十  
分ノ一ヲ加ヘ滿四十年ニ至テ止ム但在官四十年以上ノ者ニ給スヘキ恩給ハ四十年ノ額又十五年未滿  
ノ者ニ給スヘキ恩給ハ十五年ノ額トス

非職滿期ニ由テ退官シタル者ノ恩給ハ其在職最終ノ俸額ニ依テ之ヲ算定ス

實際官及領事貿易事務官等ノ恩給ハ其官等ニ對スル普通文官ノ俸額ニ依テ之ヲ算定ス

兼官ニ依テ受ケル加俸ハ恩給年額ヲ算定スルニ當リ之ヲ除算スヘシ

恩給年額圓位未滿ノ數ハ圓位ニ滿タシム

④ 恩給法第五條第三項ノ規定ハ一般ニ對スル除外例ニアラスシテ俸給ノ意  
義ノ一端ヲ明示シタルモノトス(三四年第一二二號  
三四年第九、三〇宣告) 恩給金所得權回復ノ訴(四  
八卷八七頁)

⑤ 恩給法第五條ニ所謂俸給トハ官職ニ相當スル一般普通ノ俸給ノ義ニシテ  
特種ノ事情アル場合ニ於テ支給スル加俸ヲ包含スルモノニアラス(三四年第  
三四、九、三  
〇宣告) 恩給金所得權回復ノ訴(四八卷八七頁)

第六條 恩給ヲ受ケ又ハ恩給ヲ受ケスシテ退官シタル者在官中ノ公務ニ起因スル傷疾疾病引續キ重症

ニ趨キタルトキ其事由ヲ詳悉シ左ノ期限内ニ申出レハ查數ノ上相當ノ恩給ヲ給ス

一 一肢ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ハ退官後二個年

二 一肢ヲ亡シ或ハ二肢ノ用ヲ失ヒ又ハ兩眼ヲ盲シ若クハ二肢ヲ亡シ若クハ之ニ準スヘキ者ハ退官

後三個年

第七條 在官年數ハ列任官以上初任ノ月ヨリ起算シ退官ノ月ヲ以テ終リトス

明治四年八月以前ヨリ任官セラレタル者ハ同年同月ヨリ起算ス但本項ニ掲グル者退官スルトキハ明

治四年七月以前ノ勤務ニ對シテハ同年同月ノ現官等ニ相當スル月俸ノ半額ヲ以テ在官年數ノ一個年

ニ當テ其年數ニ應スル金額ヲ一時支給ス

⑥ 退官ト再任ト同月中ニ在ル場合ニハ之ヲ重複ニシテ二ヶ月ト爲スコトヲ  
得ス(三五年第一一五號  
三五、四、二六宣告) 恩給請求ニ關スル恩給局裁決不服ノ訴(五二卷一一七  
頁)

第八條 左ニ掲グル月數及日數ハ在官年數中ニ算入スヘシ

一 列任以上出仕官ニ在ルノ月數

二 武官ヨリ文官ニ轉シタル者又ハ軍人恩給ヲ受ケスシテ現役ヲ退キタル後文官ニ任シタル者ハ其

一 官吏恩給法

官吏恩給法

現役中ノ日數

三 從軍年加算ノ年月

四 非職及休職中ノ日數

五 退官ノ後再ヒ任官シタル者ハ前在官ノ月數

六 宮内官ヨリ文官ニ轉シタル者又ハ恩給ヲ受ケスシテ宮内官ヲ退キタル後文官ニ任シタル者ハ宮内判任官以上在官中ノ月數

第九條 左ニ掲クル月數及日數ハ在官年數中ヨリ除算スヘシ

一 年齢二十歳未滿者ノ在官月數

二 高等官試補及判任官見習中ノ月數

三 郡區判任官ヲ除クノ外政府ヨリ俸給ヲ受ケサル官職ニ在ル月數及商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官職ニ在ル月數

四 御用掛履等外出仕勤仕ノ月數

五 第八條第二ニ掲クル者ニ在テハ軍人恩給法ニ依リ除算スヘキ日數

六 自己ノ便宜ニ依リ退官シタル後又ハ懲戒處分若クハ刑事裁判ニ依リ免官シタル後再ヒ任官シタル者ニ在テハ其前官ノ月數

第十條 文官ニシテ從軍シタル者ハ軍人恩給法ノ算則ニ照シテ其從軍年ヲ加算ス

第十一條 恩給ヲ受クル者再ヒ官ニ就キ滿一年以上在官シタル後退官シタルトキハ左ノ區別ニ依リ恩給ヲ給ス

給ヲ給ス

一 退官現時ノ俸給前後相同シカラサルトキハ前官年數ヲ後官ノ年數ニ通算シ後官ニ對スル恩給額

ト前ノ恩給額トヲ比較シ其多キ方ヲ給ス

二 退官現時ノ俸給前後相同シキトキハ在官年數ニ依リ恩給ヲ増加ス但前官十五年未滿ニシテ恩給

ヲ受ケタル者ニ在テハ前後通算シテ十六年以上ニ至ラサルハ増加セス

◎ 恩給ヲ受クル者再ヒ官ニ就キ滿一ケ年以上在官シタル後退官シタル場合

ニ於テ恩給額ヲ定ムルニ付キ退官現時ノ俸給前後同シカラサルトキハ前官後官ノ在職年數ハ之ヲ通算スルモ端月數ハ之ヲ年數ニ算入スヘキモノ

ニアラス(三二年第二〇六號 三三三・五・一〇宣告) 恩給額更正ニ關スル訴(三六卷三三三頁)

第十二條 恩給ヲ受クル者重罪ノ刑ニ處セラレ若ハ日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ恩給ヲ剝奪

ス

官吏恩給法

左ニ掲クル事項一ノニ當ルトキハ其間恩給ヲ停止ス

一 判任以上ノ官ニ任シ政府ヨリ俸給ヲ受クル時但商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官職ニ在ルトキハ此限ニアラス

二 公權ヲ停止セラレタルトキ

第十三條 年齢未タ六十歳ニ至ラスシテ自己ノ便宜ニ依リ退官シタル者又ハ懲戒處分若クハ刑事裁判ニ依リ免官シタル者ハ恩給ヲ受クルノ資格ヲ失フ

法令ヲ以テ設立シタル議會ノ議員並市長町村長助役收入役名譽職參事會員及東京市京都市大阪市北海道ノ區長ト爲リタルノ故ヲ以テ退官シタル者ハ恩給ヲ受クルノ資格ヲ失ハス

第十四條 郡區判任官ヲ除クノ外政府ヨリ俸給ヲ受ケサル官吏及商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官吏並高等官試補判任官見習ハ恩給ヲ受クルノ權ナキモノトス

商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官吏並ニ高等官試補判任官見習ニシテ公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ此法律第三條ニ該當スル者ニ限り退官又ハ罷官現時ノ俸給四分ノ一ヲ終身支給スルコトヲ得

第十五條 恩給支給ノ期ハ退官ノ翌月ヨリ始マリ死亡ノ月ヲ以テ終ルモノトス  
第十六條 恩給ハ之ヲ受クヘキ事由ノ生シタル後三箇年內ニ請求セザレハ其權利ヲ拋棄シタルモノトス

ス

⑤ 退官ノ際在官滿十五年以上ニ該當スルモ其退官前懲戒處分ニ依リ免官セラレタルコトアリシ爲メ官吏恩給法第九條ニ依リ恩給ヲ受クルコトヲ得サリシ者ト雖モ明治三十年勅令第十四號ノ發布ニ因リ退官當時ニ遡リ恩給ヲ受クルノ權利ヲ得タルモノトス從テ官吏恩給法第十六條及ヒ官吏恩給法施行規則第一條ノ規定ニ從ヒ該勅令發布ノ日ヨリ三箇年內ニ退官當時ノ本屬長官ニ對シテ恩給ノ請求ヲ爲ササルヘカラス若シ此手續ヲ缺如スルトキハ其權利ヲ拋棄シタルモノトス (三五年第一三號 三五、五、三一宣告 恩給請求權不法否認取消ノ訴) (八五三卷一二八頁)

第十七條 恩給ノ支給ハ本屬長官ノ證明ニ依リ恩給局ノ審査ヲ經テ内閣總理大臣之ヲ裁定ス

行政上ノ處分ニ因リ恩給ニ關スル權利ヲ侵害セラレタリトスル者ハ六箇月以内ニ恩給局ニ具申シテ

裁決ヲ請フコトヲ得其裁決ニ服セサル者ハ一箇年以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得左ノ事件ニ

關シテハ恩給局ノ裁決ハ終審確定ノモノトス

官吏恩給法

一 傷疾疾病ノ原因及其輕重

二 職務ニ堪エルト否ラサルト

② 官吏恩給法第十七條及軍人恩給法第四十一條但書ノ規定ハ出訴權ニ對スル一ノ除外例ヲ爲スモノナレハ其適用ハ右兩法ニ止マリ官吏遺族扶助法ニヨレル出訴權ニ之ヲ及ホス事ヲ得ス(三六年第五四八號 三七、七、五宣告) 官吏遺族扶助料請求ノ訴ニ對スル妨訴抗辨(一五輯六卷五八八頁)

③ 官吏恩給法第十七條第二項ノ規定ニ基キ恩給局ニ提出セシ具申書ニ臺灣總督府民政部ノ處分ニ因リ恩給ニ關スル權利ヲ亡失シタルモノナレハ其權利ヲ回復セラレタシト記載スルモ其主趣ニシテ恩給ヲ受クヘキ權利ナシトセラレタル内閣總理大臣ノ裁決ヲ取消シ恩給權ノ回復ヲ請求スルニ外ナラサルトキハ具申期限ハ内閣總理大臣ノ裁定ヲ告知シタル日ヨリ起算スヘキモノトス(三五年第一三號 三五、三、二二宣告) 恩給權請求權不法否認取消ノ訴(一五二卷 八頁)

④ 恩給ニ關スル權利ヲ障害セラレタリト主張スル者ハ恩給法第十七條ノ期間内ニ具申書ヲ提出スルヲ要ス(三〇年第三八號 三〇、六、一〇裁決) 官吏恩給金請求ノ訴

第十八條 恩給ハ實質讓與實入書入スルコトヲ得ヌ又負債ノ抵償トシテ差押フルコトヲ得ヌ

第十九條 明治十七年達官吏恩給令ニ依リ恩給ヲ受ケタル者ハ總テ其恩給令ニ依ルヘシ但其權利消滅

及停止ハ此法律ニ依ル

第二十條 此法律施行前ニ退官シタル者ノ恩給ハ明治十七年達官吏恩給令ニ依ルヘシ但此法律施行ノ

日ヨリ三箇年内ニ請求セサレハ之ヲ受クヘキ權利ヲ拋棄スルモノトス

第二十一條 此法律ハ明治二十三年七月一日ヨリ施行ス

従前ノ命令ニシテ此法律ニ抵觸スルモノハ總テ廢止ス

## 軍人恩給法

第十七條 服役年ノ始期終期ハ左ノ各項ニ依ル

第一 退職恩給、免除恩給ニ依ル服役年ノ始期

一 下士以上ハ初任ノ日陸軍兵卒ヨリ出身ノ下士以上ハ入營ノ日海軍卒ヨリ出身ノ下士以上ハ五等卒トナリタル日但第二十四條第六ニ當リタル者ハ其兵卒トナリタル日

二 陸軍兵卒ハ入營ノ日海軍卒ハ五等卒トナリタル日但第二十四條第七ニ當リタル者ハ其刑期滿限ノ翌日

三 北海道ニ移住ノ際定規ノ給助ヲ受ケタル屯田兵下士卒ヨリ出身ノ士官以上ハ其士官ニ任シタル日

四 陸軍軍人及海軍准士官以上ニシテ明治四年八月以前ヨリ勤仕ノ者ハ同月一日

五 海軍下士以下ニシテ明治二年五月一日以前ヨリ勤仕ノ者ハ同月一日

第二 給助金ニ係ル服役年ノ始期

一 下士以上初任ノ日

第三 服役年ノ終期

軍人恩給法

軍人恩給法

一 現役ヲ離レルノ日

◎軍人恩給法第十七條第一ノミニハ定期ノ給助ヲ受クル屯田兵下士卒ヨリ出身ノ士官以上云々「トアリテ準士官ニ關シ何等文意ノ見ルヘキモノナケレハ該法文中ニ準士官ヲ含蓄スルモノト解釋スルヲ得ス」(三五年第二八九號 恩給請求權不當裁決取消請求ノ訴)「一四輯六卷六一二頁」

第二十七條 軍人左ノ各號ノ一ニ當リタルトキハ其寡婦ハ扶助料ヲ受クルノ權利アルモノトス

一 戦死シ又ハ戦闘ニ因ル負傷ノ爲メ死没シタルトキ

二 公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ戦地ニ於テ若クハ公務旅行中流行病ニ罹リ死没シタルトキ

三 退職恩給若クハ免除恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケヘキ權利ヲ有シテ死没シタルトキ

第三十一條 寡婦ナキトキ又ハ扶助料ヲ受クル寡婦死没シ若クハ權利消滅シタルトキハ其扶助料ヲ孤兒ニ給ス

扶助料ヲ受クル者公權停止中ハ其轉給ヲ受ケヘキ者ニ之ヲ給ス

◎軍人ノ孤兒ハ其軍人死亡ノ當時戶籍内ニ在ラサルモ軍人恩給法ニ依リ扶

助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス(三二年第一七五號 扶助料請求ノ件)「三五卷九頁」

第二十五條 第二十七條乃至第三十四條ヲ適用スヘキ軍人ノ寡婦父母祖父母及兄弟姊妹ハ其軍人現役

中陸海軍兵籍簿ニ登記シタル者ニ限ル

◎軍人恩給法第三十五條ニ依リテ扶助料ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ハ軍人現役中現實ニ兵籍ニ登記セラレタルコトヲ要ス從テ軍人死亡後兵籍ヲ訂正シタル場合ノ如キハ同條ノ規定ニ該當セス(三八第一七八號 扶助料請求ノ訴)「一六輯七卷五六六頁」

第四十一條 恩給ノ支給ハ陸海軍大臣ノ證明ニ依リ恩給局ノ審査ヲ經テ内閣總理大臣之ヲ裁定ス

行政上ノ處分ニ由リ恩給ニ關ヘル權利ヲ侵害セラレタリトスル者ハ六個月以内ニ恩給局ニ具申シテ

裁決ヲ請フコトヲ得其裁決ニ服セサル者ハ一個年以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但左ノ事件

ニ關シテハ恩給局ノ裁決ハ終審確定ノモノトス

一 傷疾疾病ノ原因及其輕重

二 職務ニ堪ユルト否ラサルト

◎軍人恩給法第四十一條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルニハ先ツ恩給局ノ裁決

軍人恩給法

ヲ受ケサルヘカラス(三六年第四四四號 三六、一、二四裁決) 恩給權障害回復ノ訴(二四輯九卷八三九頁)

# 取引所法

## 第一章 取引所ノ設立

第一條 賣買取引ノ繁盛ナル地區内ノ商人ハ政府ノ免許ヲ受ケテ一種若ハ數種ノ物件ノ取引所ヲ設立スルコトヲ得

◎取引所ノ設立免許ニハ營業ノ許可ヲ包含ス(三四年第一七三號 三五、四、二宣告) 不當解散命令取消ノ訴(五二卷三八頁)

【同】(三四年第一七二號三五、四、二宣告) 株式會社栃木米麻麥取引所解散命令取消請求ノ訴(五二卷二二頁)

◎取引所ノ業務ハ其會員組織ナルト株式會社組織ナルトヲ問ハス一ノ營業ナリ(三四年第一七三號 三五、四、二宣告) 不當解散命令取消ノ訴(五二卷三八頁)

第三條 取引所ノ免許年限ハ十箇年トス但シ土地商業ノ情況ニ依リ更ニ繼續ノ出願ヲ爲スコトヲ得

◎取引所法第三條但書ハ取引所ノ地區又ハ商業ノ狀況ニ異動ナキ限りハ營業ノ繼續ヲ許可スヘキコトヲ規定シタルモノトス(三六年第四五二號 三六、一、一八宣告) 不法處分

取消營業免許請求ノ訴

〔二四輯八卷七九六頁〕  
〔同〕〔三六年第四五五號三六、一一、二七宣告取引所繼續願不許可處分取消ノ訴〕〔二四輯九卷八四一頁〕

第二十七條 農商務大臣ハ取引所ノ行爲法律命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 取引所ノ解散
- 二 取引所ノ停止
- 三 取引所一部ノ停止若ハ禁止
- 四 役員ノ解職
- 五 會員又ハ仲買人ノ營業停止若ハ除名

● 取引所ニ於テ賣買上現物ノ受渡ヲ爲スコトナク單ニ他ノ取引所ノ相場ト遺取リシ同フシ電報相場ヲ爲スハ公益ヲ害スルノ行爲アルモノトス（三四一七二號三五、六、二五宣告）株式會社朽木米麻取引所解散命令取消請求ノ訴（五四卷八八頁）

〔同趣旨〕 取引所ニ於テ賣買上現物ノ受渡ヲ爲スコトナク單ニ他ノ米穀取引所ノ相場ト遺取リチ等フシ同ク相場（電報相場）ヲ爲スニ止マルトキハ取引所法第二十七條ニ所謂公益ヲ害スルモノトス（三四年第一七三號三五、六、一八宣告不當解散命令取消ノ訴）〔五四卷五三頁〕

● 取引所法第二十七條ニ所謂取引所ノ停止トハ其營業ノ停止ヲ意味シ取引所ノ解散トハ其營業ノ禁止ヲ意味スルモノトス（三四年第一七一號三五、四、二宣告）株式會社朽木米麻取引所解散命令取消請求ノ訴（五二卷二二頁）

〔同〕〔三四年第一七三號三五、四、二宣告不當解散命令取消ノ訴〕〔五二卷三八頁〕

● 取引所ノ解散處分ハ單ニ其人格ヲ剝奪スルニ止ラス營業ノ免許ヲモ取消スモノトス（三四年第一七一號三五、四、二宣告）株式會社朽木米麻取引所解散命令取消請求ノ訴（五二卷二二頁）

〔同〕〔三四年第二五二號三五、四、二宣告取引所解散處分ニ對スル訴〕〔五二卷三八頁〕



## 醬油稅則

第一條 醬油製造人ハ左ノ造石稅ヲ納ムヘシ但自家用料ノミノ醬油ヲ製造スルモノハ半額トス、

造石稅 醬油ハ諸味一石ニ付 金二圓  
酒ハ製成一石ニ付 金二圓

◎ 醬油稅ハ諸味ニ課スルモノナレハ既ニ造石高ニ對シ納稅ヲ了リタル諸味ヨリ醬油ヲ製造シ因テ得タル生粕ニ鹽ト水トヲ混和シテ諸味ヲ製造スルモノニ對シテ更ニ同稅則第二條ノ租稅ヲ重課スルヲ得ス(三四年第二二五號 醬油稅則違犯處分並ニ造石稅賦課取消ノ訴)〔五〇卷一六九頁〕

### 砂糖消費税法

第十一條ノ一 政府ノ承認ヲ受ケ砂糖、糖水又ハ酒精製造ノ原料トシテ製造場、税關又ハ保管倉庫ヨ

リ引取ラルル砂糖及糖蜜ニハ消費税ヲ課セス

前項ノ砂糖又ハ糖蜜ヲ引取ルトキハ其ノ税金ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第一項ノ砂糖又ハ糖蜜ヲ引取りタル後六箇月以内ニ砂糖、糖水又ハ酒精ヲ製造セサルトキハ消費税ヲ徴收ス

第四條第二項及其三項ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ適用ス

◎砂糖消費税法ハ原料砂糖ト雖モ消費税ヲ課スルヲ原則トシ第十一條第一項ノ規定ハ其例外トシテ砂糖糖水又ハ酒精ヲ製造スルコトヲ條件トシ之ヲ免除スルモノナレハ若シ其製造ノ事實發生セサルコト明確ナルトキハ六ヶ月ノ期間ノ満了ヲ待タズ直ニ消費税ヲ課スヘキハ當然ナリ (三五年第三〇三六、三、二砂糖消費税賦課ニ關スル訴) (一四輯二卷一七九頁)

### 森林法

第八條 森林ニシテ左ニ列記スル箇所ニ在ルモノハ保安林ニ編入スルコトヲ得

- 一 土砂墾崩流出ノ防備ニ必要ナル箇所
- 二 飛砂ノ防備ニ必要ナル箇所
- 三 水害、風害、潮害ノ防備ニ必要ナル箇所
- 四 積雪、墜石ノ危険ヲ防止スルニ必要ナル箇所
- 五 水源ノ涵養ニ必要ナル箇所
- 六 魚附ニ必要ナル箇所
- 七 航行ノ目標ニ必要ナル箇所
- 八 公衆ノ衛生ニ必要ナル箇所
- 九 社寺、名所又ハ舊跡風致ニ必要ナル箇所

◎山林ノ所在地ニシテ風害襲來ノ進路ニ當リ且其立木ノ高大ナル以上ハ單ニ其樹木ノ種類及其位置ノ内外ニ依リテ防風保安林ト爲スノ必要ナシト謂フヲ得ス (三五年第二一號 保安林編入處分取消請求ノ訴) (五五卷六三頁)

◎保安林ニ編入セラレタル爲メ山林ノ收益ヲ減却スルコトアルモ之レヲ以テ編入處分ヲ取消スヘキ理由ト爲スニ足ラス(三四年第三八號、三五年第六二四號)保安林編入不當處分取消ノ訴(五四卷八五頁)

第十八條 保安林ノ編入解除ニ直接ノ利害ヲ有スル者其ノ編入解除ニ關スル處分ニ不服アルトキハ前條ノ告示若ハ通達ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

◎森林法第十八條ハ保安林ノ編入解除處分ニ對シ行政訴訟ヲ許シタル規定ニシテ行政廳ニ對シ一事不再理ヲ命シタルモノニアラス從テ利害關係人カ行政訴訟ノ方法ニ依ラスシテ再ヒ保安林編入ノ申請ヲ爲シタル場合ニ農商務大臣ニ於テ該申請ニ基キ從前ノ處分ヲ變更シタルハ相當ナリ(三八年第三七六號、三九年第三三六號)保安林編入處分ニ對スル訴(一七輯三卷二一四頁)

◎保安林編入ノ申請人カ其手續ニ瑕瑾アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ之ヲ更新シ得ルモノニシテ府縣知事ノ告示若クハ通知如何ハ其效力ニ何等ノ影響ヲ及ホサス(三八年第三七六號、三九年第三三六號)保安林編入處分ニ對スル訴(一七輯三卷

二一四頁

◎森林法第十八條ノ規定ハ保安林ノ編入解除處分ハ勿論其編入若クハ解除ヲ爲サル處分ニ對シテモ亦行政訴訟ヲ許シタルモノトス(三七年第二一六號、三八四、一三第二部宣)保安林編入ニ關スル不當處分取消ノ訴ニ於ケル中間判決ノ申立(一六ノ三卷二五一頁)

森林法施行細則

圖二 保安林編入ノ申請書又ハ官廳通知書ニハ保安林編入ノ調査及圖面ヲ添付スヘシ  
保安林編入調査ノ様式ハ府縣知事之ヲ定ム

◎ 森林法施行細則第二條ニ所謂官廳ノ通知書トハ官廳ヨリ主管行政廳ニ對シテ保安林ノ編入解除ヲ照會スル書面ヲ指稱シ森林法第十二條ノ通知ト同視スヘキ者ニアラス(三八年第三七六號  
三九、五、三宣告)保安林編入處分ニ對スル訴(八一七輯三卷二一四頁)

行政訴訟豫納金手續改正

◎ 行政訴訟ヲ提起スル者ハ明治三十二年行政裁判所告示第一號ニ依リ豫納金ヲ納付スヘキモノトス(三七年第一一六號  
三九、一〇、二七裁決)不當懲戒處分取消ノ訴(八一七輯九卷五六〇頁)

◎ 裁判所カ原告ニ對シテ期間ヲ指定シ豫納金ヲ納付スヘキ旨ヲ命シタルモ原告ニ於テ該期間内ニ之ヲ納付セザルトキハ其訴訟ヲ却下スヘキモノトス(三七年第一一六號  
三九、一〇、二七裁決)不當懲戒處分取消ノ訴(八一七輯九卷五六〇頁)

### 民事訴訟法

- ◎司法裁判所ノ判決ハ行政廳カ法律ニ依リテ執行スル課稅權ヲ拘束スヘキモノニアラス(三九年第二二〇號四〇、四、四宣告)租稅賦課ニ關スル訴(一八輯二卷一六〇頁)
- ◎司法裁判所カ爲シタル擬律ノ當否ニ關シテハ他ノ官廳ニ於テ之ヲ調査スルノ義務ナシ(三六年第四九一號三七、四、六宣告)縣會議員被選舉失格決定ニ對スル訴(一五輯三卷一九九頁)
- ◎司法裁判所ノ裁判ハ訴外者ニ對シ何等ノ效力ナシ(三四年第一八五號三六、二、一二宣告)不當處分取消民有地下戻ノ訴(一四輯一卷三五頁)
- ◎甲乙間ノ爭論ニ對スル民事裁判所ノ判決ハ甲丙間ノ行政訴訟ニ付キ丙ヲ羈束スルノ效力ヲ有セス(三四年第一六六號三五、五、三〇宣告)官民有山林境界確認請求ノ訴(一五三卷九九頁)

### 利息制限法

利息制限法左ノ通定メ候條此旨布告候事

- 第一條 凡テ金銀貸借上ノ利息ヲ分テ契約上ノ利息ト法律上ノ利息トス
- 第二條 契約上ノ利息トハ人民相互ノ契約ヲ以テ定メ得ヘキ所ノ利息ニシテ元金百圓以下ハ一箇年ニ付百分ノ二十(二割)百圓以上千圓以下百分ノ十五(一割五分)千圓以上百分ノ十二(一割二分)以下トス若シ此制限ヲ超過スル分ハ裁判上無効ノモノトシ各制限ニマテ引直サシムヘシ
- 第三條 (民法施行法第五十二條ヲ以テ削除)
- 第四條 第二條ニ依リ定限利息ノ外總テ人民相互ノ契約ヲ以テ禮金權利等ノ名目ヲ用ル者アルトモ總テ裁判上無効ノモノトス
- 第五條 返還期限ヲ違フルトキハ債主ヨリ債主ニ對シ若干ノ償金罰金違約金料等ヲ差出スヘキコトヲ約定スルコトアルトモ概シテ損害ノ補償ト看做シ裁判官ニ於テ該債主ノ事實受ケタル損害ノ補償ニ不當ナリト思量スルトキハ之ニ相當ノ減少ヲ爲スコトヲ得(三十二年法律第四十九號商法施行法第十七條參看)

◎利息制限法ハ民事裁判上ニ於ケル效力ヲ規定シタルニ止マルモノナレハ

當事者カ合意上協定シタル利息カ其制限ヲ超ユルモ該契約ハ法律上之ヲ無効ナリト謂フヘカラス(三四年第一三二號三五年第一三〇號)村税賦課處分ニ對スル裁判不服ノ訴(四五卷一四二頁)

府縣會議員ノ配當ニ關スル件

◎明治三十二年内務省令第十七號第一條第三項但書ノ規定ハ郡市若クハ區ヲ廢置分合シ又ハ其境界ヲ變更シタル場合ニ在リテハ其特別處分ニ關係アル郡市ノ人口ニ限リ次回ノ報告即チ内閣統計局ノ調査ニ係ル官報上ノ報告アル迄ハ其處分ヲ爲シタル時ノ現在調査ニ依ルヘキノ意ナリ(三三年第一六九號)  
三四、二、二議案否決ニ對スル不法處分取消ノ訴(四三卷四七頁)  
〇宣告

郡會議員配當規程

- ◎ 郡會ニ於テ議員配當ノ更正ニ施行期ヲ附加シテ議決シタル處措ハ其權限ヲ踰越シタルモノトス(三五年第一五二號 三五、六、三〇宣告) 不當裁決取消ノ訴(五四卷一〇〇頁)
- ◎ 議員配當ノ更正ニ施行期ヲ附加シタルハ配當更正ノ議案ニ修正ヲ加ヘタルニ過キスシテ之ヲ以テ獨立ノ議決ト爲スヲ得ス(三五年第一五二號 三五、六、三〇宣告) 不當裁決取消ノ訴(五四卷一〇〇頁)

戶籍法

- ◎ 母カ子ノ死亡シタル事實ヲ知ラス生存者トシテ共ニ分家ヲナシ之ヲ戶籍吏ニ届出テ身分登記簿ニ登錄セラレタル場合ト雖モ其登錄ハ戶籍上ノ形式ニ過キサレハ子ノ分家戶籍ハ何等ノ效力ヲ有セサルモノトス(三九年第一四〇、三、二 扶助料請求ノ件) (一八輯二卷一三六頁)

### 地方官官制

第七條 知事ハ部内ノ行政事務ニ付其ノ職權若クハ特別ノ委任ニ依リ管内一般又ハ其ノ一部ニ府縣令ヲ發スルコトヲ得

◎知事ハ法律命令ノ範圍内ニ於テ部内ノ行政事務ニ必要ナル縣令ヲ發スルノ職權アリ(二八年第七八號) 清潔法執行費用ニ關スル裁決不服ノ訴(二九二一七號)

### 地方學事通則

第九條 府縣郡市町村町村學校組合及市町村內若クハ町村學校組合ノ區ハ學校幼稚園圖書館ノ爲基本

財産又ハ積立金ヲ設クルコトヲ得

基本財産及積立金ハ單ニ某學校幼稚園圖書館ノ爲之ヲ設ケ又ハ通シテ數學校幼稚園圖書館ノ爲之ヲ

設クルコトヲ得

基本財産及積立金ノ設置及處分ハ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ但積立金ヲ其目的ノ爲支出スル場合ハ此限ニ在ラス

基本財産ヨリ生スル收入ハ教育ニ關スル目的ノ外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

積立金ヨリ生スル收入ハ其積立金ニ編入スヘシ

◎學校基本財産ヨリ生スル收入ノ處分方法ノ違法ナルコトヲ主張シテ該基本財産積立ノ爲メ適法ニ賦課セラレタル負擔ヲ拒ムハ不當ナリ(三一年第一〇三號) 不當處分取消ノ訴(三一卷九七頁)

【同】(三一年第一〇三號三一、一〇、二三宣言不當裁決違法處分取消ノ訴)(三一卷一〇三頁)

◎(三一年第一〇三號三一、一〇、二三宣言不法裁決取消ノ訴)(三一卷一一〇頁)



◎(三一年第一〇四號三二、一〇、二三宣告不當處分取消ノ訴)【三一卷一一八頁】

◎(三一年第一〇五號三二、一〇、二三宣告不當處分取消ニ關スル裁決不服ノ訴)【三二卷二頁】

◎地方學事通則ハ小學校ノ學事ノミニ適用スルノ規定ニアラス(三一年第一〇二二三宣告)、不當裁決違法處分取消ノ訴)【三一卷一〇二頁】

◎地方學事通則ノ規定ニ基キテ學校基本財産ヲ設クルハ既設ノ學校ノミニ限ラス將來設置セントスル學校ノ爲メニモ亦之ヲ設クルコトヲ得(三一年第一〇二三宣告)、不當裁決及違法處分取消ノ訴)【三〇卷八〇頁】

【同】(三一年第一〇〇號三二、一〇、二三宣告不當裁決取消ノ訴)【三〇卷八九頁】

◎(三一年第一〇二號三二、一〇、二三宣告不當裁決及違法處分取消ノ訴)【三一年卷一〇二頁】

◎(三一年第一〇三號三二、一〇、二三宣告不法裁決取消ノ訴)【三二卷一一〇頁】

◎(三一年第一〇四號三二、一〇、二三宣告不當處分取消ノ訴)【三一卷一一八頁】

◎學校ノ基本財産設置ニ關シテハ明治十九年勅令第十五號中學校令十九條ヲ適用セス(三一年第九八號)、不當裁決及違法處分取消ノ訴)【三〇卷八〇頁】

◎中學校令ハ學校基本財産ノ設置ニ關シテ之ヲ適用セス(三一年第一〇二號)、不當裁決及違法處分取消ノ訴)【三一卷一〇二頁】

### 稅務省官制

第三條 局長ハ大藏大臣ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ管轄内ニ於ケル内國稅事務ヲ管理シ稅務署長ヲ指揮監督ス

第四條 局長ハ稅務署長ノ處分法律命令ニ違犯スト認ムルトキハ之ヲ取消スコトヲ得

◎稅務署長ハ法律命令ヲ執行スル獨立官廳ニシテ稅務監督局長ハ稅務署長ヲ指揮監督スル上級官廳ナリトス(三七年第一一〇號 三八年一〇二四號) 酒造稅不當賦課取消請求ノ訴ニ對スル妨訴抗辨(一六輯九卷七九九頁)

### 行政警察規則

◎明治八年太政官達第二十九號ニ基キ廣ク人民ノ凶害ヲ豫防シ安寧ヲ保全スルカ爲メニ縣知事カ其職權ヲ以テ發シタル縣令ハ今尙有效ナリ(三一年第七七號)  
三二、一〇、 不法命令取消工事復舊請求ノ訴(三二卷一三頁)  
二三、一〇、

### 府縣稅徵收ニ關スル件

#### 第十四條

書類ノ送達ヲ受クヘキ者其ノ住所又ハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ若ハ其ノ住所

居所共ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達ア

リタルモノト看做ス

◎住所トハ生活ノ本據ヲ謂ヒ其本籍地タルト寄留地タルトハ問フ所ニアラ  
スト雖モ戶籍ハ通常現實ノ住居ニ伴フモノナレハ人ノ住所ヲ認識セント  
スルニハ他ノ情況ト共ニ戶籍ヲモ觀察スルコトヲ要ス(三八年第三五六號  
三九年三、二九號)不當  
裁決取消ノ訴(一七輯二卷一二九頁)

◎納税人カ二箇所ニ戶籍ヲ有スルトキハ其本籍地ニ於テ督促狀ノ送達ヲ遂  
ケ能ハサル以上ハ更ニ寄留地ニ於テ之カ送達ヲ試ムルコトヲ要ス從テ本  
籍地ニ不在ナル一事ヲ以テ直ニ公示送達ノ方法ヲ採リタルハ違法ナリ(三  
年第三五六號  
三九年三、二九號)不當裁決取消ノ訴(一七輯二卷一二九頁)

### 府縣制郡制ニ依ル費目流用竝ニ財務ニ

#### 關スル件

◎府縣知事カ府縣金庫ノ事務取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ヲ指定スルハ明治三  
十三年內務省令第七號ニ依リ之ヲ爲スモノニシテ官吏ノ任命ト同視スヘ  
キモノニアラス(三三年第二七一號  
三四、四、一五號)不當命令取消ノ訴(四四卷一七頁)

### 國庫ヨリ補助スル公共團體事業ニ關スル件

ル件

◎府縣郡市區町村其他公共團體ノ事業ニシテ國庫ノ補助ヲ受クルモノハ其補助ノ繼續的ナルト否トヲ論セス何レモ明治三十年法律第三十七號ノ適用ヲ受クヘキモノトス從テ別ニ除外例ノ設ケナキ以上ハ東京市ノ市區改正事業ニモ又之ヲ適用スヘキハ當然ナリ(三六年第五四三號  
三七一〇一二宣告)市税不當徴收取消請求ノ訴(一五輯九卷七五四頁)

### 精神病者監護法

第十二條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ執行ニ關シ行政廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタルトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

◎精神病者監護法第十二條ハ行政裁判法第十七條ニ謂フ特別ノ規程ニアラス(三七年第八〇三號  
三七一〇二八裁決)違法處分取消請求ノ訴(一五輯一〇卷八七〇頁)

### 會計法

第十九條 政府ニ納ムヘキ金額ニシテ其ノ納ムヘキ年度經過後滿五箇年內ニ上納ノ告知ヲ受ケサルモ

ノハ其ノ義務ヲ免ルルモノトス但特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各其ノ定ムル

所ニ依ル

◎會計法第十九條ニ所謂上納ノ告知トハ期滿得免ヲ中斷スル行爲即チ賦課令狀納入告知若クハ督促令狀等ヲ指稱シタルニ過キスシテ賦課令狀又ハ納入告知ヲ發シタル租稅其他ノ收入ニハ期滿得免ヲ適用セサルノ旨趣ニアラス(三八年第三九〇號 三九、五、二二宣告) 町稅滯納處分取消ノ訴(二七輯四卷二七六頁)

### 北海道會法

◎新聞紙ヲ發行スル合資會社カ北海道廳ニ對シ一定ノ期間其新聞紙ニ道廳令等一切ヲ掲載スヘキコト並ニ之ヲ一定ノ箇所ニ配付スヘキコトヲ引受ケ道廳ハ同一期間内報酬トシテ該新聞數多ヲ買上ケ利益ヲ與フヘキコトヲ約定シタル場合ニ於テハ同會社ノ役員ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有セス(三七年第一二三七號 三八、一〇、二五宣告) 北海道會議員當選無効ノ訴(八一六輯九卷八一頁) / 一定ノ期間内一定ノ報酬ヲ得テ北海道地方費ニ屬スル金庫事務ヲ取扱フ銀行ハ北海道會法第七條ニ所謂北海道廳ノ爲メ請負ヲ爲スモノトス從テ其役員ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有セス(三四年第二五四號 三五、四、一四宣告) 不當決定取消ノ訴(八五二卷七〇頁)

◎無効ノ投票アルモ之ヲ當選者ノ得票ヨリ控除シテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサル時ハ其選舉ハ有效ナリ(三四年第二六四號 三五、一〇、一五宣告) 北海道會議員選舉取消ノ訴(八

五五卷一一四頁

◎北海道會ハ議事機關ナルヲ以テ其權限ニ屬スル事項ニ付テハ議決ヲ爲スノ權能ヲ有スルモ委員ヲ外部ニ派遣シ議員ノ資格ヲ以テ行動ヲ爲サシムルカ如キハ其性質上爲シ得ヘカラサル所ナリ(三五年第三五九號 三六年第四二九號 議決取消ニ關スル不當處分取消ノ訴)〔一四輯四卷三三三頁〕

◎北海道會ハ法律勅令ニ別段ノ規定アルモノ、外北海道地方費ノ歲入出豫算及ヒ北海道地方稅ノ課目課率ヲ議決スルノ權限アルニ過キサレハ休會ヲ議決スルカ如キハ越權ノ處措ナリトス(三六年第一五一號 三七年第七九號 不當處分取消ノ訴)〔一五輯七卷六八八頁〕

北海道未開地所分法

第十條 第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ豫定ノ事業成功ノ程度ニ從ヒ隨時其ノ成否ヲ點檢シ豫定ノ如ク成功セザルトキハ未成功地ノ全部ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ拓殖上又ハ土地整理上支障アリト認ムルトキハ其ノ成功地ノ一部若ハ全部ヲ無償ニテ返還セシムルコトアルヘシ

- ◎一定ノ目的ノ爲メニ北海道國有原野ノ貸付ヲ受ケタル者カ起業方法書ニ定メタル設備ヲ爲ササル場合ニ於テ北海道支廳カ其土地ノ返還ヲ命シタルハ正當ナリ(三三年第一九七號 三四年第一四四號 土地返還命令取消要求ノ訴)〔四三卷一頁〕
- ◎國有未開地處分法ニ基ク北海道長官ノ返地命令ニ對スル訴モ亦裁判法第二十二條ニ據リ六十日ノ期間内ニ提起スルヲ要ス(三一年第八七號 三一〇一二號 不當返地處分取消請求ノ訴)

第十九條 第十條及第十二條ノ處分ニ不服アル者ハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

◎北海道國有未開地貸付ニ關スル事件ニ付テハ地方上級行政廳ナル北海道

廳ニ訴願シ其裁決ヲ經タル後ニアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
ス(三二年第一號  
三二、三、八裁決)北海道國有未開地貸付取消不法處分取消請求ノ訴(二九卷  
五八頁)

◎北海道國有未開地處分法第十八條ニ第十條及第十二條ノ處分ニ不服アル  
者ハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得トアルハ行政裁判法第十七條  
第一項ノ所謂特別ノ規定ニアラス(三二年第一號  
三二、三、八裁決)北海道國有未開地貸付取消  
不法處分取消ノ訴(二九卷五五頁)

### 北海道地方稅賦課規則

◎北海道ニ於ケル土地所有者ハ假令其所有權ヲ他人ニ移轉スルモ土地臺帳  
ノ名義書換ヲ受ケサル以上ハ其土地ニ對スル地方稅ノ賦課ヲ免ル、コト  
ヲ得ス(三七年第三七  
三八、四一八宣告)不當裁決竝北海道地方稅滯納處分ニ基ク公賣取消請  
求ノ訴(一六輯三卷二六七頁)

### 北海道廳令

◎北海道漁業取締規則第二十三條ニ第十七條規定ノ外第十九條乃至第二十二條ノ規定ヲ適用ス「トアルハ各種ノ漁業ニ適應スル條項ヲ適用スヘキ趣意ニシテ即チ鯨ノ定置漁業特別漁業ノ漁場區域變更ニハ之ニ付キ定メタル第十七條ノ規定ヲ適用シ又鮭鱈ノ定置漁場特別漁業ノ漁場區域變更ニハ同漁業ノ免許出願ニ付キ定メタル第十九條ノ規定ヲ適用スヘシトノ旨趣ニ外ナラス(三七年第五八三號 三九三、三〇〇號)不當免許取消ノ訴」(一七輯二卷一三三頁)

◎明治三十年北海道廳令第八十三號鯨鮭鱈鮪建網漁業願制限第四條ニ準據シテ鮪大謀網漁業ノ免許ヲ得タル者ハ漁場區域トシテ漁具裝置ノ場所ヨリ左右二千間ノ距離ヲ保有シ得ヘキモノトス從テ支廳長カ其漁場ヨリ一千間以内ニ於テ他人ニ鮪大謀網漁業ノ免許ヲ與ヘタルハ不法ナリ(三六年三五五號 三七一〇、一二二號)不當裁決取消ノ訴」(一五輯九卷七四九頁)

◎明治三十四年北海道廳令第一號鯨保護規則第二條第一號ニ特ニ指定シタル場所ニ於テモ特ニ指定シタル場所ニアラサレハ漁業ヲ出願スルコトヲ得サルノ旨趣ナリト解釋スヘキモノトス(三五年第三三三號 三六二、二三三號)不當裁決取消ノ訴」(一四輯一卷七二頁)

◎明治三十四年北海道廳令鯨保護規則第二條第一號ニ所謂特ニ指定シタル場所「トハ同規則第一條ニ指定シタル區域ヲ指シタルモノニアラスシテ第一條ノ漁業地方ニ於テモ特ニ指定シタル場所ニアラサレハ漁業ヲ出願スルコトヲ得サルノ旨趣ナリトス(三五年第一二二號 三五二、一〇〇號)漁業願ニ對スル不當裁決取消並不當處分取消請求ノ訴」(五六卷三五頁)

◎明治三十四年北海道廳令第一號第一條ニ許可セラルヘキモノトシテ列記シタル漁網ノ中建網地曳網及ヒ刺網ニ付テハ同令第二條各號ノ場合又ハ時期ニ於テノミ出願スルヲ得ヘキモノトス(三四年第二二八號 三五二、二八八號)鯨角網漁業停止不當處分取消ノ訴」(五一卷六七頁)





### 印紙賣捌規則

◎先願者ニシテ且適法ノ資格ヲ有スル者ノ提出シタル印紙賣捌願ヲ却下シタルハ違法ナリ(三三三九三號 三三三九三號 三三三九三號 三三三九三號) 印紙賣捌願却下ノ處分ニ對スル訴(四三卷三五頁)

### 水害地方田畑地租免除ニ關スル件

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル水害地方田畑地租免除ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

一府縣又ハ政府縣ノ全部若ハ一部ニ亘レル水害ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限リ之ヲ免除ス

◎明治三十四年法律第二十七號ハ水害ノ爲メ田畑ノ收穫皆無ナルカ又ハ皆無ト見做スヘキ程度ノ損害ヲ被リタル場合ニ其年分ノ地租ヲ免除スルノ法意ナリトス故ニ一ケ年數作アル畑地ニシテ其一作ノ皆無ニ歸シタル場合ノ如キハ同法ヲ適用スヘキモノニアラス(三三六五二四號 三三七六二二號) 水害地地租免除願不當處分取消及水害畑地地租免除ノ訴(一五輯六卷五二五頁)

### 官ニ屬スル公有水面埋立ノ出願免許方

- ⑤ 縣知事カ明治二十三年十月内務省訓令第三十六號ニ違ヒテ公有水面埋立ノ許可ヲ與フルモ人民ハ之レヲ違法トシテ其取消ヲ求ムルコトヲ得ス(三〇年第九一號 三三、一〇、二六宣告 伏木港川尻公有水面埋立許可取消請求ノ訴)(四〇卷三八頁)
- ⑥ 明治二十三年十月内務省訓令第三十六號ハ下級官廳ニ對スル命令ニシテ人民ニ對シ其效力ナキモノトス(三〇年第九〇號 三三、一〇、二六宣告 伏木港川尻公有水面埋立許可取消請求ノ訴)(四〇卷三七頁)

### 米、有價證券取引市場設立ニ關スル件

米又ハ有價證券取引市場ハ爾今地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ許可ヲ受クルニアラサレハ設立スルコトヲ得ス犯ス者ハ拾圓以上貳拾五圓以下ノ罰金若クハ十一日以上二十五日以内ノ重禁錮ニ處ス

- ⑦ 明治二十九年農商務省令第一號ハ其發布以前ニ設立シタル米穀市場ニ適用セシテ從テ該省令發布前ニ設立シタル市場ノ許可取消ノ權能ハ之レヲ許可シタル府知事ニ屬ス(三三、一、二四一號 三三、一、二二宣告 米穀市場ニ關スル處分ノ訴)(四一巻七九頁)

- ⑧ 米穀市場ヲ許可シタル條項ニ違背シタルノ事實アル場合ニ於テ府知事カ其許可ヲ取消シタルハ違法ナリ(三三、一、二四一號 三三、一、二二宣告 米穀市場ニ關スル處分ノ訴)(四一巻八〇頁)

### 公立學校職員退隱料等ニ關スル件

第四條ノ二 學校長正教員舎監又ハ書記タリシ者教員其ノ他教育事務ニ従事スル文官ト爲リタルトキ  
 若ハ教員其ノ他教育事務ニ従事スル文官タリシ者學校長正教員舎監又ハ書記ト爲リタルトキハ各其  
 ノ在官在職年數ヲ通算シ明治二十三年法律第九十號及同年法律第九十一號ノ退隱料扶助料扶助金ヲ  
 受クルコトヲ得

通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及通算ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

◎明治二十九年法律第十三號第四條ノ二ハ公立學校職員ノ在職年數ト教育  
 文官ノ在官年數トヲ通算スヘキ旨ヲ定メタルモノニシテ退隱料請求者ノ  
 便宜ニ依リ通算セサルコトヲ許シタルモノニアラス(三七年第八四六號 三八年二二八號)公立學校  
 職員退隱料請求ニ關スル違法救正ノ訴(八一六ノ一卷九九頁)

### 明治三十年遞信省令第十四號

◎明治三十年遞信省令第十四號電氣事業取締規則ハ電氣事業ノ許否ニ付キ  
 別ニ一定ノ規定ヲ設ケサレハ該事業ヲ爲サントスル者カ同規則ニ依リテ  
 出願ヲ爲スモ遞信大臣ニ於テ其事業ノ公益ニ反スルコトヲ認メタル以上  
 ハ固ヨリ之ヲ許可セサルコトヲ得ヘシ(三五年第三五〇號 三七年一〇二四號)指令取消請求ノ訴(ハ  
 一五輯九卷八二七頁)



### 諸規則

◎ 郡長カ知事ノ内命ヲ承ケ自己ノ名義ヲ以テ其被監督者ニ下命スルハ地方官衙執務ノ實際ニ於テ常ニ見ル所ノ事例ナリトス(三九年第六九號 三九一〇一〇宣告) 小學校教員退隱料請求ニ關スル訴(一七輯一〇卷六一七頁)

◎ 市街鐵道株式會社カ内務大臣ノ特許命令ニ基キ警視總監及ヒ府知事ノ認可ヲ經テ施行スル工事ハ市參事會ノ關涉スヘキモノニアラサレハ同參事會カ會社ノ出願ニ對シ其工事ノ施行ニ付キ指令ヲ與フルハ違法ノ處措タルヲ免レス從テ其指令ノ實行ヲ求ムル訴ハ不當ナリ(三九年第四六號 三九六二一宣告) 命令條件實行ノ訴ニ對スル妨訴抗辯(一七輯五卷三七四頁)

◎ 公法ニ基ク徵稅權ハ民法ノ規定ニ羈束セラルヘキモノニアラス(三七年第九一三八、一〇一宣告) 營業稅賦課取消請求ノ訴(一六ノ九卷七二六頁)

◎ 刑ノ言渡ヲ受ケタルモノニシテ傳染病ニ罹ルコトアルモノ之レカ爲メ其執

行ヲ中止スヘキモノニアラス又其執行ハ監獄ニ於テ爲スヲ本則トシ拘留ノ刑ヲ警察署ニ於テ執行スルカ如キハ便方ヲ取ルニ過キサレハ被拘留者ヲ監獄ニ移送スルモ違法ノ處分ト云フヲ得ス(三六年第三一三號 三七一、二九宣告) 不當裁決取消ノ訴(一七輯一卷二〇頁)

◎ 行政廳ハ處分ノ錯誤ヲ發見シタル場合ニ於テハ何時タリトモ之ヲ取消スコトヲ得而シテ其取消處分ハ特別ノ場合ヲ除クノ外既往ニ遡リ效力ヲ生スヘキモノトス(三五年第二三三號 三五一一、三宣告) 不當處分取消ノ訴(五七卷四二頁)

◎ 取消處分ノ效力ハ特別ノ場合ヲ除ク外既往ニ遡ルモノトス(三四年第二二六號 三五五、三〇宣告) 不當處分取消請求ノ訴(一五三卷一〇八頁)

◎ 渡船事業ハ橋梁ト均シク道路ヲ聯結スル交通上ノ設備ニシテ普通營利ヲ目的トスル事業ノ類ニ非サレハ之ヲ町村ニ許可スルモ法規ニ背反スルコトナシ(三四年第二三四號 三四二、二六宣告) 渡船營業免許拒否處分取消ノ訴(五〇卷一八一頁)

◎ 民法施行以前ノ婚姻ニ付テハ官吏遺族扶助法等ニ特別ノ規定アラサル限

リハ當時ノ一般法タル明治八年太政官達第二百九號及ヒ明治十年司法省達丁第四十六號ニ依リ其效力ヲ判斷セサルヘカラス(三四年第一三四號)官吏遺族扶助料請求ノ訴

◎自己ノ機關ニ依リ公共事務ヲ處理決議スル權能ヲ有スル團體ハ公法人ナリ(三四年第一二〇號)違法處分取消ノ訴

◎内示訓令及ヒ回答ノ如キハ上級行政廳カ下級行政廳ニ對シ執務ノ方針ヲ示シタルニ過キスシテ法規タルノ效力ナキモノナレハ關係行政廳以外ノ者ヨリ之カ適用ヲ請求スルノ權利ナシ(三三年第二六六號)鯨漁業製造兼業願拒否指令取消請求ノ訴(四五卷一一頁)

◎屠畜場設置願ニ對シ其屠場ニ於ケル屠畜ノ種類ヲ限リテ許可ノ指令ヲ與ヘタルハ屠畜營業權ニ制限ヲ加ヘタルモノニアラス(三二年第五七號)屠畜場設置許可指令ノ變更請求ノ訴(三二卷七七頁)

◎辭表ノ發送ヲ其日附當日ニ爲ストキハ諭達書ノ日付ニ先テ當該官廳ニ到

達シ從テ諭達ノ必要ナキニ其之ヲ爲シタルニ據テ觀レハ其辭表ハ該諭達ニ促サレテ進達シタル者ト認ムルヲ得(二九年第三〇號)恩給ニ關スル訴

◎官吏退官ノ出願ハ自己ノ便宜ノミナラス長官ノ諭旨ニ據ルコトアリ(二九年第三〇號)恩給ニ關スル訴(二九年第七九號)

### 縣令

◎河川取締ノ爲メニ設ケタル縣令ニ於テ知事カ公益上必要ト認ムルトキハ  
 工作物ノ取拂若クハ既ニ與ヘタル許可ノ取消ヲ命シ得ヘキコトヲ規定セ  
 シ以上ハ公益ヲ害スルノ程度甚シカラスシテ工作物ノ取拂若クハ許可ノ  
 取消ヲ命スルニ至ラサルモノト認ムル場合ニ於テ之ヨリ輕キ河川浚渫ヲ  
 命シ得ヘキハ當然ナリ(三五年第二三三號  
 三六四一一號  
 水利ニ關スル不當命令取消請求ノ訴)  
 〔二四輯三卷二六一頁〕

◎特別地價修正ニ際シ縣知事カ地價評定人ヲ認可シタル後縣令ノ規定ニ違  
 背シタル錯誤ヲ發見シ其認可ヲ取消シタルハ違法ニアラス(二四年第六六號  
 二五一一二八號  
 特別地價修正配當手續取消ノ達取消ノ訴)

### 静岡縣令

◎静岡縣令第十號縣稅賦課規則ニ依ル漁業稅ハ町村又ハ大字ノ區域ニ依リ

課額ヲ定メタルモノトス(三四年第二九一號  
 三五四二號  
 縣稅賦課ニ關スル異議ノ訴)〔五二卷  
 四頁〕

### 奈良縣令

◎明治三十二年奈良縣令第三十八號第一條但書ハ知事ニ於テ水利上ノ行政  
 處分ヲ爲スニハ必スシモ關係者ノ同意ヲ要セサルコトヲ規定シタルモノ  
 トス(三六年第二五九號  
 三七二〇二〇號  
 水利ニ關スル不當處分取消ノ訴)〔一五輯九卷第八〇五  
 頁〕

### 山形縣令

◎貸座敷營業者カ再三取締規則ニ違背シ且其行爲公安ヲ害スルノ處アル場  
 合ニ縣知事ニ於テ該營業ノ禁止ヲ命シタルハ相當ナリ(三七年第一〇七二號  
 三八一〇二二號  
 貸座  
 敷營業禁止命令取消ノ訴)〔二六輯九卷七三六頁〕

### 長野縣令



◎明治三十四年長野縣令縣稅賦課徵收規則第二十一條ニ依レハ前各項ニ據  
 リ定マリタル各人ノ納額ハ他ノ市町村ニ轉住スルモ之ヲ變更セストアル  
 カ故ニ縣稅戶數割ハ納期ノ前後ニ依リ納稅義務ヲ變更シ得サルモノトス  
 (三十七年第五〇號  
 三八、二、二四第一號部宣告 縣稅賦課異議申立ノ決定ニ對スル不服ノ訴) (一六ノ一卷  
 八四頁)

高知縣令

◎明治三十五年高知縣令第七號ハ筏ノ通過シ得ヘキ河川ニ於テ筏流ヲ爲シ  
 又ハ管流ノ慣習アル河川ニ於テ管流ヲ爲ス木竹ニ對シ筏稅ヲ課スルノ旨  
 趣ニシテ同縣下ノ山林ヨリ伐採搬出スル總テノ木竹ニ對シ之ヲ課スルノ  
 旨趣ニアラス從テ搬出ノ方法ニ依リ搬出シタル木材ニ付テハ筏稅ヲ課ス  
 ルヲ得ス(三十七年第三七七號  
 三八、三、一七宣告 違法課稅取消ノ訴) (一六ノ二卷一五二頁)

兵庫縣令

◎明治三十二年兵庫縣令木木起工規則第十三條ハ許可ヲ受ケスシテ第一條  
 ノ工事ヲ起ス(中略)トキハ起工者ノ費用ヲ以テ實地原形ニ復サシム云々ト  
 規定セルカ故ニ工事ノ既成ナルト未成ナルトニ論ナク原形ニ復セシムル  
 コトヲ得ルモノト解釋セサルヘカラス(三十八年第四一九號  
 三八、五、三〇第二號部宣告 不法命令取消請求  
 ノ訴) (一六輯五卷四四四頁)

◎明治三十一年七月兵庫縣令土木起工規則第一條ハ同規則發布前ノ既存工事  
 ナルト否トニ拘ハラス新築變更共ニ土木工事ヲ起ス場合ニ於テハ許可ヲ  
 受クヘキコトヲ規定シタルモノトス(三十五年第三五六號  
 三六、五、七宣告 不當命令取消請求ノ訴) (一  
 四輯四卷三五三頁)

◎明治三十三年兵庫縣令第二十八號汚物掃除法施行細則第六條ニ「屎尿ハ屎  
 尿汲取營業者ニアラサレハ其汲取ノ委託ヲ受クルコトヲ得ス」トアルヲ以  
 テ屎尿汲取營業者ハ別ニ制限セラレタル規定ナキ以上ハ同條ニ依リ廣ク  
 市人ノ委託ヲ受クルコトヲ得ルモノトス(三十五年第三四三號  
 三六、三、一八宣告 營業免許取消ニ關

スル訴(八一四輯二卷一六三頁)

### 岡山縣布達

◎十六年甲第二十七號岡山縣布達ハ公共土木費ノ負擔區域等ヲ定メタルモノニシテ一箇人ノ開墾起業ニ對シ施行スヘキモノニ非ス(二三年第二二號 二四年第五一九號 岡山縣告示第四十號兒島灣開墾許可取消請求ノ訴)

◎十年甲第十六號岡山縣布達ハ土地變換等ニ關シ出願人ニ協議及連署ノ責ヲ負ハシメタル而已ニシテ關係者ニ協議連署ノ權利ヲ與ヘタルモノニ非ス(二三年第二二號 二四年第五一九號 岡山縣告示第四十號兒島灣開墾許可取消請求ノ訴)

### 埼玉縣布達

◎縣知事カ縣達ニ基キ復舊工事ト認ムルヲ得サル即チ新設工事ヲ取毀ツ指令ヲ爲シタルハ違法ニ非ス(二七年第七號 二七年第六九號 不當指令取消請求ノ訴)

明治四十一年七月一日印刷  
明治四十一年七月十日發行

著作者 池田繁太郎

發行者 大谷仁兵衛

京都市三條通御幸町西入

印刷者 井田耕治

京都市三條通御幸町西入

不許  
複製

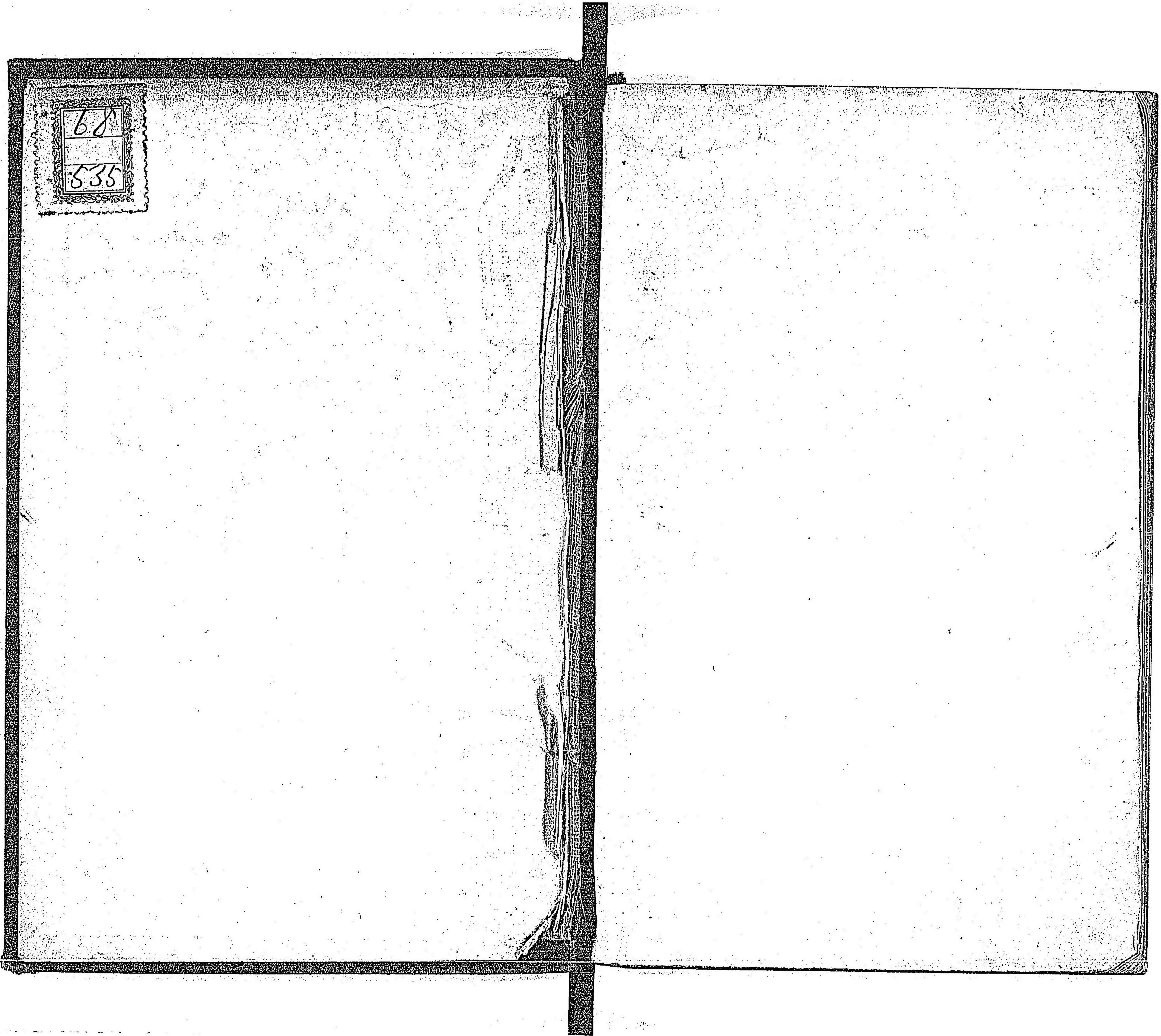
發行所

京都市三條通御幸町角  
(特電九八五番)

帝國地方行政學會出版部

本支部所在地

京都市下京區三條通御幸町西入五十四番地	帝國地方行政學會
京都市下京區三條通御幸町角二十五番戶	同出版部
東京市神田區錦町三丁目三番地	同東京支部
大阪市東區淡路町三丁目二一六番邸	同大阪支部
靜岡市追手町五番地	同東海支部
長野市權澤町百四十八番地	同長野支部
鳥取市若槻街道片原町角	同鳥取支部
岐阜市下竹町五八二番戶	同岐阜支部
高知市永國寺町四八番地	同四國支部
福井市佐佳枝中町九二番地	同北陸支部



68
535